

第七十五回
帝國議會
貴族院

國民優生法案特別委員會議事速記録第三號

昭和十五年三月二十四日(日曜日)午前十時十七分開會

○委員長(子爵野村益三君) 是ヨリ開會致シマス

○國務大臣(吉田茂君) 昨日委員長カラ御下命ノアリマシタ各種ノ資料及數字ニ互リマスルヤウナコトヲ一應取總メマシテ御手許ニ差上ガテアルノデゴザイマス、是ハ後程政府委員カラ逐次御説明ヲ申上ゲルコトニ致シマス、御註文ニナリマシタ中ノ、政府ノ執ラムトスル優生方策ハ大體ドウ云フコトカト云フ點ニ付キマシテ、私カラ概略ノ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、廣ク優生方策ト云フコトヲ考ヘマス、誠ニ廣汎ナ範圍ニ互ル次第デアリマシテ、殆ド我々厚生行政ノ全般ハソレニ密接ナ關係ガアリマス、ソノミナラズ、他省主管ニ互リマス産業政策、經濟政策等ニモ重大ナル關係ガアル譯デゴザイマス、此處ニハ主トシテ其ノ中デモ最モ優秀ナ素質ノ國民ヲ十分ニ得タイト云フコトニ直接關聯ノアリマスルヤウナ事柄ニ付テ、主トシテ申上ゲタイト思フノデアリマス、其ノ第一ハ優秀方策ノ基礎的研究デゴザイマス、本年度ニ於キマシテハ、人口問題研究所ヲ設置致シマシテ、人口問題ノ綜合的研究ノ實ヲ舉ゲルニ努メテ居ル次第デアリマス、人口問題研究所ノ仕事ハ主トシテ、文化科學的ノ方面ニ重點ヲ置ク次第デアリマス、他ノ一面ニ於テ人口ノ自然科學的調查研究機關ト致シマシテ、昨年度ニ於キマシテハ現在ノ公衆衛生院、

營養研究所等ヲ併合致シマシテ、更ニ民族優生部ト云フモノヲ厚生科學研究所ノ中ニ設置致シマシテ、左様ナ樞要ナル幾多ノ部門ヲ加ヘテ、厚生科學研究所ト云フモノヲ設置スル考デゴザイマス、人口問題研究所ト是ハ兩々相俟ッテ調査研究ノ擴充徹底ヲ期シヨウト云フコトニナッテ居リマス、固ヨリ其ノ働キノ上ニ於キマシテモ、或ハ研究所ニ於テ研究、調査ニ當リマスル人員ノ上ニ於テモ今後ノ充實、改善ニ俟タネバナラヌモノモ多アル譯デゴザイマス、能フ限リ此ノ方面ノ調査研究ニ力ヲ注ギタイト考ヘテ居リマス、第二ハ優生思想ノ普及ト云フコトニ力ヲ注イデ參リタイト思フノデアリマス、色々ノ優生方策ハ同時ニ徹底シタ思想ノ普及ヲ伴ハナケレバ其ノ實效ヲ擧ゲ得ナイノデアリマス、特ニ我が國ノ現在ノ人口ノ狀態ニ鑑ミマシテ、健全ナ素質ヲ有スル者ノ出生率ノ維持向上ノ要ハ申ス迄モナイノデアリマス、其ノ根本ガ國民ノ人口ヲ殖ヤサネバナラヌト云フ意識、ソレニ寄與セネバナラヌト云フ意識如何ニアル譯デゴザイマシテ、申サバ増殖意思トデモ申シマス、ソレガ深ク國民生活ノ中ニ根ザスコトナノデゴザイマス、有ラユル機會、有ラユル行政ニ於テ健全ナル人口増殖ニ關スル國民ノ精神的自覺、反省ヲ促シマシテ、多數健全ナ子女ヲ養育致シマシテ、國家ニ報ユルト云フ思想ノ徹底ニ努メテ居ル次第デアリマス、是ハ今後モ益々力ヲ注ガネバナラヌコトト考ヘテ居リマス、次ニ國

民生活ノ安定ト申シマスルカ、確立ト申シマスルカ、左様ナコトガ最モ大切ナコトデアルト考ヘルノデアリマス、健全ナ素質ヲ有スル人口ノ増殖ニハ國民生活ノ安定ヲ圖ラネバナラヌ、所謂社會施設ト致シマシテノ福利施設、保護施設等ノ徹底ヲ期スル外、一般庶民生活ノ安定、殊ニ戰時國民生活ノ安定、戰時下ニ於ケル緊要ノ問題ト致シマシテハ、例ヘバ地代及家賃ノ規正ニ意ヲ用ヒ、又賃銀政策ニ於キマシテモ、低物價政策ノ完遂ト云フコトト相俟ッテ生計費ニ基礎ヲ置キマシタ賃銀ヲ確立セネバナラヌト云フヤウナコトニナッテ參リマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテモ目下折角其ノ實現ノ爲ニ努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、尙公共團體デアリマスルカ、或ハ民間ノ諸會社等ニ於キマシテ最近家族數就中子供ノ數ニ依リマシテ家族手當トモ謂フベキ特別ノ手當ヲ支給スルモノガ漸ク多クナッテ參リマシタコトハ誠ニ好マシイ傾向デアリマシテ、成ルベク其ノ普及徹底ヲ圖リタイト考ヘテ居リマス、政府ニ於キマシテモ極メテ僅小ノ範圍竝額デハゴザイマス、先般家族手當ニ關スル規程ヲ定メマシテ、ソレ等ノ會社ハ固ヨリノコト、官廳、公共團體方面ニモ其ノコトノ齊シク行ハレマスヤウナ手配ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、尙住宅行政ノ如何ト云フコトハ、人口ノ増殖ノ上ニモ極メテ重大ナ意義ヲ有スルコトト考ヘマス、特ニ今日ノ實情ニ鑑ミマシテ極メテ緊要且重大ナ問題デゴザイマス、將來一層住宅

行政ノ上ニ於キマシテ遺憾ナキヲ期セネバナラヌコトト考ヘテ居リマス、教育費デアリマス、醫療費ノ負擔輕減等モ關聯致シマシタ大切ナ問題デゴザイマス、ソレ等ニ付キマシテモ十分ナ考慮、工夫ガ要ルト考ヘテ居リマス、次ニハ國民體力ノ向上ト云フコトガ優生方策ト致シマシテモ重大ナル部門デアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス、國民體力ノ向上ヲ圖リマシテ、豫防衛生諸施設ノ擴充徹底ヲ遂ゲ、死亡率ヲ引下ゲルト云フコトニ努メマスルコトハ、誠ニ今日ノ實際行政ニ照シマシテ極メテ緊要デアリマス、コトハ申ス迄モナイノデアリマス、國民體力管理法案ニ付キマシテ曩キニ御審議ヲ仰ギマシタノモ其ノ趣意ニ依ッテ次第デアリマス、死亡率ノ引下ニ付キマシテハ、特ニ我が國ニ於キマシテハ乳幼児死亡率ノ高イト云フコトニ鑑ミマシテ、又事變ニ依ル出生ノ減損ヲ補填致スベキ必要ナ對策ノ一ツト考ヘマシテ、本年度ニ於キマシテハ乳幼児ノ體力ヲ向上スル對策ト致シマシテ、一般的ニ育兒思想ノ普及向上ヲ圖リマスルト共ニ、生後一年一二箇月以下ノ幼兒ニ付キマシテ、全國的ニ一齊調査ヲ行ヒマシテ、之ニ基キマシテ個々ノ乳幼児ニ關シマシテ育兒上ノ指導ヲ行ッタルデアリマス、明年度ニ於キマシテハ此ノ調査ノ外ニ全國的ニ指導醫ヲ委嘱致シマシテ隨時健康審査ヲ行フコトニ致シマス、更ニ乳幼児對策ト母性保護、母性ノ體力向上トノ不可分ナル關係ノ上ニ立チマシテ、母性ヲモ含メタ施設ト致

シマシテ、産婆ノ中優秀ナル者ヲ選ビマシテ之ヲ再教育致シ、之ヲ巡回保健婦ト云フ者ニ委嘱致シマシテ、妊婦、産婦或ハ授乳ヲ致シマスル婦人ノ家庭ヲ歴訪シテ指導ヲ與ヘルト云フ方策ヲ執ルコトニ致シマシタ、是等ノコトニ對シマシテハ御承知ノ通りニ、今日國民體力管理ノ中ニ直グニハ實施ニ入ッテハ居ラナイノデアリマスガ、法トシテハ豫定シテ居リマスルガ、明年度カラ此ノ法ヲ適用スルト云フコトニハナッテ居ラナイノデアリマスガ、斯様ニ致シマシテ強制的ナ法ノ適用ニ先立ッテ、實質的ニハ斯様ニ致シマシテ、乳幼児並ニ妊産婦、授乳婦等ノ御世話ヲスルト云フコトニ於キマシテハ最モ力ヲ注ギタイト考ヘテ居ルノデアリマス、次ニハ花柳病其ノ外ノ民族ノ根ヲ蝕ムヤウナ病毒ノ豫防デゴザイマス、花柳病ガ人口ノ増殖ヲ阻害スル重大ナ原因デアリマスルコトハ言フ迄モナイノデアリマス、特ニ戰時ニ於テ其ノ蔓延ヲ見マスルコトハ過去ノ事實ニ徴シテ明カデアリマス、又現在其ノ徴候ガ既ニ現レテ居ルノデゴザイマス、花柳病豫防ニ關シマシテハ此ノ診療施設ノ擴充、豫防思想ノ普及等ノ諸對策ノ擴充徹底ニ努力致シマシテ、早産或ハ死、流産ノ減少ヲ圖リ、乳兒死亡ノ重要ナル原因デアリマス先天性弱質ノ減少ヲ期スルト云フヤウナコトニ努メタイト考ヘテ居ルノデアリマス、又酒精麻藥ナドノ中毒防止ト云フコトモ優生上最モ緊要ナコトト致シマシテ是等ニハ、従前モ既ニ力ヲ注イデ居ルノデアリマスガ、今後益々研究ヲ深メ、實行ヲ強メテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、次ニハ醫療施設等ノ問題デゴザイマス、尙其ノ外ニ多數ノ子女ヲ健全ニ成育セシメタ家庭ヲ表彰スル、或ハ

農村隣保施設ノ助成、兒童保護思想ノ啓發、保健所其ノ他醫療施設ノ擴充徹底ト云フヤウナコトガ總テ此ノ問題ニ深イ關聯ヲ持ッテ居ルト考ヘルノデアリマス、我が國ノ青壯年ノ死亡率ト云フモノハ大分高いノデアリマシテ、是ハ健全ナル人口ノ増殖ノ上ニ最モ寒心ニ堪ヘナイコトデアリマスノハ申ス迄モナク、今日ノヤウナ人手不足ノ著シイ場合ニ於キマシテハ、此ノ年齡層ノ死亡率改善ト云フコトハ特ニ重大ナ意義ヲ有スル次第デアリマス、此ノ青壯年ノ死亡ノ約大半ト云フモノハ結核死亡デゴザイマス、遺憾ナガラ近年ハ此ノ青壯年ノ結核死亡率ガ上昇シツ、アルカノ如キ實情ニ鑑ミマシテ、結核對策ノ擴充ノ必要ハ愈々緊切ナコトニナッテ參リタイト考ヘルノデゴザイマス、就キマシテハ今後一層結核ノ病床ノ増加ヲ圖リマスルト共ニ、更ニ農村ノ結核ト都市ノ小兒結核等ノ結核問題中ノ極メテ緊要ナ部分ニ對シマシテ、特ニ其ノ豫防改善ニ力ヲ注ギマシテ、結核豫防思想ノ徹底ニ付キマシテモ、關係ノ有ラユル方面ト協力致シマシテ、一段ト效果ヲ擧ゲルコトニ努力ヲ致ス次第デアリマス、尙優生方策トシテ直接ニ遺傳ノ立場カラ健康ノ保持ヲ目的トスル方策ト致シマシテ、隔離收容施設ノ擴充ト云フコトニ付キマシテモ、力ヲ注ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、優生手術ニ依リマスル遺傳ノ防遏ト併セマシテ、精神病其ノ他ノ精神薄弱者等ノ隔離收容ヲ致シマスルコト云フコトガ惡質遺傳防遏ノ上ニ極メテ大切デアルト思フノデアリマス、今日我が國ニハ是等ノ施設ハ未ダ不十分デアルト申サネバナラヌ現狀デアリマス、隔離ニ依ッテ防遏シ得ル犯罪其ノ他各種ノ社會不

安ト云フモノガ醸成セラレテ居ルコトヲ認メネバナリマセヌノデ、今後一層此ノ方面ニ對スル施設ノ充實ト云フモノヲ圖ッテ參リタイト考ヘルノデアリマス、次ニハ昨日モ御話ニ出マシタ健康結婚、又ハ優生結婚ト云フヤウナ問題デアリマス、遺傳ノ立場カラ見テ健康結婚ト云フコトハ將來健康ナル子孫ニ惠マレル所以ノ基デアリマス、現行民法ニ於キマシテハ、僅カニ結婚ノ最低年齡ト近親結婚ノ禁止等ノ規定ヲ設ケテ居ルニ過ギナイノデアリマシテ、惡質遺傳、之ヲ結婚ノ上ニ於テ防遏スルト云フコトニ付キマシテハ、極メテ不十分ト考ヘラレノデアリマス、併シ之ヲ直チニ左様ナ積極的ナ優生目的ヲ法制化スルト云フコトニ付キマシテハ、種々ノ事情ニ依リマシテ之ガ實現ガ容易デナイコトガ考ヘラレマスノデ、將來ノ問題トシテ十分ニ之ヲ研究致シタイト考ヘマスルガ、教育ノ方法ヲ以テ國民ニ對シテ優生ノ立場カラ結婚ト云フコトノ重大デアルト云フコトヲ指導シマスルコトハ、今後直チニ實行シ得ルコトデゴザイマス、曩キニ述ベマシタ優生思想ノ普及ト云フコトニ伴ヒマシテ、或ハ優生結婚相談事業ト申スヤウナ仕事ヲ始メマシテ、各方面ノ相談ニ應ジ、研究ノ結果ヲ一般ニ周知セシメルト云フヤウナ仕事ニ力ヲ注ギタイト斯様ニ考ヘテ居リマスル次第デアリマス、以上極メテ概略ノコトデアリマスルガ、私共ノ優生方策トシテ最モ力ヲ注ギタイト考ヘテ居リマスルコトノ概要ヲ御説明申上ゲマシテ、尙政府委員カラ御手許ニ差上ゲマシタ資料ニ付キマシテノ概要ノ御説明ヲ致サセタイト思ヒマス

○政府委員(高野六郎君) 昨日委員長ヨリ御尋ノゴザイマシタ中デ優生方策ニ付キマシテハ只今大臣カラ申上ゲマシタノデアリマスガ、外ノ數點ニ付キマシテハ取敢ズ資料ノ四十、四十一、四十二、四十三ト致シマシテ、御手許ヘ差上ゲテハアリマスルガ、一應簡單ナル説明ヲ申上ゲサセテ戴キタイト思ヒマス、國民優生法ヲ施行シタ結果ドウナルカト云フコトデアリマス、國民優生法ガ優生方策ノ根本デゴザイマスルカラ、各般ノ優生施設ヲ致シマスルト共ニ、此ノ制度ニ依リマシテ、直接ノ效果ヲモ種々期待スルノデゴザイマスルガ、第一點ト致シマシテハ遺傳性ノ疾患ヲ相當防遏シ得ルト信ジマス、何分遺傳素質ハ國民ノ間ニ可ナリ廣ク濃淡ハゴザイマスルガ、相當擴マッテ居リマスルカラ、其ノ中ノ特別強度惡質ナルモノノミニ優生手術ヲ行ヒマシテ其ノ效果ガ短期間ニ忽チニ歴然ト現レマシテ、精神病等ノ發生ヲ著シク減ジマスルカト云フコトハ容易ニ申上ゲ兼ネル問題ト思ヒマス、相當長キ歲月ヲ要シマシテ、其ノ效果ガ現レルコトト存ジマス、只今出生致シマシタ者ガ發病致シマスルノハ數十年後ニナル場合モ多イノデゴザイマスルカラ、俄ナ成績ハ擧ゲ得ナイノデゴザイマスルカト云フ、此ノ實行ノ程度ニ依リマシテ、可ナリニ其ノ效果ガ現レルコトカト存ジマス、而シテ其ノ結果國民ノ惡質遺傳ノ素因ノ程度、度合ガ低クナルコトト考ヘテ居リマス、第二點ト致シマシテ、此ノ疾病ノ素因ヲ持ッテ居リマスル家族、或ハ個人ノ救済ト相成リマスルシ、其ノ福利ヲ保護スルコトガ出來ルト存ジマス、家庭ニ多數ノ遺傳性疾患ヲ生ジマシテ、其ノ爲ニ非常ナル不幸ニ陥ル場合

ガ世上澤山アリマスノデ、左様ナル人達ハ既ニ斯クノ如キ制度ノ確立セラル、コトヲ熱望シテ居リマスル者ハ尠クゴザイマセヌ、是ハ精神病専門家ヨリ屢々聞ク所デゴザイマシテ、斯様ナ制度ガ出来マシテ、速カニソレ等ノ希望者ニ目的ヲ叶ヘサセテヤリタイト云フコトデアリマスルガ、是ハ相當數アルノデハナイカト考ヘテ居リマス、即チ公衆衛生ノ立場ト立ビマシテ、個人衛生、家族衛生ノ立場カラ其ノ幸福ヲ保護スルコトガ出来ルノデアルト考ヘマス、第三點トシマシテ犯罪ヲモ相當防遏シ得ルコトト信ジマス、本來此ノ制度ハ刑事政策ヲ目的ト致シマセヌデ、全ク遺傳ノ防遏ヲ目的トシテ居ルノデアリマスルガ、犯罪者ト云フモノノ中ニハ、可ナリ遺傳ノ關係ノ缺陷ノアルモノガアルノデゴザイマスルカラ、其ノ方面ニ於キマシテ自ラ效果ガ現レルコトト思ヒマス、又此ノ制度ノ第四點ト致シマシテハ此ノ制度ノ一面ニ於キマシテハ、優生手術、即チ生殖ヲ不能ナラシムル意味ノ手術ヲ禁ジ、又其ノ濫用ヲ差止メルヤウニナッテ居リマスルノデ、此ノコトハ健康ナル人口ノ増加ニ寄與スル所ガ相當アルベキデアラウト存ジマス、人口減少ノ可ナリ大キナ原因トシマシテ、人爲ノ産兒制限ガ行ハレテ居ルコトガ考ヘラレマス、其ノ人爲ノ産兒制限ノ最モ惡質ナ、徹底ナルモノガ此ノ優生手術デゴザイマスルカラ、此ノ手術ヲ止メマスルコトハ、其ノ方面ニ效果ガアルコトト考ヘマス、次ニ國民優生法ヲ行ハナカッタナラバドウナルカト云フ點デゴザイマス、是ハ只今申上デマシタコトノ裏ニ相成リマスルコトデアリマスルカラ、大體説明ヲ要セヌヤウ

ナモノデアリマスガ、多少ノ材料ニ付キマシテ其ノ點ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、第一、遺傳性ノ病氣ハ段々増加スル傾向ガゴザイマス、殊ニ是ハ文明生活ノ一ツノ特色デゴザイマシテ、段々ト精神病ガ増加シテ參リマス、我が國ノ實例ヲ取リマシテモ、昭和元年ノ精神病患者ガ六萬四百九名デゴザイマシタモノガ、昭和十二年ノ調ニハ九萬九千九百九十五名デアリマシテ、之ヲ人口一萬人ニ對スル比率ヲ取テ見マシテモ、昭和元年ハ九・九八デゴザイマシタガ、昭和十二年ニハ、一二・七七トナリマス、即チ人口増加比率以上ニ此ノ疾病ノ殖エタコトヲ示シテ居ル譯デゴザイマス、固ヨリ此ノ數字ハ精神病全體デゴザイマスルカラ、必ズシモソレガ遺傳病デアルト全部ヲ言フ譯デハゴザイマセヌ、是ハ他ノ理由カラ遺傳性ノ精神病ガ比較其ノ中デ増シツ、アルト云フコトガ考ヘラレル次第デアリマス、失明者ヲ調ベテ見マスルト、全體トシテハ失明者ノ數ガ減リマスケレドモ、先天的ノ盲者ハ殖エルト云フ數字ガゴザイマス、即チ後天的原因ニ依ル失明者ハ之ヲ豫防スルコトガ段々ト殖エテ參リマシタガ、詰リ一般衛生施設ガ改善サレマシテ、盲ノ場合デアリマシテモ原因ハ除キ得ルノデアリマスガ、先天的ノ原因ハ之ヲ除クコトガ出来マセヌノデ、却テ増スト云フ譯デアリマス、次ニ精神薄弱者デゴザイマスガ、是モ其ノ増加率ガナカク、高ウゴザイマシテ、一般普通ノ人ヨリモ却テ増加率ガ多イト考ヘラレテ居リマス、現在精神薄弱者ノ數ガ人口ノ約二・パーセントト考ヘラレテ居リマシテ、是ガ漸次増加シテ參リマスルコト云フト、社會ノ負擔ト云フモノハ非常ニ殖エテ參リ

マス、遺傳性身體畸形ニ於キマシテモ、矢張り是其ノ繁殖ヲ止メマセヌケレバ増加スル傾向ヲ示スモノデアリマシテ、即チ全體カラ觀察致シマシテ、遺傳性ノ病氣ハ之ヲ放置スルニ於キマシテハ漸次其ノ數ヲ増シマシテ、從來以上ニ其ノ數ガ増シマシテ、社會ノ不健全ノ原因トナルト云フコトト考ヘラレルノデアリマス、斯様ナル遺傳性疾患ガ發生致シマスルコト云フト、非常ニ其ノ家族ヲ困難ニ陷レマスコト、是ハ社會的ニ經濟的ニ非常ニ不幸ヲ醸シマスコトハ申ス迄モアリマセヌ、時ニ依リマスト家族破滅ノ原因トナルコトモゴザイマス、次ニ優秀健全ナル子孫ノ出生率ガ多少減少ノ傾キガアリマシテ、是ハ外國ニ於テモ同様デスガ、我が國ノ實情モ亦之ニ倣フ傾向ガゴザイマシテ、人口ノ自然増加ガ段々減ッテ來ル虞ガアルデハナイカト云フコトノ屢々御話ガ出タノデアリマス、此ノ從來ノ人口自然増加率ハ出生率ガ多少減リマシテモ、死亡率ヲ低減致シマシテ、之ヲ此ノ自然ノ人口増加率ヲ稍、現狀維持ノ如キ狀態ヲ以テ參リマシタガ、此ノ死亡率ノ低下ハ、或程度ニ於テ自ラ停止致シマスルカラ、茲ニ於テ出生率ノ低減ガアリマシテハ、非常ニ人口問題ノ上ニ影響スル所ガ大キイノデアリマシテ、詰リ人爲ノ産兒制限ト云フモノハ、極力阻止セネバナラヌ譯デゴザイマス、此ノ點ハ先程大臣ノ御話モゴザイマシタヤウニ優生思想、即チ健全ナル結婚ヲシテ、健全ナル子ヲ多ク得ルト云フコトガ根本デゴザイマスガ、左様ナ方面モ拾措クコトガ出来マセヌト思ヒマス、以上ノソレノ點ガ、若シ優生政策ヲ行ハナケレバ左様ナコトニナリ、其ノ優生政策ヲ行フ爲ニハ、優生法ガ

其ノ根柢トナリマスルコトヲ必要トスルヤウニ感ジテ居ル次第デアリマス、其ノ次ニ國民優生法案ノ制定ヲ必要トスル理由ヲ簡單ニ申述べマスガ、先程申上デマシタヤウニ、遺傳性疾患ハドウシテモ之ヲ防遏セネバナリマセヌノデアリマス、遺傳性疾患ニ於テハ、概シテ其ノ治療ハ困難デゴザイマス、既ニ發生致シマシタル以上ハ、其ノ處置ハ極メテ面倒デアリマシテ、而モ社會ノ非常ナル負擔ト、又國家發展ノ缺陷トナル次第デゴザイマスカラ、是ノ發生ヲ阻止スル以外ニハ方法ガゴザイマセヌ、其ノ爲ニハ斯クノ如キ制度ヲ設ケル必要ガアル譯デアリマス、話ガ重複スルノデゴザイマスガ、遺傳的ニ發生シマシタ不健康者ニ向ヒマシテハ、後天的ノ處置、即チ環境ノ改善ニ依ッテ其ノ缺陷ヲ除クコトハ殆ド困難デゴザイマスルノデ、ドウシテモ根本的ノ處置ヲセネバナラヌノデアリマス、我が國ノ國民ノ素質ノ優秀ナコトハ本來固ヨリ疑フ餘地ノナイモノデアリマスガ、如何ニ健全無比ノ國民デゴザイマシテモ其ノ中ニ遺傳性ノ弱點ガ相當存在スルコトモ事實デゴザイマスカラ、此ノ弱點ヲ除キ去ッテ健全ナル國民ノ發達ヲ期セネバナラヌト云フコト、即チ素質ヲ良クスル、健全ナル素質ヲ増スト云フコトガ必要デアリマスルコトハ申上ゲル迄モゴザイマセヌ、尙一點申シマスガ人口増加ヲ緊急ノ要務ト致シマスル際ニ玉石ト申シマス力、不健全ナル人口ノ分子ガ若シモ俄カニ其ノ數ヲ増スト云フヤウナコトデアリマスルト、却テ所謂逆淘汰ト云フヤウナ結果ニナル虞レアル次第デアリマス、大體人口増加ニ因リマシテ自然淘汰ガ十分行ハレテ居ル時代、古キ時代デアリマスレバ此ノ心

配ガ稍、薄イノデアリマス、現在ニ於キマシテハ苟モ生レタル以上ハ十分ニ之ヲ保護スル譯デゴザイマスカラ、人口ノ數ノ増加ニ伴ヒマシテ却テ素質ノ低下ガ恐レラレル次第デアリマス、又産兒制限思想ト申シマスカ、斯様ナル惡傾向ガ是正セラレナケレバナラスノデアリマス、其ノ爲ニモ本案ノ如キ取締ガ必要デアラウト考ヘルノデアリマス、同時ニ醫療ノ目的ト稱シテ避妊手術、妊娠中絶等ガ濫用セラレマスコトハ恐レナケレバナラスノデアリマシテ、以上ノヤウナ實質的ノ理由ニ基キマシテ、本法律ノ制定ハ必要ヲ感ズルノデアリマス、次ニ之ヲ形式ノ上カラ考ヘマシテ、左様ナル手術ヲ特別ノ法律ニ依ッテ規定スル必要ガアルカト云フコトモ一ツノ問題デゴザイマスガ、矢張り是ハ明文ヲ以テ規定スルコトヲ必要ト感ジタ次第デアリマス、從來モ斯様ナル手術ハ往々行ハレタコトガアルトモ存ジマスルガ、現行法ノ下ニ於キマシテハ此ノ目的ノ爲ニ爲ス所ノ手術ガ果シテ適法ナルヤ否ヤガ法文上ニ確定デアリマシテ、結局醫法制ノ解釋ニ俟タネバナリマセヌノデ、實際上手術ヲ無理ナク行ヒマスルニハ此ノ規定ヲスルコトガ必要ト考ヘタ譯デアリマス、更ニ此手術ガ普通ノ健康者ニ向ッテ大體適法ト解釋ガ出來ルト致シマシテモ、精神病者ノ如キ者ニ適用スルニハ矢張り特別法ノ規定ガ必要ナル譯デアリマス、意思能力ノ不完全ナル者ヲ對象トスルコトガアルノデゴザイマスカラ即チ此ノ規定ヲ設ケル必要ガアルデアリマス、又之ヲ單行法トスル必要ガアルカト云フ點モ問題トナッタ次第デゴザイマスガ、刑法ノ一部改正等ニ依ッテ宜イノデハナイカト云フ考ヘ方デアリマスルガ、

是ガ實施ニ當リマシテ、手續適用範圍等ニ付嚴重ナル制限ヲ必要ト致シマスル爲ニ、結局是等必要ナル規定其ノ他ノ優生規定ト併セマシテ、特別ノ單行法制定ノ必要アリト存ジテ居ル次第デゴザイマス、最後ニ日本ト他ノ外國トノ心身缺陷者ノ現狀ガドウデアアルカト云フ御尋ガゴザイマシテ、ソレハ四十三ノ資料トシテ差上ゲテゴザイマスカラ、是ハ御覽ヲ願ヒマスレバ一目瞭然ト存ジマスルガ、一番甚ダシイ所ヲ一二言申添ヘテ置キマスレバ、我が國ニ於キマシテハ精神病ノ率、人口ニ對スル百分率ヲ取リマシテ精神病全體ガ〇・一二七トナッテ居リマスノニ、「ドイツ」ニ於キマシテハ……

○委員長(子爵野村益三君) チョット申上ゲマスガ、成ルベク速記ヲ止メズニ願ヒタイノデスガ、已ムヲ得ナイ所ハ仕方ガアリマセヌガ……

○政府委員(高野六郎君) 「アメリカ」ノコトヲ申上ゲマス、「アメリカ」ノ精神病ノ率ガ四「パーセント」デゴザイマス、其ノ中ノ遺傳ノ關係最モ甚ダシイモノ、精神分裂症ト申シマスルモノ、是ガ日本ニ於キマシテハ〇・〇五九デゴザイマスルノニ、「ドイツ」ニ於キマシテハ〇・四五デアリマス、「アメリカ」ニ於キマシテハ丁度其ノ數字ガゴザイマセヌガ、大體全體ヲ眺メマシテ、「ドイツ」「アメリカ」等ニ於テハ我が國ニ於ケルヨリモ遺傳性ノ精神病ガ非常ニ多イト云フコトガ感ゼラレル次第デゴザイマス

○委員長(子爵野村益三君) 大變御深切ナ説明ヲ得マシテ感謝致シマス、簡單ニモウ少シ引續イテ御尋ヲシ、又希望ヲ述べテ置キタイト思フノデアリマスガ、ソレハ例ノ遺傳ノコトハナカク我々が了解スルノニ

ムヅカシイコトデ、殊ニ遺傳學ノ進歩ニ連レテ數年前ハ斯ウト思フコトガ今日デハ又變ルト云フヤウナコトガアル、我々デサヘサウデアリマスカラ大衆ニ之ヲ了解セシムルト云フコトハ格別ムツカシイコトト思フノデアリマス、御示ニナリマシタ中デモ其ノ方策トシテハ第七ニ謳ッテアリマスガ「簡易ニ解説セル映画、幻燈、又ハ紙芝居ヲ作成シテ公衆教育ニ資セントス」是モ一ツノ方法デアリマセウ、其ノ他色々ノ方法デ、而モ上手ニオヤリニナラヌトドウカト思フノデ、昨日モ申上ゲマシタヤウニ遺傳ノ法則現象ヲ認メテ、之ヲ信ジテ居レバ本法ノ内容ニ付テハ自然ト了解ガ行クノデ、若シサウデナイト色々ナ議論ガ出ル、或ハ甚ダシキハ人権蹂躪トカ、或ハ系統生命ノ障害トカ云フヤウナ論議ガ出ル、遺傳ト云フコトヲ知ラセルト云フコトガ頗ル難點ト思フ、所謂難解デアリマス、難解ノ代物デアリマス、難解ノ代物ハ私ハ斯ウ考ヘテ居ルデスガ、第一ハ「アインシュタイン」ノ相對性原理デアル、是ハ我々デモ分リマセヌ、第二ハ甚ダ皮肉ノヤウデスケレドモ、日本ノ豫算ダト思フ、第三ハ遺傳ト云フコトダト思フ、豫算モ我々が現ニ一般會計ニ於テ五十八億、四十個モアル特別會計ニ於テ百五十八億ノ歳出ヲ先ヅ通シタ處ガソレカラ追加又追加其ノ上ニ追加ト云フ譯デ、今日ニ於テハ一般會計ノ方ガ六十億、ソレカラ特別會計ガ二百億、合計二百六十億ノ豫算ヲ將ニ可決セムトシテ居ルノデアリマス、處ガ御承知ノヤウニ通拔ケ勘定ガアッテドウモ分ラナイ、我が明敏ナル衆議院ノ豫算委員長報告ニソレハ初メノ豫算デアリマスガ、政府ハ五十八億ト云ッテ居ルケレドモ、實際ハ百

五十億ダト云フコトヲ報告サレテ、我々モサウデアアルカト思ッテ流石ニ衆議院ノ豫算委員長ノ明敏サニ感服シタノデアリマス、處デ大藏當局ノ、私が最近ニ受取ッテ計算書ニ依リマスルト最初ノ場合ニ於テハ通拔ケ勘定ヲ差引テ、控除又控除シマシテ總計ガ百十億、ソレカラスッカリ追加豫算ノ額ヲ加算シテ其ノ曉ニハ百十七億、處ガ但シ、但書ガアル、但シ臨時軍事費竝ニ臨時陸軍材料資金特別會計ヲ除クトナル、我々又分ラナイ、此ノ難解ノ代物ノ第二ハ日本ノ豫算ナンドアル、マアサウ云フコトモ一ツ關係トシテ能ク御考ヘ願ヒタイト思ヒマス、第三ハ此ノ遺傳ノコトナンドアル、私共學生ノ時ニ「レクチュア」ヲ聽イタ時ト其ノ後十年モ経タ時ト今日トハ餘程違ッテ居ル、昨日モ或方カラ御指摘ガアリマシタケレドモ、ナカク「諒解ニ苦シム、ソレデ此處ニモ參考書類ヲ戴イテ、ソレヲ拜見シマス」最近ノ遺傳ニ關スル學說ガ述ベタル、ソレデ最モ我々ノ難解ナノハ因子ノ問題、因子ト云フモノガ譯ガ分ラナイ、ソレデ私共御同様ガ遺傳ニ關スル定義デスカ、ソレヲ何ダト言ハレテモ實際困ル、即座ニハ出テ來ナイ、ソレデコンナコトハマア御承知デアリマセウガ書イテアル、遺傳ト云フモノハ生物ノ身體ニ固有ノモノデ、一定ノ機會ニ一定ノ形質ヲ現ス原因即チ因子ガ生殖細胞ニ依ッテ或世代カラ後ノ世代ニ傳ハル現象ダト斯ウ言フ、是デハ分ラナイ、是デハ第一因子ト云フモノガ分ラナイ、因子ト云フモノガ物質デアルト云フコトニナレバ大イニ諒解ガ付キマスケレドモ我々ドウモ甚ダ知ルニ苦シム、處ガ此ノ「パンフレット」ニアル所ニ依ルト因子ト云フモノハ見

付ツタ、ソレハ大キサカラ言ヘバ二百五十「ミクロン」デドウト云フコトガアル、ソレデマア非常ニ我々ハ何ト言ヒマスカ、納得ガ出来掛ツタ、處ガ因子ノ働キヲ考ヘマスト生殖細胞中ニハ色々ナ因子ガアル、ソレノ組合セモ變ル、ソレカラ色々ナ刺戟變化、「コンデション」ニ依ッテ、狀態ニ依ッテ因子其ノモノモ變ルノダ、因子其ノモノモ變ルノダシ、第一ニ色々ナ因子ガ染色體ノ中ニアル、生殖細胞中ニアル、ソレハ色々ナ組合セガ變ッテ行クコトモ出来ルシ、又變化モ起ス、ソレダカラ色々生物ノ進化、進歩ト云フコトガ企圖セラレ、斯ウ云フ説ナシデアル、處ガ此ノ因子ト云フモノハ何ゾヤト云フトドウモ我々ハ分ラナカッタノガ、此ノ頃ニナツテカラ斯ウ云フモノデ、サウシテ大キサハ二百五十「ミクロン」ダト云フ、是ハマア非常ニ進歩ダと思フ、併シサウ云フ學説ガ一般ノ定説アルカドウカト云フコトハ私知リマセス、幸ニ其ノ點ニ付テモ教ヲ乞フコトガ出来タラ結構ダと思ヒマス、ソレカラ又遺傳ニ關聯シテ今ノ生殖細胞ノ何ト言ヒマスカ、「ユナイト」スル、詰リ融合スル場合即チ細胞ノ分裂ヲ起ス場合ガアリマスガ、ソコデ男ト女ガ決ル、斯ウ云フコトデモ我々モ實ハ能クハ分ラナカッタ、ソレハ矢張り染色體ノ數ニ依ツテ決ル、女ノ方ハ四十八ノ染色體ガアリ、男ノ方ハ四十七デア、其ノ組合セニ依ツテ四十八ト云フコトニナレバソコデ女ガ出来ルコトニナル、若シ四十七ト云フコトニナレバ男ガ出来ルト云フヤウナコトデ、マア漠然ト我々ハ諒解シテ居タノデス、我々ガ中間デ近年承知シテ居ルノハ、ソレモサウダケレドモ矢張り特殊ノ性細胞ガアル、性細胞デヤアリマセ

ヌ、性染色體ガアル、ソレハ他ノ染色體ヨリモ大キイノダ、其ノモノガアルトナイトニ依ツテ男ト女ノ區別ガ付クノダ、例ヘバソレガアルト女、ナカッタモノハソレハ男ヲ結成スル、マア斯ウ云フヤウナコトヲ矢張り聞イテ居ツタ、今日デハ能ク此ノ説明ハ分リマセヌケレドモ、矢張り四十八ト四十七ノ問題デ、其ノ外ニ矢張り其ノ中ニ性ヲ支配スル細胞體ガアル、マア斯ウ云フヤウナコトデス、斯ウ云フヤウナコトガ分ラナイトドウモ遺傳ノ原則竝ニ現象ガ分ラヌト、此ノ優生法モ十分ニ納得ガ出来ナイ、ソレガ分レバモウ問題ハナイ、處ガ遺傳ノ原則、現象ト云フヤウナコトヲドウシテ分ラセルカト云フコトハ、是ハ非常ニ技術ヲ要スル、ソレデ今御話申上ゲタコトデ、此ノ「ペンフレット」ニ書イテアルコトガ、果シテ今日ノ遺傳學ノ定論ニナツテ居ルノカドウカト云フコトヲ實ハ私確カメテ置キタイ、今デナクモ宜ウゴザイマスカラ若シ御教ヲ得ラレ、バ非常ニ結構ダと思ヒマス、第二ハサウ云フ譯デアルカラ餘程此ノ遺傳ノコトヲ大キク言ヘバ優生法ニ付テノ大衆ニ對スル諒解ヲ十分有ラユル方面カラ御付ケニナルコトヲ必要トスルノデア、其ノコトヲ特ニ希望スル、斯ウ云フコトヲ申添ヘテ置キタイと思ヒマス

○政府委員(高野六郎君) 私モ遺傳學ニ付テ專攻シテ居ル者デハゴザイマセヌガ、役所トシテ「ペンフレット」等ニ記シテ差上ゲマシタコトハ、學界ノ定説ダケヲ御覽ニ入レルヤウニ努メタ次第デアリマシテ、現在ノ學界ニ於キマシテハ此ノ程度ノコトヲ以テ間違ノナイコトヲ斯ウ存ジテ居リマス

○委員長(子爵野村益三君) 大體論ニ付テ

御質疑ガアレバ御願ヒ致シマス……御相談申上ゲマスガ、委員外議員ノ安場男爵カラ質疑ヲ致シタイト云フ申込ガアリマシタガ、御許シ致シマシテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵野村益三君) ソレデハサウ云フコトニ致シマス……尙此ノ際ニ大體論ニ付テ御質疑ガゴザイマスレバ御遠慮ナク御發言ヲ願ヒマス

○侯爵小村捷治君 極ク小サイコトデアリマスカラ、直グ御答ヘ出来ルコトト思ヒマスカラ、此ノ時間ヲ利用致シマス、大體十六年度百萬圓ノ豫算ト云フ御話デゴザイマシタガ、是デ一體下ノ位ノ人數ニ對シテ行ヘルノデゴザイマセウカ

○政府委員(高野六郎君) 別ニ人數ヲ百萬圓デ豫定シタ積リデハゴザイマセヌデ、寧ロ國民一般ニ對スル指導啓蒙等ノコトヲ基礎ト致シマシテ、任意ノ申出ガ成ルベク多イコトヲ期待シテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ委員會ヲ設ケマシタリ、其ノ他諸種ノ調査等ノ雜用ガゴザイマスノデ、詳細ナル計畫ハ尙是カラ立テ積リデゴザイマス

○男爵小池正晃君 昨日ニ引續キマシテ諄イヤウデアリマスガ、政府委員ノ方カラ御説明ヲ願ヒタイノデスガ、遺傳ノ因子、ソレハ後天的ニ環境ノ變化ヲ與ヘル、色々處置ヲシテモ無用デア、殆ド役ニ立タナイト云フコトデアリマシテ、遺傳性ノ精神病ハモウ策ノ施スベキ點ハナイノデア、優生手術ヲ行フヨリ外ニ方法ハナイデアアルト云フ御説明デアッタヤウニ聽イテ居リマスガ、サウ致シマスルト、將來遺傳性精神病ト思ハレタ者ハ、治療デ癒ル、或ハ輕快ス

ルト云フコトニナリマシテモ、一旦其ノ精神病ニ罹ッタ者デアルカラ、其ノ遺傳因子ヲ持ツテ居ルノダカラ、矢張り輕快シテ癒ッテモ斷種ヲスルノガ宜イノデスカ、或ハサウ云フ輕快シ癒ルヤウナ病氣ハ、遺傳性疾患デナイノカ、何レデアアルカト云フコトノ判斷ニ迷ッテ來ハセヌカト思フノデアリマス、ソレデ果シテソレガ治療ニ依ッテ癒ル者ガソレハ遺傳性ノ疾患デナイト云フナラ、ソレデ宜シイノデアリマスガ、治療ニ依ッテ癒ル病氣モ依然トシテ遺傳性疾患デア、其ノ遺傳ノ因子ヲ持ツテ居ル人間デア、矢張り癒ッテモ、一遍發病シタ人間デアレバ、斷種スルノガ此ノ法案カラ言ヘバ相應シイノデアアルノデスカ、此ノ點ハ非常ニ影響スル所ガ大キイノデ、要スルニ今迄仰シヤッタ遺傳學ノ方カラ言フト、ソレノ遺傳因子ハ皆持ツテ居ルノダ、皆ガ持ツテ居ルノダカラ、發病シタ人間ニハモウ斷種ヨリ他ニナイノダ、サウ云フ解釋デ行キマス、隨分影響スル所ガ段々ト大キクナリヤセヌカト思フノデアリマスルガ、能ク癒ル、殊ニ遺傳性ノ精神病モ癒ッタト云フ報告ガ、近時大分出テ來タノデアリマスガ、ソレハ私共ハ未ダ信用シ得ルモノデア、カドウカ分リマセヌケレドモ、若シ癒ッタ場合ニ、矢張り其ノ人間ハ斷種ヲシテ宜イノカ、或ハ斷種ヲスル方ガ此ノ遺傳學カラ言ヘバ至當デア、其ノ點ヲ御尋ネシタイト思ヒマス

○政府委員(高野六郎君) 精神病專門家ノ話ヲ聽キマス、遺傳ニ依ル精神病ハ治療ガ非常ニ困難デアリ、或ハ不可能ニ近イノデハナイカト云フヤウニ承ッテ居リマスルガ、是モ或ハ段々ト治療ノ方法ガ進ミマスレバ、モット效果ガ舉ルコトニナルカトモ思

ハレマス、治療ガ良ク出来ルコトニナリマスレバ、是ハ惡質ノ者ト見ナイ方ガ正シイト考ヘテ居リマス、サウ致シマスレバ斷種手術ニハ及バナイコトニナラウカト思ヒマス

○男爵小池正晃君 只今政府委員ハ、治療ガ出来ル者ハ惡質トハ思ハナイと言フノデアリマスルガ、本案ノ對象トナッテ居ル精神病ノ中一、二ノモノハ別ニシテ、惡質者ダケヲヤルノデゴザイマスガ、ドウモサウデナイヤウニ思ハレマスガ……

○政府委員(高野六郎君) 御答ヘ申上ゲマス、此ノ法律案全體ガ惡質ナル遺傳疾患ノ増加ヲ阻止スルコト云フ意味デアリマシテ、全體トシテ惡質ト云フ觀念ハ初カラアル積リデアリマシテ、又實際ノ運用ニ當リマシテ、惡質ナル者ノミヲ對象トスルノハ、固ヨリ其ノ心構ヘデ居リマス

○男爵小池正晃君 全體ガ惡質ナル者ニ對シテ拵ヘタ法案デアルモノナラ、逐條ミタイニナリマスケレドモ、遺傳性精神病ト遺傳性精神薄弱ト云フモノニハ書カナイデ三、四、五ニハ皆書イテアルト云フ、其ノ理由ガチヨットラカシイデスナ

○政府委員(高野六郎君) 此ノ一、二ハ精神病患者ト、ソレカラ低能、白痴ノ爲デゴザイマシテ、固ヨリソレハソレ自身ニ於テ相當惡質ナルモノヲ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、第三ノ病的性格者ト申シマスルノハ、精神病患者デゴザイマセヌデ、是ハ程度ヲ特ニ明カニスル必要ガアルト云フノデ、文字ヲ強度ナル惡質トシ、四、五ハ身體的疾患或ハ不具デアリマスガ、是モ餘程特別ノ場合デナケレバト云フノデ、是ハ惡質ナル上ニ特別ト云フヤウナ氣持ヲ含メタ

積リデアリマス

○男爵小池正晃君 マアソレ等ノ事項ハ逐條審議ニ讓リマシテ、本案ノ對象ト諸外國デ行ッテ居ル對象トハ大分差ガアルヤウデアリマスルガ、最近非常ニ發達シテ居ル「ドイツ」ニ於キマシテハ、本案ノ第三項ニアリマスル強度且惡質ナル遺傳性的性格、是ハ「ドイツ」ニハナイヤウデアリマスルガ我が國デ之ヲ採用シテ理由竝ニ「ドイツ」デハ「アルコール」中毒ヲ入レテアリマスルガ、我が國デハソレヲ入レテナイ、左様ニ同ジ法案デモソレハ色々考ヘ方デ違ヒマセウガ、其ノ差別ヲ設ケテ理由ヲ伺ヒタイ

○政府委員(高野六郎君) 「ドイツ」ノ同様ノ此ノ法律ニ於キマシテハ、病的性格ハ精神病者ノ中ニ入レテ解釋シテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ度ノ立法デハ寧ロ之ヲ制限シテ、ハッキリシタモノノミヲ茲ニ出サウトスル意味デアリマス、病的性格者ガ精神病患者ノ中ニ入り、又精神薄弱ノ中ニ分ケテ、實ハ包括サレテ居ルト云フノガ「ドイツ」ノ立法ノ立テ方ト考ヘテ居リマス、ソレカラ「アルコール」中毒者ノ場合ハ、是ハ日本ノ現狀ニ即シマシテ、一應其ノ様ニ考ヘタノデアリマスガ、我が國ニ於テモ多少ハ「アルコール」中毒者ノ甚シキ者デアリマシテ、其ノ子孫ガ惡質ニ生レ付ク、心神非常ニ虛弱ナルモノヲ生ム場合ガナイトハ申シマセヌガ、是ハ本來ガ遺傳デハゴザイマセヌデ、中毒詰リ極端ナ場合ニハ之ガ胚種毒ト申シマセウカ、性細胞ニ影響シテサウシテ心神ノ發育ニ惡影響ヲ與ヘルト云フノデゴザイマスカラ、唯虛弱不良ナル子孫ノ發生ヲ防止スルコト云フ「ドイツ」ノ法律ノ如クヤリマスルト、丁度中毒者モ極端ナ場

合ニハ入り得ルノデアリマスガ、只今ノ法律デハ專ラ遺傳ノミヲ對象トシマシタノデ「アルコール」ノ問題ハ一應避ケマシテ、若シ必要ガアリマシタナラバ、今後研究ノ結果適當ニ挿入スルノモ其ノ途デアラウカト、斯ウ只今ハ考ヘテ居ル譯デアリマス

○男爵小池正晃君 此ノ強度且惡質ナル遺傳性的性格ハ「ドイツ」デハ分裂シテ居ル、或ハ外ノ精神病ニ含有サレテアルノデ、違フノダト仰ッシヤラレタガ、私ガ聞イテ居ル所デハ、第三項ニ日本デ擧ゲテアルモノハ「ドイツ」デハ遺傳性疾患ト認メナイノデヤナイノデスカ

○政府委員(高野六郎君) ソレハ如何デゴザイマセウカ、此ノ「ドイツ」ノハ只今我々ノ論議致シテ居リマスル法律ト同ジヤウナモノデアリマシテ、惡質ナル遺傳ヲ有ッテ子孫防遏法ト「ドイツ」デハ言フテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ解釋ノ「デキスト」ノ中ニハ今私ガ申上ゲマシタヤウニ、所謂病的性格者ハ分裂病、癲癇、又精神薄弱者等ノ中ニ入レテアル、斯ウ云フ風ニ諒解シテ居ル譯デアリマス

○男爵小池正晃君 其ノ項ニ屬シテ居ルモノハ日本ハ別ニ擧ゲテアリマスルガ、是ハ癲癇傾向ガ非常ニ多イ精神病デナイノデスカ
○政府委員(高野六郎君) 只今申上ゲマシタノハ殆ド癲癇ナイ部類ト心得テ居リマス、詰リ病的性格ト云フモノノ中ニハ治療ノ出来マスモノモゴザイマセウガ、所謂遺傳性的病的性格ノ方ハ處置困難デアリヤウニ私専門ノ方デアリマセヌガ、精神病ノ專門家カラ承ッテ居ル次第デアリマス

○男爵小池正晃君 第三項ニ擧ゲテ居ルモノハ非常ニ廣範圍ノ病氣ト思フノデアリマス

ルガ、是モ私專門デハナイノデアリマスケレドモ、話ニ聞ク所ニ依リマスルト、學齡時期ノ前ニ處置ヲスレバ大體癲癇病氣デアルト「ドイツ」ハサウ云フ風ニ解釋フシテ居ルト云フ話デアリマスルガ、如何デセウカ

○政府委員(高野六郎君) 是ハ極メテ狹ク解釋シタイノデアリマシテ、例ヘバ性的異狀與奮者ト云ッタヤウナモノ、又非常ニ猛烈ナル犯罪ヲ犯シ易イト云ッタヤウナモノデスカラ、結果ニ於テハ刑事政策等ニ關聯スルカモ知レマセヌ、遺傳ノ立場カラ左様ナ犯罪防止ノヤウナ風ニ社會方面、治安維持ト云フヤウナ方面ニ關聯スル極ク強度ノ惡質ト云フ意味デゴザイマシテ、非常ニ制限シテ居ルノデゴザイマス

○男爵小池正晃君 今迄御尋ネシタノハ精神病ノ方面デアリマシタガ、今度ハ遺傳性的畸形トカ、或ハ遺傳性ノ身體疾患デ惡質ナルモノヲ除外シタノデスガ、是ハ頭ノ方ニ影響ガナイ、唯形ノ上ノ手ノ指ガ五本アルベキモノガ六本アルトカ、輕イモノデアレバ兎唇トカ、サウ云フヤウナ形ノ方ノ遺傳ヲ取ッテ、社會的ニハソシナニ影響ハナイト思フノデスガ、是モ矢張り對象ニ爲サレタノハドウ云フ理由デゴザイマセウカ

○政府委員(高野六郎君) 此ノ方面ハ實ハ適用サル、實際ノ數ハ少イノデハナイカト思ヒマスガ、遺傳病ニシテ惡質ナルモノハ此ノ法律ニ依ッテ發生ヲ防遏シヨウト云フ精神カラ、詰リ序デニト申シテハ餘リ輕ル過ギルカモ知レマセヌガ、此ノ方迄手ヲ延シタ譯デアリマス、從ヒマシテ餘程甚シイモノデナケレバ是ハコチラモ相手ニスル氣持モアリマセヌシ、恐ラク少シバカリ兎唇デアルト言ッテ、自ラ子孫ヲ斷チタイト本人

ガ希望スルト云フヤウナコトハ實際ナイノ
デヤナイカト思フノデアリマスガ、餘程猛
烈ニシテ見ルカラニ困ル、家族モ困ル、社
會モ困ル、見世物ニデモナラナケレバナラ
ヌヤウナ者ダケニ、本人ノ希望ニ依リマシ
テ、或ハ其ノ途ヲ開イデ置クト云フ程度デ
アリマス

○委員長(子爵野村益三君) ドナタカ御質
問ハゴザイマセヌカ

○子爵實吉純郎君 此ノ遺傳的ノ精神病
ト、遺傳シナイデ突發スル後天的ノ精神病
ノ割合ハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、一
ツ御伺ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(高野六郎君) 是ハ實際ニ調べ
タモノガ多少ゴザイマスノデスガ、從來ノ
調査ニ依リマス、三割位ガ遺傳ノ方ニナツ
テ居ルカト思ヒマシタガ、御手許ニ差上ゲ
テゴザイマス「全國精神病院在患者遺傳
調」是ガマア差當リ我ガ國デノ數字デゴザ
イマスガ、在患者總計ノ一萬八千九十一人
ノ中デ、遺傳ノアル者トシテ考ヘラレマス
ノハ五千四百人デゴザイマスカラ、三分ノ
一ニ近イ數字ガ出テ居リマス、尤モ遺傳不
詳、不明瞭ト云フノガ後ニ五千近クゴザイ
マスノデ、此ノ中カラ調べマシタラバ、矢
張り遺傳ノ關係モゴザイマセウカラ、從ッ
三割以上ニ遺傳ノアルコトガ略、考ヘラレ
ト思ヒマス、尤モ斯様ナ調査ハ隨分ト調査
材料ニ依リマシテ差モゴザイマス

○子爵實吉純郎君 今ドツチカ分ラヌト云
フノガ大分アルヤウニ伺ヒマシタガ、ソレ
ヲ判定スルノハ、矢張り精神病學者ノ方ニ
御委セニナル譯デスネ

○政府委員(高野六郎君) 只今申上ゲマシ
タノハ、丁度病院ニ居リマスル者デ調査シ

タ其ノ實績ヲ差上ゲマシタ譯デアリマシテ、
精細ニ時間ト費用ヲ掛ケテ調べマスレバ、
モット確實ニナル譯デゴザイマス、一應左様
ナコトデゴザイマス

○子爵實吉純郎君 矢張りサウスルト、終
ヒニドツチカ分ラヌト云フノガ殘ッテ來ハ
シマセヌカ、ドウ調べテモ分ラナイト云フ
ヤウナモノ、サウ云フモノハ是ノ對象ニハ
ナラナイ譯デゴザイマスネ

○政府委員(高野六郎君) 是ハ家系調査ガ
嚴密ニ追究ガ出來マスル場合ト、何處ヘ行ッ
テシマツカ分ラヌデ、調ガ付カヌト云フコ
トデ、左様ナコトニナルノデアリマシテ、
此ノ遺傳ノ關係ガ不明瞭デアリマスレバ、
自然此ノ對象ニナラナイ譯デアリマス、コ
チラハ調査ノ確實ノモノノミ此ノ對象ニス
ル、不明瞭ナル場合ニハ、又已ムヲ得ナイ
コトニナラウカト思ヒマス

○子爵實吉純郎君 サウシマス、家系調
査ト云フコトハ可ナリムヅカシイコトデゴ
ザイマスガ、ソコデ家系調査ヲサセル場合、
丁度刑事被告人ヲ調べルヤウナ風ニ苛酷ニ
ヤラレマシタラ、家族ノ方デハ非常ニ迷惑
スル、アノ家ニハ斯ウ云フ人達ガ調べニ來
タ、アソコノ家ハ氣違ヒガアルノデヤナイ
カト云フ疑惑ヲ受ケル、ソレハ非常ニ其ノ
家ニハ迷惑スルト云フノデアリマスガ、サ
ウ云フ場合ハドウ云フ風ニシテ爲サルノデ
スカ、餘程能ク注意ナサラナイト、家系調
査ヲサレルト云フコトニ付テ反感ヲ起シテ
來ルト云フヤウナコトガアル、從ッ其ノ實
行ニハ可ナリ支障ガ起リハシナイカト云フ
コトヲ心配スルノデアリマス

○政府委員(高野六郎君) 學問ノ爲ノ調査
ノヤウナ時ニ、稍、熱心家ハ追ッ掛ケマス

ヤウナコトガアツカモ知レマセヌガ、此ノ
法律ニ依リマシテ實際ノ問題ヲ解決シマ
ス時ニハ、原則トシマシテ希望者ノ家系ヲ
審査會ノ方デ調べマスルノデ、希望者ガア
リマシテ優生手術ヲ受ケタイト云フモノヲ
許ス許サヌト云フ意味デゴザイマスカラ、
強壓的ニ厭ヤガル所迄追ッ掛ケルト云フコ
トハ、實際ニハナイノデヤナイカト心得テ居
リマス、幾分強制ノ所ガ中ニゴザイマスガ、
是ハモウ目ニ餘タ、差措キ難イト云フ場合
ニノミ考ヘラレルノデアリマスカラ、此ノ
方ノ故障ハナイノデヤナイカト考ヘテ居リ
マス

○男爵村田保定君 今ノ御話ノコトデゴザ
イマスガ、此ノ優生手術ヲ強制ノニヤル第
六條ノ場合モ、一定ノ期間精神病院ニ居ッ
者ニ對シテダケヤルノデスカ

○政府委員(高野六郎君) 必ズシモ病院ニ
居リマセヌデモ……、病院ニ居リマシタ場合
ハ、病院長ガ能ク心得テ居リマスルガ、自
宅ニ居リマシテモ、非常ニ病狀ガ兇惡猛烈
トカ、社會ノ不安ノ因ニナリマスルトカ、
色々衛生上或ハ治安上問題トナリマスヤウ
ナ場合ニ、ソレト關聯ノアル醫者、例ヘバ
保健所ノ長ト云フヤウナ者、此ノ保健所ト
申シマス、其ノ所在地ノ一般ノ人達ノ健
康狀態ヲ能ク關知シテ居ル係ノ者ガ居ルノ
デゴザイマスカラ、其ノ保健所ノ長ナドノ
目ニモ餘ルト云ツヤウナ者ヲ、代リマシテ
審査ヲスルト云フコトニナラウト思ヒマ
ス、必ズシモ病院ニ居ッタ者ダケデハゴザイ
マセヌト思ヒマス

○男爵村田保定君 私ノ申ス意味ハ、詰リ
病人ノ從來ノ經過ノ詳細ニ分ツテ居ナイ者
ニ對シテ、斯ウ云フ手術ヲ急ニヤルト云フ

コトハ、非常ニ重大ナ問題ダラウト思ヒマ
ス、其ノ點ニ付テ何ト云ヒマスカ、人權ノ
擁護ト云ヒマスカ、子孫ヲ絶ヤスト云フコ
トハ權利カドウカ知リマセヌガ、兎ニ角サ
ウ云フコトヲヤラナクチャナラヌヤウニス
ルト云フコトニ付テハ、非常ニ慎重ニ取扱ッ
テ戴キタイト思ヒマスガ、其ノ邊ノ御取扱
ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(高野六郎君) 本人ノ病狀、經
過、又其ノ家系ニ遺傳ノ關係ガアル等、色
色ノコトヲ能ク知ツテ居ル特別ノ醫師ガ、本
人ニ代ッテ申請スルコトガアルト云フコト
デゴザイマスカラ、此ノ特別ノ醫者ハ何レ
モ斯様ナル事柄ニ誤リノナイヤウナ者ノミ
デアルコトヲ期待シテ居リマス、而シテ色
色手續ガ綿密ニ出來テ居リマシテ、例ヘバ
必要ノ書類モ色々アリマスカラ、診斷書ハ
固ヨリ、遺傳調査書ノ如キモノヲ附ケマシ
テ申請致シタ後モ、審査委員會デ極メテ綿
密ナル調査ヲシマシテ、然ル後ニ手術ヲ受
ケルコトヲ許可スルト云フノガ原則ナンデ
ゴザイマスカラ、其ノ人權ヲ濫リニ蹂躪ス
ルト云フヤウナコトハゴザイマスミイト、
斯ウ考ヘテ居リマス

○男爵村田保定君 私ハイキナリ患者ヲ持ッ
テ來テ、ソレニ對シテ直グニ輕々ニ診斷ヲ
下スト云フコトガ、非常ニ大ナキ結果ヲ產ム
ダラウト思ヒマス、其ノ間ニ例ヘバ從來長
イ間診テ居ッタ患者デアル場合ハ、是ハ宜イ
ト思ヒマスレドモ、從來ノ經過ヲ知ラナ
イ患者ノ場合ニハ、或一定ノ期間サウ云ツ
ヤウナ病院ニ入レテ置イテ、サウシテ其ノ
上デ處置スルト云フダケノコトヲヤツテモ、
遅クハナイデヤナイカト思ヒマス、ソシナ
コトハ……

○政府委員(高野六郎君) 申請ヲ致シマス

ル時ニモ、十分能ク事情ノ分リマシタ上デナケレバ致シマセヌシ、本人ノ家族ノ同意ヲ得ルコトガ原則ナンデアリマスカラ、此ノ申請ニ際シマシテ過失ハナカラウト思ヒマスルシ、更ニ其ノ後ノ診斷、詰リ診斷ト申シマスルノハ、本人ガ病人デアルト云フコトノミデハゴザイマセヌデ、優生手術ヲ受クベキモノカドウカト云フ、可ナリ綿密ナ審査委員會ニ掛リマスコトデゴザイマスカラ、御心配ノ點ハ先ヅナイモノト考ヘルノデゴザイマス

○次田大三郎君 チョット一ツ、癩豫防法ノ改正案ガ之ニ關聯シテ衆議院ニ出テ居ル、新聞ノ傳ヘル所デハ、衆議院デハ握リ潰スラシイト云フコトナンデスガ、ソレハ本法ヲ施行スル上ニ於テ差支ナイノデスカ

○政府委員(高野六郎君) 癩豫防法中改正法律案中ニハ、癩ニモ優生手術ヲ施シ得ルヤウナ途ヲ開カウト云フ法律案デゴザイマスカ、色々衆議院ニ於キマシテ御議論ガアリマシテ、尙審議中デゴザイマス、尤モ本法ノ施行ニハ別ニ支障ハナイ譯デアリマシテ、別箇ノ問題トシテ扱ッテモ宜シイトハ存ジマスルガ、併シ此ノ法律ガ愈々實施ニナリマシタ時ニ、癩療養所内ニ於ケル癩患者ノ優生手術ガ若シ支障ガアリマシテハト云フ點デゴザイマシテ、丁度此ノ施行ガ尙暫ク時間ノ餘裕ガゴザイマスルノデ、或ハソレ迄ニ解決シテモ間ニ合フト云フ考モアリマスルガ、成ルベクナラバ、一舉ニ解決シテ置イタガ便利デアラウトモ存ジテ居リマス、此ノ法律ノ出ル迄ハ、今迄ノ慣例デゴザイマシテ、今迄ノ療養所内デ行ヒマスコトハ支障ハ起ルマイト思ヒマスシ、此ノ法

律ガ施行セラレル迄ニ其ノ問題ヲ片付ケテ置キマスレバ、支障ハナクナルト思ヒマス

○次田大三郎君 サウスルト、マア此ノ法律ハ昭和十五年度中ハ施行サレナイ見込ナシデアルカラ、來年ノ此ノ次ノ議會デ通レバソレデ差支ナイ、サウ云フ譯デスカ

○政府委員(高野六郎君) 左様デゴザイマス、尙只今申上ゲマシタコトニ申添ヘマスカ、此ノ法律ノ施行ハ、豫算ノ關係モゴザイマスカ、準備ノ關係モゴザイマシテ、次ノ議會ニ豫算ヲ請求シタ後ニ請求スル積リデゴザイマス、此ノ十五年ニ於キマシテ準備ノ爲ノ費用ハ、既ニ若干戴イテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、成ルベク速カニ法律ハ確立シマシテ、其ノ準備ヲ確實ニ致シタイト云フ考カラ、御審議ヲ願ッテ居ル次第デアリマス

○侯爵小村捷治君 只今ノ次田サンノ御質問ニ關聯致シマシテ、ソレカラ患者ノ隔離狀況ハドウナッテ居ルカ、チョット承リタイト思ヒマス

○政府委員(高野六郎君) 癩病ノ數ガ一萬五千人バカリゴザイマス、其ノ者ヲ全部收容隔離致シマスルコトガ目標デアリマシテ、段々ト其ノ收容設備ヲ増シテ居リマス、現在ノ計畫ハ、其ノ一萬五千人ニ同ヒマシテ、一萬人ノ收容力ヲ完成シヨウト云フ實際ノ計畫デアリマス、是ハ矢張り實ハ漸進主義カラ出タノデアリマシテ、一萬人ヲ收容スレバソレデモウ宜シイト云フ意味デハゴザイマセヌ、實際ノ計畫トシマシテハ一萬五千人ノ中ノ最モ病症ノ惡イ者、周圍ニ向ッテ病毒傳播ノ虞アリト思ハレル者ヲ先ヅ三分ノ二ト組ミマシテ、之ヲ收容致シマスレバ、残り五千人位ハ病院ノ外ニ置イテモ、國民

ニ對スル危險ハ餘程薄イモノデアルト云フ考カラ、計畫ヲ進メテ參リマシタガ、結局此ノ一萬人ガ完成致シマス際ニ、更ニ其ノ後ノ問題ヲ考ヘネバナラス譯デアリマス、只今這入ッテ居リマスノガ約九千人デゴザイマシテ、尙ホ一千人程ノ收容施設ヲ完成致シマスレバ、大體今迄ノ豫定ノ計畫ハ出來ル譯デアリマス、此ノ最後ノ三千人分程ノ收容ノ爲ニハ、三井報恩會ノ特別ノ寄附ガゴザイマシテ、此ノ病院建設ニハ國費ニ依ラズシテ、此ノ民間篤志ノ御寄附ニ依リマシテ目下完成ヲ急イデ居ル次第デゴザイマスカ

○委員長(子爵野村益三君) チョット伺ヒマスガ、今ノナンデスカ、現在九千人ノ中ノ、三井報恩會ノ篤志寄附ニ依ル分ガ、ソレハ九千人ノ中ノデスカ

○政府委員(高野六郎君) 一萬人ノ中ノ三千人分デゴザイマス、七千人分ハ公立及ビ國立デ既ニ出來テ居リマシタ所ヘ、最後ノ、マア最後ト云フ意味デ三千人分篤志ノ御寄附ガアリマシタ、ソコデ略、此ノ年度内ニ、少シノ數字ノ差ハゴザイマスカ、一萬人ニナラウト思ヒマス

○次田大三郎君 尙伺ヒタイノデスカ、此ノ九千人ヲ收容サレテ居ル治療所ノ數ハ、總計何箇所ニナリマスカ

○政府委員(高野六郎君) 國立ガ六箇所、公立ガ五箇所、私立ガ六箇所

○次田大三郎君 モウ一ツ癩ノコトデ、此ノ法案ニ關聯シテ伺ヒタイ、癩ノ方ハ隔離サヘスレバモウ完全ニ根絶ヤシガ出來ルコトハ確實ト云フ風ニ聽イテ居ルノデアリマス、マアサウ云フ確實ナモノニ力ヲ入レテ、色々新規ナコト、アレヤ之ヤ手ヲ出スヨリカ、先ヅ日本ニ癩患者ガ一人モ無イト云フ

ヤウナ風ニスルコトニ力ヲ注グノモ一ツノヤリ方デヤナイカト思フノデス、政府ハドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレルデセウカ

○政府委員(高野六郎君) 誠ニ其ノ通りニ存ジマスルガ、マア實際問題ト致シマスルト、例ヘバ癩ニ致シマシテモ一萬五千人ノ患者ノ全部ノ收容計畫等ハ國庫ガ少シ奮發ヲ致シマスレバ直グニ出來ル筈ノコトデアリマスルガ、私共ガ其ノ當局ト致シマシテハ甚ダ申上ゲルノモ御恥シイヤウニ存ジマスルガ、ナカノ思フ通りニ進ミマセヌデ、アレ之トヤリマシテ、國民全體ニ對スル衛生施設ハアレ之ヲ總和シマシタモノガ働イテ居ル效果ヲ其ノ方面カラ今ハ期待シテ居ルヤウナ實情デゴザイマシテ、別ニ癩ヲ蔑ロニシテ居ルト云フ意味デハ毛頭ゴザイマセヌガ、集中主義ノミデハ實際ニハウマク參リマセヌ、サウ云フヤウナ實情ナコトヲ御酌ミ願ヒタイト思ヒマス

○次田大三郎君 此ノ問題ハ大臣ガ見エマシテカラ私ハモウ一遍質問シタイト思ヒマス……大臣ガ御見エニナリマシタカラ、安場男爵ガ御待チニナッテ居ルノデアリマスカ、今丁度質問シ掛ケタ所デアリマスカラ私質問ヲ大臣ニ伺ヒタイト思フノデス、今一應ノ御答辯ヲ政府委員カラ得タノデアリマスガ、私此ノ優生法案ニ關聯シテ、癩ノ豫防ニ關シテ政府デモット力ヲ入レラレベキデハナイカト云フコトニ付テ一ツ御聽キシタイト思フ、癩ヲ根絶スルト云フコトハ、今日ノヤリ方ヲモウ少シ徹底サヘスレバ出來ル、是ハモウ確實出來ルコトニナッテ居ルノデアリマス、マア厚生省デ色々新規ナコトヲ御考ニナッテ、國民ノ體位向上、健康増進ノ爲ニ御骨折ニナルコトハ結構デアリ

マスガ、併シ色々多岐ニ互ツテ、而モ其ノ中ニハ例ヘバ此ノ優生法ノ如キ、遺傳ニ關スル學說ニ付テ、我々先日來説明ヲ伺ツテモ、果シテドウモ確カデアラカドウカト云フコトニ付テ疑ヲ挟ムヤウナコトヲ、マアサウ云フモノヲ前提トシテ法律案ヲ急イデ御制定ニナツテ、之ヲ實行爲サラウト言フ、ソレヨリカ屹度效果ヲ擧ゲルコトガ確實ダト云フコトノ方ニモツト力ヲ御注ギニナルコトガ適當ナノデハナイカト云フ疑ヲ持ツテ居ルノデアリマス、癩ノ豫防ニ關シテ畏多クモ皇太后様ノ御手許金ガ下ルトカ、或ハ金持ノ喜捨シタ金デ以テ、ソレデ何千人カ收容ガ出來ルトカ云フヤウナ事柄ハ、誠ニ畏多イコトデモアリ、又結構ナコトデモアリマスガ、國家トシテハサウ云フコトヲ待タナイデ、確實ニ成績ノ擧ガルコトノ決マツテ居ル癩豫防ニ付テモツト骨折ツテ力ヲ入レラレテ然ルベキデハナイカ、國民ノ大衆ガ十分納得スルカドウカ分ラナイモノヲ前提トシタ新規ナ事ヲ急イデオヤリニナルヨリカ、確實ナモノニ力ヲ入レテ、日本ニ一人ノ癩患者ガ無イト云フ現象ヲ、一日モ早く作り出スコトニ御骨折リ下サルノガ宜イノデヤナイカ、斯ウ云フ疑ヲ私ハ持ツテ居ルノデ、今チヨット政府委員ニモ伺ツタノデアリマスガ念ノ爲メ大臣カラモ伺ヒタイと思ヒマス

○國務大臣(吉田茂君) 癩ノ根絶ト云フコトニ關シマシテハ、丁度次田委員ノ御話ニナリマシタ趣意ト同様ニ、是ハ今ヤツテ居リマスルコトヲモツト徹底シ、設備ヲ充實致シマシテ、強化致シテ參リマスルナラバ、何年カノ後……何年ト云フ抽象的ナ意味デナク、早晚癩ト云フモノヲ我ガ國土ノ内カラ根絶

シテ了フコトハ出來ル見込ガ御質疑中ニ仰セラレテ居ル通りニ立ツテ居ルノデゴザイマシテ、此ノ事ニモツト政府トシテ力ヲ注グベキデアルコトハ、私モ實ハ疾ウカラ左様ニ感ジテ居ツタデアリマス、誠ニ皇太后陛下ノ思召ハ忝ケナイ事デアリマス、左様ナ政府トシテ出來ル事柄ニ付テ御上ニ御心配ヲ御掛け申スコトハ、一方カラ申セバ畏多ク感ゼラルル次第デアリマス、十分職責ト致シマシテ此ノ點ニ今迄不十分ノ點ガアリマシタナラバ、癩ノ豫防根絶ト云フコトニ付キマシテハ一層力ヲ注ギタイト考ヘテ居ルノデアリマス、就任日淺ウゴザイマス爲ニ、今回十分ナ經費ノ其ノ點ニ關スル御協賛ヲ仰グ機會ガナカッタノデアリマスガ、是ハ今後ノ問題ト致シマシテ、モツト政府ト致シマシテ力ヲ入レテヤツテ參リタイス様ニ考ヘテ居リマス、ソレト本法案ニ關聯シテノ御質問デアリマシタガ、別ニ左様ニ何モカモヤリタイト云フ意味デ之ヲ御審議願ツテ居ルノデハアリマセヌノデ、癩ノ根絶方法ガ確定シテ居ルト云フ事ト、本法ノ重要デアルト云フコトト、何方ガ重イ輕イト云フコトハ私ハナイカト考ヘルノデアリマス、前刻來、度御説明ヲ申上ゲマスル通りニ我ガ國ノ人口減少、國民體位ノ減退等ヲ併セマシテ、質ノ上ニ於キマシテ既ニ所謂逆淘汰ト云フヤウナ現象ガ現レ掛ツテ居リマス、是其ノ傾向ガ深クナツテカラデハ、殆ド取返シト云フコトノ出來ナイヤウナ深ミニ嵌ツテ悔ヲ後ニ貽シハシナイカ、無論此ノ法案ノ施行ノミニ依ツテ民族優生ノ目的ヲ達成シ得ルモノデハアリマセヌガ、其ノ基幹トナルベキ、根本トナルベキ此ノ法案ノ確立ト云フコトニ依リマシテ、民族ノ質ヲ保持、改善

ト云フコトガ如何ニ大切デアルカト云フコトヲ一般國民ニ理解セシメマシテ、ソレニ基キマシテ本法案ノ運用ヲ中心トシテ、有ラユル優生方面ノ努力ヲ傾倒致スト云フコトハ、癩ヲ撲滅スルコト云フ、サウ云フ消極的ナ働ト申シマスルカ、治療的ナ働ト申シマスルカ、サウ云フモノト併セマシテ國民ノ素質ヲ向上シテ行クト云フコトニハ、ドウシテモ日本ノ國力發展ノ爲ニ、今日カラシテ全力ヲ注イデ行カナレバナラナイト思フノデアリマス、人口ノ現象ノ遷リ變リハ私カラ申ス迄モナイコトデアリマスガ、極メテ徐々ニ其ノ何ト云ヒマスガ、爛熟期ニ於ケル弊害ヲ現シテ行ク譯ナノデアリマスルノデ、一見人ガサウ心配シナイノデアリマスケレドモ、一定ノ方向ヲ辿リ始めマスト、容易ニソレハモウ是正出來ナイヤウナ實例ヲ今迄モ示シテ居ルノデゴザイマス、今日日本ノ人口減少ト云フモノハ既ニサウ云フ形ヲ稍、現シ掛ツテ居ル、今ニシテ斯様ナ方策ニ十分ナ力ヲ注グト云フコトヲ致シマセヌト、益、ソレ等ノ現象ガ高マツテ參ルト云フコトガ、實ハ非常ナ日本トシテハ憂慮ニ堪ヘヌ事柄デアルト考ヘマスルノデ、癩豫防ニ付キマシテハ、全然御所説ト御同感ニ存ジマスル共ニ、此ノ法案ノ審議ニ付キマシテモ、是非此ノ必要ナ所以ト云フコトニ御共鳴アラムコトヲ切望スル次第デアリマス

○次田大三郎君 大臣ノ只今ノ御答辯ノ前半ニ付キマシテハ私ハ満足致シマス、是非來年度以降ニ於テ十分ノ國費ヲ支出シテ、一日モ早く此ノ非文明的ナ病氣ヲ、我ガ國カラ根絶スルコトニ御盡力アラムコトヲ希望スル次第デアリマス、後段ノ問題ニ付キ

マシテハ、人口減少ノ傾向ヲ早ク防ガナケリヤナラヌト云フコトニ付テハ御説ノ通りダト思ヒマスガ、此ノ法案ニ依ツテ救ヒ得ル人口減少ノ範圍ト云フモノハ、是ハ極ク僅カナモノデアツテ、昨日來議論ガアリマシタ所謂優生政策ヲ、全般ニ互ツテオヤリニナラナケレバ駄目ナンダラウト思フノデアリマス、此ノ法案ノ何條デアリマシタカ、病氣デナイノニ、精神病デナイノニ妊娠中絶ヲスルトカ、生殖不能ノ手術ヲスルトカ云フヤウナコトハ、現在ソレハアルコトハアリマセウケレドモ、マダ其ノ範圍ハ割合ニ僅カナモノデハナイカ、本法案ノ趣旨トスル所ハ、矢張り精神病ガ遺傳サレルト云フコトヲ防遏スル點ニアルモノト諒解シテ居ルノデアリマシテ、寧ロソチヲ方ヲ重點トシテ此ノ法案ヲ解釋スベキモノダ、考フベキモノダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、其ノ點或ハ意見ノ相違ニ歸著スルノカモ存ジマセヌガ、マアソレハソレト致シマシテ、癩豫防ニ關シテ只今仰セニナリマシタコトハ、是ハ是非來年度ニ於テ實行ニ移シテ戴キタイト云フ希望ヲ重ネテ申上ゲテ置キマス、是デ私ハ宜シウゴザイマス

○委員長(子爵野村益三君) 別ニ御發言ハゴザイマセヌカ……御發言ガナケレバ、先刻御相談申上ゲタヤウニ安場男爵ノ御發言ヲ願ヒマセウ……

○委員外議員(男爵安場保健君) 私ハ此ノ法案ニ直接關係ハナイノデゴザイマスガ、事厚生省ノ所管ニ關スル問題デアリマスノト、又國民衛生ニ關スル拾遺キ難イ問題ダト思ヒマスノデ、此ノ機會ヲ利用シマシテ、大臣ノ御考ヲ伺ツテ置キタイト存ジマスノデアリマス、ソレハ先般都市計畫法改正委

員會ニ於キマシテ、東京市ノ下水及糞尿ノ處理ニ關シマシテ質問致シマシタ處ガ、都市計畫委員ハ、殆ド東京市ノ現狀ニ付テハ實情ヲ御存ジナイヤウナ御答辯デアリマシタ、何レ委員會デモ拵ヘテ研究シヨウト云フ話デゴザイマシタガ、マダ恐ラク御忙シイノデ、厚生大臣ノ方トハ御相談ガナイカト存ジマスルガ、都市ノ發達ガ非常ニ急激ニナリマシタ爲ニ、從來ノ方法デ行キマスト云フト、糞尿ノ處理ト云フヤウナコトガ全ク行詰リマシタ、非常ナ非衛生狀態ヲ起シテ居ルノデアリマシテ、優生法案ノヤウナモノモ大切デアリマスルガ、ソレ以上ニ厚生省ノ御所管ト致シマシテ、此ノ糞尿ノ處理ト云フヤウナ方面ノ衛生方面ニ、十分ノ御注意ヲ願ハナケレバナライノデヤナイカト思フノデアリマス、東京市ノ現狀ハ、厚生大臣ハ能ク御存ジノコトト存ジマスケレドモ、兎ニ角一日三萬五千石ノ糞尿ガ出マスニ付キマシテ、東京市ノ糞尿ヲ運ブ船ハ約五千石ヨリ外運ベナイノデアリマシテ、從ッテハ東京灣外ニ持ッテ行ッテ捨テル代リニ、東京灣内デ皆捨テテ居リマス關係上、時ニハ潮ノ關係デ、ソレガ或漁村ヘ持ッテ行ッテ全部打上ゲラレテ、ドウニモナラナカッタト云フヤウナ實例モアルヤウニ聞及ンデ居リマス、又現ニ此ノコトハ漁村カラモ隨分苦情ガ出テ居リマスガ、東京市ハ其ノ貯溜槽ヲ浦安ニ拵ヘル積リデ、千葉縣ノ池ヲ買ヒマシタ處ガ、千葉縣ノ反對ニ依ッテ是亦實施ガ出來ナイト云フヤウナ現狀ニアルヤウニ聞及ンデ居リマス、斯クノ如クスレバ帝都ノ衛生狀態ト云フモノハ、誠ニ危險千萬ナモノデアッテ、赤痢トカ、「チブス」トカ云フヤウナモノハナカ／＼根絶ドコロデハナ

ク幾ラデモ殖エ、醫者ノ方デハ一々避病院ヘ入レテハ堪マラナイモノデスカラ、大腸「カタル」カ何カデ處理スルト云フヤウナコトデ、甚ダ憂フベキ狀態ニアルト思ハレルノデアリマス、從ッテ斯ウ云フ問題ハ、内務省ノ都市計畫ノ方面ト御連絡ヲ願ヒマシテ、都市ノ計畫ニ丁度線地トカ或ハ防空トカ云フヤウナ問題ガ入レラレマシタト同様ニ、都市ノ計畫ニ於テ一定ノ割合ニ於テ貯溜槽ト云フモノヲ必ズ設置スルヤウニ御考察願ヒマシタナラバ、將來東京市ノミナラズ、日本全國ノ都市ニ對スル衛生狀態ノ改善ニ資スルコトガ出來ルノデヤナイカト思フノデアリマス、此ノ問題ハ、都市計畫ノ方ト厚生省ノ所管トノ間ニ挾マッタヤウナ關係ニナッテ居リマス關係上、ドウモ兩方カラアツクノ所管、コッチノ所管ト云フヤウナコトニナッテ居リハセヌカト想像サレルノデアリマス、其ノ點ニ付テ大臣ノ御意見ヲ承リタイノデス

○國務大臣(吉田茂君) 東京市ニ於ケル屎尿取扱ノ現狀ハ、誠ニ憂慮スベキ事態ニアリマスコトハ御説ノ通りデアルト考ヘマス、是ハ色々原因ハ、既ニ安場男爵モ御承知カト思ヒマスガ、重ッテ斯ウ云フ事態ニナッテモノノヤウデアリマス、從前ノ東京市ト政シマシテハ、東京市ニ適應スルダケノ貯溜設備ナリ、或ハ之ヲ遠海ニ投棄致シマス施設ナリト云フモノヲ、其ノ當時ノ情勢ニ於テ考ヘテ、不十分ナガラ略御瞻立ハ出來テ居ッタノデアリマスガ、限りナイ都市ノ膨脹ノ傾向ガ一方ニ益々著シクナリマス同時ニ、此ノ戰時ニナリマシテカヲ資材ノ供給、例ヘバ投棄ニ要スル船、大型ノ船舶デアリマストカ、或ハ近縣ニ運搬スル用具トシテノ

「トラック」デアリマストカ、ソレ等ニ所要ノ「ガソリン」デアリマストカ云フモノニ不足缺乏ヲ告ゲマシテ、一方千葉縣下ニ於ケル貯溜槽ト云フモノハ、折角土地ヲ買フニハ買ツタケレドモ、民間方面カラノ反對デ使用スルコトガ出來ナイト云フヤウナ色々事情ガ重リマシテ、今日ノ如キ誠ニ憂慮スベキ事態トナッテ居ルノデゴザイマス、只今御示ノ如ク都市計畫ノ問題トシテ、將來日本ノ都市對策ノ計畫ニ屬スル部分トシテノ考察ヲ繞ラスコトモ、是ハ恆久對策トシテ大切デゴザイマセウガ、目前ノ急ニ應ズル爲ノ臨時應急ノ對策モ差措キ難キ急ニ迫ッテ居ルコトト考ヘマスノデ、所管ガドウダト云フコトナシニ、内務、厚生兩省ノミナラズ、警視廳、府市當局ト協力致シマシテ、何トカ此ノ問題ヲ至急ニ差當リダケデモ片付ケタイト考ヘテ居ルノデアリマス、假ニ厚生省ノ所管ダケデドウニモナラヌコトデアリマシテモ、私ハ遠慮シナイ積リデアリマス、只今打合せモヤッテ居ルノデゴザイマスガ、多忙ノ爲ニ私、其ノ方ニ多ク力ヲ今割キ得ナイ狀態ニアルモノデゴザイマスカラ、氣ニ懸リナガラモ一日延シニナッテ居リマスガ是ハ何トカ至急解決致シマセスト、段々氣候ガ溫クナルニ連レマシテ、御話ノヤウナ危險ハ益々倍加スルコトト思ヒマス、併シ政府方面ニ於テサウ云フコトノ爲ニハ帝都ノコトデゴザイマスカラ、犠牲ヲ拂フコトモ已ムヲ得ナイデヤナイカ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、御提示ノ將來ノ案ニ付キマシテハ是亦主管ト云フヤウナコトニ拘泥スルコトナク、都市計畫ノ問題ハ申中ニ重要ナ部分トシテ含マネバナラヌノデ

ゴザイマスカラ、計畫局ト共ニ十分協力致シマシテ、將來ノ對策ヲ誤ラヌト同時ニ、東京市ノ目前非常ニ困ッテ居ル向ニ對シマシテハ、ソレ／＼臨機ノ處置ヲモ速カニ施シタイ、斯様ニ考ヘル次第デゴザイマス

○委員長(子爵野村益三君) ソレデハ午後一時半カラ開會ト云フコトニ致シマス、暫ク休憩致シマス

午後零時十三分休憩

午後一時五十一分開會

○委員長(子爵野村益三君) ソレデハ午前ニ引續イテ開會致シマス

○子爵實吉純郎君 私、家族調査スルコトニ付テ質問致シタイト思ヒマス、此ノ家族調査ト云フノガ遺傳ノ有無ヲ決メルノニ可ナリ重要ナ基礎ニナッテ居リマス、其ノ基礎ニナルベキ家系調査、是非非常ニ慎重ニヤラナケレバ間違ッタ結果ガ出テ來ルト困ルノデアリマス、ソコデ今迄厚生省デ家系調査ヲ大分ナサッタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、其ノ狀態ヲ一ツ承リタイト思ヒマス

○政府委員(高野六郎君) 昨年中厚生省ニ於キマシテ全國各地ノ専門家ニ委嘱致シマシテ、精神病患者ノ家系約三千ニ就キマシテ、家系ノ調査、遺傳ノ調査ヲ致シマシタノデ、其ノ成績ガ略、取纏メテゴザイマスノデ、其ノ結論ダケハ「プリント」シタモノモ御目ニ掛ケテアル積リデアリマスガ、其ノ調査ノ仕方ハナカ／＼専門知識ヲ要シマスルノデ、丁度此處ニ厚生省ノ其ノ方面ノ專門技術者ガ出席シテ居リマスルノデ、御許シガゴザイマスカラバ説明員トシテ説明サセタイト思ヒマス

○委員長(子爵野村益三君) ドウゾ願ヒマ
ス

○説明員(青木延春君) 厚生省で家系調査ヲ致シマスニ付キマシテ、此ノ第一番目ニ調査員デアリマスガ、其ノ調査員ガ精神病ノ事柄ニ付テ最モ通曉シテ居リマセヌデアリマス、病人ヲ診マシテモハッキリシマセヌシ、病人ノ症狀ヲ聴キマシテモハッキリ致シマセヌノ誤ヲ起ス危險ガ非常ニアリマス、此ノ調査ニ付キマシテハ全國ノ精神病ノ専門家、東京デハ東京帝國大學ノ名譽教授、慶應醫科大學ノ教授ト云ツタ者ニ、全國ノ大學ノ精神病ノ先生ト、ソレカラ公立病院ノ院長、精神病院ノ院長ト、ソレカラ其ノ外精神病ニ關シテ學識經驗ノ深イ人バカリヲ全國網羅致シマシテ百九十五名デアリマス、此ノ方々ニ此ノ調査ニ付テ御願ヒシタノデアリマスガ、其ノ際ニ只今御説ガアリマシヤウニ調査ノ仕方ガ非常ニ困難デアリマス、此ノ地方々々デ其ノ調査員ノ方々ノ御集リヲ願ヒマシテ非常ニ立入ツタ詳シイ打合せヲ致シタノデアリマス、此ノ一番困リマスルコトハ直接病人ヲ診マセストナカ、診斷ガ困難デアリマス、此ノ建前ニ致シタノデアリマス、ソレカラ病院ニ入ッテ居リマス精神病者、乃至自宅ニ監置サレテ居リマス精神病者ニ付キマシテハ勿論、是ハ直接診察致シマシテ病名ガハッキリ付ケラレルノデアリマス、ソレヲ手探リマシテ、サウ云フ人々ヲ手掛リト致シマシテ其ノ親族、血縁者ヲ、上ハ出來レバ三代目兩親祖父母、ソレカラ先キニナリマス、分リニクイコトガ多ウゴザイマス、コチラデハ三代目迄ハハッキリ

リ上ノ方ハ分ルモノ、下ノ方ハ子供、孫ガ居タラ孫迄分ルト云フ風ニ、ソレダケノ者ハ最小限度分リマセストイケマセヌ、ソレカラ先ニ上リマスレバ、上ル程宜イノデアリマスガ、其ノ方ハマア、必要ナ限度ハ此ノ程度ニ置イタノデアリマス、ソレデソレヲ探シマスルニ付テ其ノ本人ノ一人々々ノ居リマスル、其ノ血縁者ノ一人々々ノ住ンデ居リマスル所ニ成ルベク出掛ルト云フ風ニ致シマシテ、ソレデ其處ノ町村役場、警察、ソレカラ方面委員、其ノ土地ノ古老ト申シマスヨリ事情ヲ知ッテ居ル者、サウ云フ人々トヨク連絡ヲ取り、其ノ家族ニ對シマシテハ事柄ニ付テ疑ノ念ヲ懷カセナイヤウニ十分ニ説明ヲ致シマシテ、事柄ノ大事ナコト、決シテ刑罰的ナヤウナ色彩ヲ持ッテ居ナイコト其ノ他ヲ能ク説明致シマシテ、安心シテ症狀ヲ述ベルヤウニ仕向ケルト云フ風ニスルコト、之ヲ能ク皆様ト打合セ致シタノデアリマス、マア大體唯聽キマスト嘘ヲ言ウダラウ、嘘ヲ言ヒマシタナラバ折角ノ統計ガ何モナリマセヌカラ、嘘ヲ言ハセナイ爲ニハ安心シテ向フガ色々ナコトヲ言ヘルニヤウニ仕向ケル必要ガアルト云フ風ニ考ヘマシタノデアリマス、ソレデアリマスノ割合正確ニ此ノ家系ノ狀況ガ段々ト分ッテ參ルノデアリマスガ、其ノ中カラ少シク變ナ者、少シ缺陷ノアル者、乃至ハ何ト云フカ、近所ノ評判ガ良クナイ者、サウ云フ風ナ者ガアルト云フコトガ段々ニ分ッテ參リマスル、其處ニ出來ルダケ出掛ケテ行ッテ本人ヲ見ルト云フ風ニ致シマシタノデアリマス、出掛ケナイデ、唯想像デアレハ變ダトカ、是ハ病人ダト云フ風ニ決メラレマス、其ノ事モ非常ニ根本的ニ誤リヲ

來シマスノデ、出來ルダケ直接行ッテ見テ來ル、デモドウシテモ已ムヲ得ナイ場合ニハ詳シク其ノ發病ノ狀況ナリ經過ナリ、サウ云フモノヲ能ク聴取リマシテ、其ノ聴取ツタ事柄ニ依リマシテ大體ノ診斷ヲ致シヤウニ致シマシタノデアリマス、ソレデ此ノ表ニ致シマスル際ニハ此ノ元ニナリマスル帳簿ハ非常ナ厩大ナモノニナリマス、一ツノ家系表ヲ作リマスダケデソレハ大變ナ勞苦デアリマシテ、其ノ基礎的ノ書類ダケデ非常ニ厚イモノニナリマス、出來上リマスノ大變簡單ノヤウニ見エマシガ、ナカ、困難ナモノデアリマス、ソコデ其ノ上ニモ更ニ統計ノ正確ヲ期シマシテ、ハッキリト診斷ノ附イタモノダケヲ茲ニハハッキリト「マーク」デ現ス、多少ナリ疑シイ者ハ疑シイト云フ標ヲ附ケ、乃至ハ全然「マーク」ハ附ケマセヌデ、其ノ疑問符ダケヲ精神病ヲシイト云ツタヤウナコトヲ書イテ置クト云フ風ニ致シマシテ、ハッキリト診斷ノ附ケ者ダケヲ診斷シテ、茲ニ病名ヲ「マーク」デ現スト云フ風ニ致シタノデアリマス、ソレデ表ノ方ニ一人々々ノ病氣ニ付キマシテドウ云フ風ナ「マーク」デドウ云フ病氣ヲ現スト云フコトハ茲ニ規定シテゴザイマス、之ヲ此ノ通りコチラノ方ニ此ノ病者ノ事柄ニ依ッテ書イタノデアリマス、尙此ノ一人々々ニ付キマシテ、健康者モ病人モサウデアリマスガ、出來ルダケ詳シク本人ガ生レマシテカラ、ソレガ今日ニ至ル迄ノ本人ノ履ンデ來タ歴史、病氣、外傷、ソレカラ精神狀態、近所トノ交際ノ狀態、或ハ反社會性ノ有無ノ狀態、犯罪ノアツカドウカト云フ事柄、自殺ヤ其ノ他ノコトガアリマシタラ勿論デアリマスガ、サウ云ツタ

ヤウナ本人歷ト申シマスカ、サウ云フモノヲ非常ニ詳細ニ、出來ルダケ一人々々ニ付テソレヲ聽上ゲマシテ其ノコトヲ簡單ニ明瞭ニソレノモノニ付テ記入ヲ致サシテ置イタノデアリマス、ソレデ先程申上ゲマシタ診斷ト云フモノハ極メテ確實ニ參ルト思フノデアリマスルガ、ソレデモ診斷ガハッキリ付カナカッタモノニ付キマシテハ其處ニ書イテアリマス一生ノ歴史ヲ之ヲ能ク判斷致シマシテ、是ハ何レニ屬スルモノデアラウカト云フコトヲ決メタルデアリマス、デアリマスガ御手許ニ差上ゲマシタ集計ニハサウ云フ怪シゲナモノハ總テ是ハ除イテアリマシテ、ハッキリト診斷ノ付キマスルモノダケノ數字ヲ御覽ニ入レタノデゴザイマス、ソレデ相當ニ等ノ家系調査ハ費用ガ掛リマス、非常ニ努力ガ掛リマスルノデ、此ノ優生法ガ出來マシタ曉委員會ナドノ仕事ト致シマシテ此ノ家系調査ガ大キナ仕事ニナルノデアリマス、實施ノ際ノ豫算ノ中ニモ家系調査ノ費用ト云フモノハ十分ニ見積リマシテ、其ノ費用ノ足りナイ爲ニ調査ガ疎漏ニ行ハレルト云フヤウナコトガアツタハナラナイト存ジテ居ル次第デゴザイマス、以上大體御説明申上ゲマス、次ニ此處ニ持參シテ參リマシタ表自身ヲ附ケ足シテ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、先ツ此ノ葉書ノ「精神分裂病家系一例」ト申シマスルモノカラ御説明申上ゲマス、此ノ精神分裂病家系ノ中デハ二ツアリマシテ、血族結婚ノ例ト云フノト、全然血族關係ノナイ例ト二ツ出シテゴザイマス、其ノ血族關係ノナイ方ノ例カラ先ニ御説明ヲ致シマス、此ノ丸デ現シマシタノガ女デアリマス、四角デ現シマシタノガ男デアリマス、サウシテ眞黒ク塗

リマシタノハ此ノ場合ハ精神分裂病ト云フ病人ヲ示シタノデゴザイマス、ソレカラ一番右ノ方ニ四角イ中ニ棒ガ引イテ丸ガアリマスガ、變質者ト書イテゴザイマスガ、是ハ病的性格者ノ印デゴザイマスガ、併シ此ノ場合ノ變質者ハ次ノ精神分裂病家系ノ方ノ「マーク」ノ一番下ニアリマスル男子循環病質ト云フ、角ノ中ニ半分黒クナッタ印ガゴザイマスガ、是トマア同ジヤウナ分裂病、精神病質、所謂病的性格デゴザイマスガ、此ノ診斷ガ分裂病ト云フコトガハッキリシナカッタモノデアリマス、是ハマア想像カラ行キマスルト勿論分裂病質デアラウト存ズルノデアリマスガ、マアハッキリシナカッタモノハ斯ウ云フ風ニ變質者ト云ッタヤウナ風ニハッキリト分ルヤウニ致シテ置イタノデゴザイマス、ソレデ此ノ血族結婚デナイ方ノ家系ニ於キマシテハ父親ト母親ト兩方共病人デアリマシテ、其ノ子供ガ七人生レマシテ、二人程ガ二歳ノ時ニ死ンデ居リマス、是ハ精神分裂病ト云フ病氣ハ十六歳頃カラ發病ヲ始メマシテ、四十歳迄ガ危險期トサレテ居リマス、ソレデ十六歳迄ハ丈夫ノヤウニ見エマシテモ、實ハソレハマダ安心ガナラナイノデ、四十歳迄ハマア安心ガナラナイヤウナ狀態デゴザイマス、ソレデ二歳ニ死ンダ者ハモウ是ハ分リマセヌノデ、發病ノ時期迄ハ隨分前デゴザイマスノデ之ヲ除外致シマスルト、殘ツタ五人ハ全部病人ニナッテ居リマス、此ノ分裂病ノ遺傳ノ危險率ト申シマスルノハ、先程豫防局長ガ説明致シマシタヤウニ、二十「パーセント」ソコノデゴザイマスガ、兩親共分裂病デアリマスル場合ニハ子供ガ百「パーセント」ト病人ニナルト云フコトガ是デ現レテ

居ルノデゴザイマス、ソレデ國民優生法ノ六條デゴザイマシタカ、何條デシタカ、兩親トモ同一ノ疾患ニ罹レル場合ト云ッタヤウナ場合ニ去勢シ得ルヤウナ途ガアリマシタガ、ソレハ斯ウ云フ風ニ子供ガ百「パーセント」病人ニナルヤウナ場合ト云フモノヲ申シテ居ルノデゴザイマス、其ノ次ノ血族結婚ノ例デハ、此ノ精神分裂病ト云フ病氣ハ、是ハ單純ナル劣性遺傳デハナイガ、劣性遺傳ノ性質ヲ持ッテ居リマスノデ、其ノ病人デアリマセヌデモ其ノ遺傳性質ヲ半分位ハ持ッテ居ル、半分位ト申シマス、少シ語弊ガアリマスガ、二ツノ遺傳因子ガ重ナリマシテ分裂病ガ起ルト致シマス、一ツダケ持ッテ居レバ發病致サナイノデアリマス、發病致サナイ場合ニハソレガ全然普通ノ人間ラシク見エル時ハ父親ノ如ク、半分黒ガ書イテアリマスガ、精神分裂病ニ似タ病的性格者ニナルコトモゴザイマス、ソレデ斯ウ云フ風ナ組合セカラハ其ノ子供ニ年少ニシテ不詳ナル者ガ四人、少サイ時死ンダ者ガ二人トヲ除キマス、子供ガ一人デゴザイマスガ、ソレガ矢張り精神分裂病ニナッテ居リマス、斯ウ云フ風ニ血族結婚ト云フモノハ劣性遺傳病ノ家系ニ於キマシテハ大變ニ危險ナモノデアルト云フコトヲ示シテ居ルノデゴザイマス、尙此ノ母方ノ兄ガ他ノ普通ノ人間ト結婚致シマシテ、其ノ子供モ同ジク精神分裂病ニナッテ居リマス、此ノ家系ノ一部ニ現レテ居リマスガ、是ハ矢張り今ト同ジヤウナ血族結婚デハアリマセヌガ、兩人トモ精神分裂病ノ遺傳因子ヲ一ツ一ツ持ッテ居ッタノデアラウト云フコトガ是分ルノデアリマス、デアリマスルノデ、結婚ニ際シマシテハ能ク家系ノ調査ヲ相互

ニ行フコトガ必要デアルト云フコトヲ我々ノ優生結婚ノ指導ナドデ常々申シテ居ル次第デアリマス、其ノ次ニ躁鬱病ノ家系ノ一例ト云フノガアリマス、躁鬱病家系ト云フノハ、是ハ躁鬱病ト云フ病氣ハ非常ニ遺傳ノ危險ガ高イモノデアルト云フ風ニ一般ニ言ハレテ居リマス、是ハ非常ニ遺傳ノ危險ノ高イモノト、或ハ高クナイモノト色々アルト思フノデアリマスガ、此處ニ出テ居リマスノハ非常ニ遺傳ノ高イ濃厚ナ家柄ヲ例示シテゴザイマス、ソレデ是ハ殆ド優生遺傳ト申サレテ居ル病氣デゴザイマシテ、此ノ雙方ノ父親ガ病人デアリマシテ、普通ハ健康デアリマスガ、其ノ子供ニ非常ニ多數ノ躁鬱病患者ガ出テ居リマス、ソレデ其ノ子供、マア孫ト申シマス、孫ニモ相當ニ出テ居リマスガ、此ノ一方ノ左ノ隅ノ下ノ方ノ孫デス、六人生レマシテ六人トモ發病シテ居リマセヌノデスガ、躁鬱病ト云フ病氣ハ二十歳頃カラ發病ヲ始メマシテ五十歳迄ハ危險區域デアリマス、五十歳ヲ過ギマストマア安心シテ宜イ譯デアリマス、此ノ子供達ハマダ其ノ危險年齡期ニ或ハ達シマセヌシ、マダ是カラノ先々可成リ此ノ中カラ發病スルデアラウト云フコトハ十分想像サレルノデゴザイマス、此處ノ家系圖ノ「マーク」ハ先程分裂病ノ時ニ申上デマシタノト同ジデアリマシテ、丸ハ女デ、角ハ男デ、眞黒ニ塗ッテアリマスルノハ此ノ躁鬱病患者デス、半分黒ク塗ッテアリマスルノハ病的性格デゴザイマスガ、此ノ循環病質ト下ノ方ニ註ガ付テ居リマスルヤウニ此ノ循環病質、躁鬱病ニ能ク似タ病的性格ガアルト云フノヲ斯ウ云フ風ニ現シテゴザイマス、一番最後ニ精神薄弱者ノ家系ノ一例ト

云フノヲ御覽ニ入レテアリマス、此ノ場合精神薄弱者ト申シマスルノハ、非常ニ遺傳スル危險ガ強い病氣デアリマシテ、此ノ集計ニ依リマシテモ三八「パーセント」位ノ危險率ガ出テ居リマスルノデスガ、是ガ父母モ雙方共精神薄弱デアリマスル場合ニハ、是モ一〇〇「パーセント」ニ此ノ子供ガ此ノ精神薄弱ニナルト云フコトヲ此ノ圖ニ於テ示シタノデゴザイマス、此ノ場合ノ男女ノ「マーク」ハ今迄ト同ジデゴザイマスガ、此ノ眞黒ニ塗りマシタノハ白痴、半分黒ク塗りマシタノハ痴愚デゴザイマス、輕イ驚鈍ト云ッタヤウナモノデハナイ、痴愚、白痴、何レモ精神薄弱トシテ可ナリ重症ノモノデゴザイマス、此ノ場合ニ同ジヤウニ此ノ五人ノ兄弟ガ白痴ニナリマシタノデスガ、其ノ中ノ一人ノ女ガ同ジヤウニ他ノ痴愚ノ男ト結婚ヲシマシテ、其ノ子供ニ矢張り白痴ガ出テ居リマス、一方ノ昭和七年生レト書イテゴザイマスガ、少シク分ラナイ、ソレハ何處ニアルカ能ク調べラレナカッタト云フ、不詳ト書イテアルノデゴザイマスガ、能ク調べマシタナラバ之モ或ハ白痴デアッタラウト云フコトガ考ヘラレルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ牛ハ牛連レト申シマスガ、精神薄弱者ハ能ク精神薄弱者ノ配偶者ヲオ互ニ見出シマスルノデ、非常ニ精神薄弱者ノ子供ニハ精神薄弱ナル者ガ多イ、是ハ何處デモ認めラレテ居ル事實デゴザイマス、以上大體御説明申上デマシタ、尙只今申上デマシタノハ疾病ノ方ノ遺傳調査デゴザイマスガ、我々ノ課ニ民族衛生研究會ト云フ會ガゴザイマシテ、其處デ全國ノ優秀者ノ家系ヲ是ト並行シテ調べタノデゴザイマスガ、此ノ場合ハオ醫者サンヤ専門家ノ方ニ調査ヲ依頼致シ

タノデハナク、府縣ノ教育會ニ御願ヲ致シ
マシテ、常識的ニ判斷シテ優秀ト見ラレル
家系、是ハ日本國民トシテ誠ニ立派デア
ト言ツタヤウナ人々デアリマス。トカ、藝術
學問其ノ他ノ方面ニ於テズバ拔ケテ居ル人
デアリマス。トカ、サウ云フ風ナ優秀ナ家柄
ニ付キマシテ、一府縣カラ二例ツ、集メテ
見タノデアリマス、此ノ方ハ何分ニモ作ッ
戴キマシタ方ガ專門家デアリマセス。シタ
結果トシテ、斯ウ云フ風ナ家系モ實ハマチ
マチバラ／＼デアリマシテ、集計スル迄ニ
ハ至ラナイノデゴザイマスガ、其ノ家系表
ハ相當ニ集ッテ居リマス、之ヲ段々整理ヲ致
シマシテ優秀家系ノ方ノ色々ナ業績モ纏テ
ハ結果ガ出セルノデハナイカト云フコトヲ
樂シミニ致シテ居ル次第デアリマス。

○子爵實吉純郎君 大體家系調査ノ狀況ハ
分リマシタノデゴザイマスガ、今三代迄ハ
分ッテ居リマスガ、ソレヨリ以前ニ矢張り斯
ウ云フ風ナ系統ノ家デハ必ズアツタニ違ヒ
ナイト思ヒマスガ、此ノ邊ノ所ハドウシテ
モ今ノ所デハ分ラナイ譯デアリマスガ、能
ク色々ナ家ノ系圖ノ中ニ、今迄ニ歴史的ニ
モ可ナリ常人ト違ッタ或ハ精神病ト思ハレ
ルヤウナノガ歴史上ニモ殘ッテ居ル、サウ云
フヤウナ家系ガ矢張り今迄續イテ居ルノガ
アルト思ヒマスガ、一體サウ云フヤウナノ
ハズツト先ノ方ニサウ云フノガ出タ、ソレガ
若シ唯偶然ニ出タモノ即チ遺傳關係ノナイ
モノト云フコトガ分ッテ居レバ其ノ家系ト
云フノハ何トモナイノダケレドモ、若シソ
レガ遺傳性ノモノデアッタトスレバ矢張り
是カラ先モ注意シナケレバナラス、若シ其
處ノ家ニ今度新シク精神病ナリ何ナリガ出
タラ矢張り其ノ家系ト云フモノハ斷絶スル

ト云フヤウナ危險ガ出テ來ル、是ガ可ナリ
色々ナ場合ニアリハシナイカト思ヒマス、
日本ノヤウニ家系ヲ重ンジテズツト昔カラ
來テ居ルト云フ、ズツト家系ノ分ッテ居ル家
ハ可ナリ澤山アル、其ノ家ニ假令少シデモ
アルトスレバ、サウ云フヤウナ家系ガ非常
ニ不安ヲ感ズルヤウナコトガ起リヤシナイ
カト思ヒマス、此ノ點今サウ云フ表ノ中ニ
出タヤウニ黒イノガ澤山アル場合ニハ茲ニ
優生手術ヲ行フト云フノデナクシテ、ズツト
前ノ方ニアツテ今ハ何トモナイト云フ家庭
デシテ、又次ニ出テ來ル虞ガアルト云フヤ
ウナモノハ申請ニ依ッテ矢張り斯ウ云フノ
ハ斷絶ヲサセルモノデアリマス。或ハ其
ノ子供ニ出タラ其ノ子供ニ對シテハ所謂斷
絶ヲスベキモノデスカ、サウ云フヤウナ所
ガ是カラチヨ／＼起リヤシナイカト思ヒ
マスデスカ、此ノ點可ナリ不安ガ起ルヤウ
ナ氣ガ致シマスガ、斯ウ云フ點、ドウ云フ
ヤウナ取扱ニナルノデスカ

○政府委員(高野六郎君) 原則トシマシテ
本人ガ遺傳性ノ病人デゴザイマセヌケレバ、
先ヅ問題ニナラヌ譯デアリマス。カラ遠イ所
ニアリマシタノハ殆ド問題デハゴザイマセ
ヌガ、併シ本人ガ病氣デナイ場合ニ、是ハ
追テ御話ガ出ルデゴザイマセウガ、本人ガ
病氣デゴイザマセヌデモ、四等親以內ニアッ
テ尙之ヲ診斷調査シマシテ、此ノ方ニ多分
著シク惡イ子ガ出ルデアラウト云フ、斯ウ
云フ關係ガ分ッタ時ダケ問題ニナルノデア
リマス。カラ、遙カ先ノ方、向フノ方ニゴザ
イマスノハ少クトモ其ノ程度デハ問題ニナリ
マセヌ、廣キ意味デ優生ノ關係ヲ調査シ、
少シデモ遺傳ノ關係ノ缺點ガアルノヲ、全
部之ヲ剔抉スルト云フコトニナリマスレバ、

今ノ御心配ガ相當アルカモ知レマセヌ、現
在ノ問題ト致シマシテハ如何デゴザイマセ
ウカ、餘リ御心配ニナルコトハナイデハナ
イカト考ヘテ居リマス

○委員長(子爵野村益三君) ドウデセウ
カ、逐條ニ入リマセウカ、大體ノ御質疑ガ
一先ヅ終ッタト致シマス。逐條ニ入リマセ
ウ、御異議ガナクバ……

○男爵小池正晃君 逐條ニ入ル前ニ續イテ
願ヒタイト思ヒマス、尙逐條々々ト大變委
員長ハオ急ギニナルヤウデアリマス、時日
ノ關係デ左様デアリマセウケレドモ、實ハ
昨日、今日ノ二回デ大分勉強シタ積リデ居
ルノデス、逐條ノコトモ是カラ調査シナケ
レバ間ニ合ハナイト云フコトデ今日逐條ニ
入リマス。ト、鵜呑ミニシナケレバナラス
ト云フヤウナ自分ノ考ガアルモノデスカ、
其ノ點御考慮願ヒタイト思ヒマス、尙一般
的ノ質問ニ付キマシテ一ツ御願ヒシタイノ
ハ、先程次田サンノ御話ノ癩病ノ關係デア
リマス、本案ト關聯致シマス。ノデ、御尋ネ
シタイト思フノデアリマス、此ノ優生法ニ
於キマシテ優生手術ヲスル、其ノ優生手術
ヲスルコトハ優生法デハ認メラレルガ、他
ノ方面デハ一般ニハ許サレナイ、是ガ避妊
ヤ何カノ防ギニナリマシテ大變良イト云フ
人口政策ニハ積極的ノ意味ガアルンダト云
フ御話デアリマシタ、就キマシテハ癩病ニ
付テハ人口政策カラ言ヘバ、癩病ノ子供ト
云フモノハ決シテ生レナガラニシテ癩病デ
ハナイノデアリマス。カラ、即チ遺傳ハナイ
ノデアリマス。カラシテ、其ノ兩親ニ對シテ
斷種ヲスルト云フコトハ人口政策カラ大變
ヲカシナコトデアルト思フノデス、又病氣
ガ病氣デカラ斷種ヲスルノデ、世間デハ癩

病ト云フモノヲ非常ニ厭ガル、ソレデカラ
シテ斷種シテ子供ヲ殖ヤスコトヲ避ケル一
ツノ手段デアリヤウニ行ハレテ居ルト云フ
コトハ人道ニ非常ニドウカト思フノデゴザ
イマスガ、今衆議院ニ提出サレテアル癩豫
防法案デハソレヲ認メヨウト云フ政府ノ御
考デアアルノデスカ、傳染ヲシナイデ、ドウ
セ生殖力ガ少イ癩病デ幾ラ放ッテ置イテモ、
ソナニ殖エルモノデナイ癩病ノ大多數ハ
生殖力ハナイノデアッテ、約半分モ生殖力ガ
ナイ、ソレハ成書ニ明カデアッテ癩病ト云フ
モノハ或島ニ隔離シテ置ケバ自然ニ何代カ
ノ後ハ消滅シテシマフモノデアラウト思フ
ノデアリマス、要スルニ隔離シテ置キサハ
スレバ消滅スルコトハ「ヨーロッパ」デ從來行ッ
テ來タ方法デモ其ノ通り、現在「ヨーロッパ」
中「バルカン」トカ「ロシア」ニハ少シハアル
ヤウデアリマスガ、大體「ヨーロッパ」ニハ姿
ヲ消シタト云フノハ、隔離ノ方法ダケデ姿
ヲ消シテ居ルノデアッテ、ソレヲ今癩療養所
デ癩其ノモノニ斷種ヲ施スト云フコトハ多
少如何ナモノデアラウカト云フ懸念ガアル
ノデアリマスガ、政府委員ノ御所見ヲ伺ヒ
タイト思ヒマス

○政府委員(高野六郎君) 御話ノゴザイマ
シタ通り、癩ハ傳染病デゴザイマス。カラ、
傳染ノ途ヲ斷ツコトガ豫防ノ根本デアリマ
シテ、唯長イ間ニ感染ヲ致シマス。カラ、從ッ
テ患者ヲ社會カラ隔離スルト云フコトガ癩
豫防、根絶ノ根本策デアリマシテ、御述ニ
ナリマシタ通りデアリマス、從ッテ其ノ生レ
マスル子供モ之ヲ生レルヤ否ヤ直グニ分離
致シマシテ、隔離致シマス。レバ矢張り發病ノ危
險ハ極メテ少イモノデアルト、斯ウ考ヘラ
レテ居リマス、唯實際ノ問題トシテ、是ハ批

評致シマスレバ、今迄ヤッテ居ッタコトモ必ズシモソレガ理想的ノ處置デハナイト云フコトニナルカモ知レマセヌガ、實際ノ問題トシテハ療養所ノ中ニ於キマシテハ、是ハ男女ノ患者ガ同ジ病院ノ構内ニ居リマスルノデ、其ノ尙若キ者ハ性殖能力ガゴザイマシテ、又性的生活ヲ杜絶致シマスルコトハ種々差障リナルコトガ多ウゴザイマシテ、ソコデ多數ノ癩患者ノ中デ年ノ若い者ハ男女配偶ヲ求メテ生活ヲシテ居ル實情デアリマス、此ノ際ニ子ヲ生ミマスコトガ患者ノ爲、社會ノ爲ニ結構デアルカドウカト云フ此ノ全ク實際ノ意味ニ於キマシテ、癩療養所ヲ管理シテ居リマスル醫師其ノ他ノ者ガ、又患者モ同様デアリマシテ希望ヲ致シマシテ、詰リ産兒制限生活ノ一種ヲ致シタリ、斯ウ云フコトヲ患者側ガ希望シ、管理者モ同意シ、ソコデ實際問題トシテ相當數今迄處置ヲシテ參ッタデアリマス、之ヲ或ハ人道的ニ考ヘ、又之ヲ法令ノ立場カラ見マシテ、是ガ妥當デアルカドウカト云フコトハ屢々問題ニナリ、研究シマシタ結果、今迄是ハ適法ノ行ヒデアル、尤モ大審院ノ判決ガアッタト云フ意味デハゴザイマセヌ、問題ニナリマセヌデ、今迄大體是ガ宜シイコトデアラウ、違法ノ行爲デアアルマイト云フコトニ解釋シテヤッテ來タ次第デゴザイマスカラ、別ニ法令等ナシニ其ノ患者ノ希望スル際ニ、徹底的産兒制限生活ニ入ルコトガ出來マスルヤウナ手段ヲ講ジテヤリマスルコトガ、現在ノ實情カラ見テ適當デアラウト思ッテ居ルノデアリマスガ、若シ今回ノ法律ガ施行サル、コトニナリマスルト、此ノ法律ガ出來マシタ爲ニ、從來ノ癩患者ニ對スル斷種手術ガ、之ヲ其ノ儘默認スルコト

トハ是ハ適當デナカラウ、斯ウ云フ意見ガ起リマシテ、然ラバ此ノ癩患者ニ對スル斷種手術ヲ此ノ優生法案ノ中ニ入レヨウカト云フコトヲ一應考ヘマシタガ、ソレハ因ヨリ適當デナイト云フコトニナリマシテ、分離シテ癩預防法ノ中ニ之ヲ入レタラドウカト云フコトニナッタ次第デゴザイマスガ、若シ事實ニ於テ此ノ事柄ガ支障ガナク行ハレバ、必ズシモ法制ニ依ラヌデモ宜シイノデアラウト存ジマスケレドモ、只今當局ノ考ヘトシテハ、是ハ矢張り癩預防法中ニ規定スル方ガ宜ラウ、サウシテ今迄ヤリ來タタ癩手術ヲ矢張り行フ方ガ適切ナノデアラウト、斯様ニ目下考ヘテ居リマス次第デアリマス

○男爵小池正晃君 今癩療養所デ行ッテ居ル其ノ斷種法ノ手術ハ、何年位前カラ實施サレテ居ルノデゴザイマセウカ

○政府委員(高野六郎君) 公立ノ癩療養所ガ始リマシテ間モナク、療養所ノ職員ガ研究實施ヲ始メマシタノデ、古イモノハ二十年位ニナルカト思ヒマス

○男爵小池正晃君 最初行ヒマシタ動機ハ、其ノ手術ヲ行フ動機ハ、ドウ云フ點デアリマスカ

○政府委員(高野六郎君) 癩療養所ノ中ニ男ノ患者ト女ノ患者ガゴザイマス、是ガ西洋ノ療養所ノ前例ヲ見マスルト、多クハ男女ヲ別ニシテ居ルノデアリマスガ、男女ヲ別ニシテ置キマスルト云フト、是ガ相當管理上困ルコトガアリマス、デ日本ノ癩療養所ハ、専門家ノ意見ヲ尊重シマシテ、男女同病院ニ收容スルト云フコトデ、却テ其ノ方ガ治安上其ノ他色々意味ニ於キマシテ適當デアルト云フコトニナッテ居リマス、

唯男女ヲ同ジ病院ノ中ニ、構内ニ病舎ヲ分ケテ置キマスル時ニ、夫婦生活ヲ絕對ニ禁止シマスルト云フト、是亦別個ノ意味デ、其ノ中ノ社會不安ノ原因ニナリマシテ、到底之ヲ治メ切レナイト云フ實情デゴザイマス、サレバト云ウテ、病院内ノ風俗混亂ノ儘デ置クコトハ出來マセヌノデ、矢張り適當ナ配偶ヲ求メマシテ、サウシテ夫婦ト云フ生活ヲ認メル方ガ宜イト云フコトニナッタ譯デアリマス、唯之ノ結果トシテ子供ノ澤山發生シマスルコトハ是ハ病院ノ管理、經營上非常ニ困リマス問題デアリマス、ソコデ子ヲ生マナイ工夫ヲスル、詰リ生涯産兒制限ヲ致シ、生活ヲサセル其ノ方法トシテ斯様ナコトニナッタ譯デアリマス

○男爵小池正晃君 要スルニ癩療養所ニ於ケル斷種法ノ動機ハ、病院内ニ於ケル管理上ノ結果カラ來タコトト考ヘラレルノデアリマス、要スルニ男女ノ間ノ關係ヲ取締ルニ大變都合ガ宜イカラシテ、缺陷ガ生ジナイ即チ子供ガ生レナイヤウニ取締リ得ルカラシテ、斷種法ヲ行フ、要スルニ癩療養所ノ方ノ都合ノ宜イヤウニスル爲ニ、斷種法ヲ行ッテ居ルヤウニシキヤ考ヘラレナイ、本人ノ人格ト云フモノハ多少無視サレテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、例ヘバ本人カラ希望ヲスルカラシテ、成ル程ソレデヤ切ッテヤラウ、サウシテ夫婦ニシテヤラウト表面ハ言ウテ居リマスケレドモ、其ノ實、子供ハ生レチヤ困ルノダカラ、其ノ處置ニ困ルノダカラ、一緒ニナルナラバ斷種法ヲヤレト、却テ管理者タル病院ノ方デ薦メル結果、仕様コトナシノ斷種法ヲ行ッテ居ルノデヤアリマセヌカ、ソレデ斯ウ云フコトハデスネ、運用ニ依ッテドウニデモナルノ

デアリマス、ナニ患者ノ方ガ一緒ニナリタイ爲ニ斷種ヲ望ムカラ、コッチハ切ッテヤルノデ、其ノ方ガ工合ガ宜イカラヤルト云フノモ成リ立ッデアリマセウケレドモ、ナニ又片方ノ方デハ、夫婦ニナルニハ、斷種ヲヤレト薦メテヤラセラルノカモ分ラナイ、元來隔離スレバ癩ハ、罹ラナイ病氣ナノデアリマスカラシテ、生レタナラバ隔離シテ、ドツカ保護シテ置ク所ノモノヲ政府ガ造レバ、斯ウ云フ斷種ヲシナクテモ宜イノデヤナイカト思フ、元來病院デ夫婦生活ヲサセルト云フコトハ違法デアリマセウケレドモ、癩ミタイナ長イ病氣デアリマスレバ、矢張り一生涯飼ヒ殺シスルヤウナコトニナルノデアリマセウカラシテ、初メカラ夫婦ノ者モ收容スルデセウ、サウスレバ矢張り小供ガ出來ル、中デ密通シテ出來タ者デモ小供ガ出來ル、子供ハ此ノ世ノ中ニ生レテ來テモ何ソノ罪モアリハシナイ、其ノ子供ヲ直グ隔離シテシマヘバ癩病ニモナラナイ、ソレダカラサウ云フ施設ヲ政府ガ早ク拵ヘテソレデ政府ノ保護ノ下ニ成育サセバ、ソレデ世間ノ噂デ、アレハ癩病ノ子供ト言ハセナイヤウニ段々教育ヲ進メテ行ケバ、ソレダケノ人間ハドシ／＼生産シテ行ク譯デアアルノデアリマス、サウシテ遺傳病デナイ病氣デアリマスカラ、別ニ健康上ニモ差支ナイコトト思フ、ソレデ私ガ二十年位前ニ全國ノ癩療養所ヲ視察シタコトガアル、其ノ時ニ香川縣ノ大島デアリマシタカ、ソコノ院長ノ話デ、實ハ子供ガ生レテ困ル、併シ子供ヲ地方ノ或人ガ引受ケテ、サウシテ健康診斷ヲ毎月病院カラ行ッテヤッテ居ッテ、今ハ三歳トカ五歳トカニナルガ、發病シナイデ居ル、引取ッテ貰ッテ大變經過ガ宜イ、

斯ウ云フ篤志家ノ寄特デナイ、サウ云フ施設ヲ政府ガヤレバ、是モ都合ガ宜イト云フ話モ聽イタ、處ガ政府ノ方ハ、病院ト云フモノハサウ云フモノデヤナイ、サウ云フ子供ヲ拵ヘテ、其ノ先キ迄處置スルコトハ出來ナイカラト云フヤウナコトデ、各病院デハ其ノ處置ニ困ツテシマツテ居ル、ドウシテモ子供ハ出來ルシ、其ノ子供ハナカ／＼引取人ガナイト云フ時ニハ病院トシテ非常ニ困ル、其ノ結果考ヘ付イタノガ斷種法デナイカト自分ハ考ヘル、二十年前カラ時々癩療養所ハ觀イタコトガアルノデスガ、要スルニ其ノ當時ハマダ癩病ト云フモノハ遺傳説ガ信ジラレテ居タ當時、ソレデ其ノ子供ガ要スルニ隔離スレバ、三年モ五年モ經テモ發病シナイト云フコトハ、マア遺傳説デナイト云フ證明デアルト云フコトヲ當時聽イタコトガアル、ソレヲ唯便法ニ從ッテ癩病患者ニハ本人ノ希望デカラ、又特殊ノ病氣デカラ斷種ヲシテ差支ナイノダト云フヤウナ本案トハ矛盾シタヤウナコトヲ、政府ハ今衆議院ニ出シテ居ルト云フコトガ、私甚ダ癩病患者ノ人々ニ取リマシテ、人道上忍ビ得ナイ、要スルニ強制サレテ斷種サレテ居ルノデヤナイカト云フ懸念ガアルノデアリマス、斯ウ云フコトハ先程申シタヤウニ、政府ガチヨット氣ヲ利カシテ施設サヘ拵ヘレバ、斯ウ云フ斷種法ナント云フモノヲ、癩患者ニ行ハナイデモ濟ムノデヤナイカト思フ、ソレヲ上デヤ取繼ガナイ、政府ノ方デハ別ニ便宜ヲ與ヘテ呉レナイ、單ニ其ノモノハ非常ニ工合ガ惡イト云フヤウナ結果カラ癩患者ニ斷種法ガ強ヒラレテ居ルヤウナ懸念ガ若シアリトセバ、是ハ人道上重大ナ問題ト思フ、此ノ點ヲ伺ヒタイト思フ

○政府委員(高野六郎君) 癩患者ノ子ヲ儲ケマシタ場合ニ於キマシテハ、十分ニ之ヲ安全ナ手段デ庇護シヨウト努メテ居リマスノデ、實ハ政府直接ノ施設デハゴザイマセヌガ、皇太后陛下ノ御庇護ノ下ニアリマス癩豫防協會ニ於キマシテ、癩ノ家庭ニ生レマシタ子供ヲ保護スルコトヲ、是ハ國庫ノ補助ヲ戴キマシテ相當數ヤッテ居リマスノデス、別ニ癩患者ノ子ガ生レマシタ以上ハ十分保護セニヤナラヌノデ、虐遇スルト云フヤウナコトハゴザイマセヌガ、是ガ澤山出生シマスルコトガ、其ノ患者デアル親ニ取ッテ幸福デアリマセウカ、又生レ出デタ子ノ爲ニ如何デアアラウカト云フヤウナ點モ相當實ハ考慮シタ結果生レナイ方ガ自他ノ爲、如何ナル點カラ見テモ宜シイノデアラウト云フノガ、今迄ノ私共其ノ他癩事業關係者ノ常識ノヤウニナツテ居リマシタノデアリマス、癩患者ノ子ハ實際ニ於キマシテハナカナカ普通社會ニ立チ交リニクイノデアリマス、隨分骨ヲ折リマシテ、成ルベク差別待遇ノナイヤウニ致シタイト云フノデ相當苦心ヲシテ居リマスルガ、可ナリ面倒ナ問題デアアルコトハ申上ゲル迄モアリマセヌト思ヒマス、生レタ者ノ幸福ト云フコトガ寧ロ主眼ニナリマシテ、生マレザラシムルコトヲ考ヘタノデアリマス、親ガ癩デアリマシテ子ヲ生シタ時ニ、矢張り親子ノ愛情ト云フモノハ強ウゴザイマスカラ、生レマスト云フト、是ハ別レルコトハ非常ニ慘憺タルモノデアリマシテ、自然手許ニ置キタイト云フコトニナルノデアリマス、直グニ引離シテ健康者ノ手デ保育スルト云フコトガ實際ノ問題トナリマスルナカ／＼サウ参リマセヌ、然ラバ子供ヲ生マナイ生活、詰

リ隔離生活ヲ致シタラト云フノデアリマスガ、癩ハ一生涯ノ病氣デゴザイマシテ、五十、六十、或ハモット以上迄生キ延ビルノガ隨分アリマスルノデ、一生涯孤獨デ暮スト云フコトハ、是ハ又非常ニ慘酷ナコトト思ヒマスルノデ、能力ノアリマスル者ハ夫婦的生活、家庭の生活ヲ行ハシメタイト斯ウ念願スルノデアリマス、甚ダ矛盾シタ考デアリマスルガ、患者ノ生活ヲ普通世間體ト同ジヤウニシタイト云フコト、而モ生レタ子供ト別離ノ苦痛ヲ味ハセルヤウナコトノナイ爲ニ、今迄申上ゲタヤウナ處置ヲ執ツテ、是ガ極メテ實際ニ適應シタコトデアラウ、理想カラ申シマスト如何デアアルカ、左様ナコトガ宜シイト云フヤウニ考ヘテ來タノデアリマス、ソレカラ又是ハ醫學上カラ申シマスルト極メテ稀デハアリマスルガ、癩患者ニモ胎内感染ガ絶無デハナイト云フヤウナ研究ノ結果モアリマシテ、尠クモ癩ノ親カラ生レマシタ子ハ、可ナリ長イ間潜伏期ガチヨット見透シガ附キマセヌカラ、青年壯年ニ達スル迄、相當健康看視ヲセネバナラス、之ヲ全ク隠シテ健康者ノ中ニ置イテ、發病シタコトヲ知ラズニ置クト云フコトモ、社會ニ對シテ又危險ノ源泉デアリマスカラ、サウ云フコトモ考ヘタノデアリマス、ソレカラ妊娠ヲ致シマスルト云フト、矢張り病勢ヲ相當進メル虞モアリマスノデ、此ノ點モ考慮シテ、是ハ幾何カハ病勢ノ増進ヲ豫防スルト云フ意味等モアリマシテ、旁、又癩ニハ目下格別有效ナル治療モゴザイマセヌ、色々ノ點カラ見テ特殊ノ疾病、傳染病、遺傳病アル、ヲ離レマシテ日本ノ現在ニ於キマシテハ、特別ノ病氣デアアルガ故ニ、特別ノ理由ヲ以テ斷種手術ヲスル方ガ實際ニ

宜イノデハナイカ、斯ウ云フ意味デアリマス
○下村宏君 今ノ點デ私チヨット一言申シ添ヘテ置キタイト思ヒマス、小池委員ノ御説ト、ソレカラ政府委員ノ御意見、是ハドチラモ何ト言ヒマスカナカ／＼議論ノアル點デ、私共癩ノ療養所デ何時デモ此ノ點ガ問題ニナル、又胎内傳染ト云フコトガアルガ、生レテ直グ隔離ヲスルト、大體ハ先ヅ癩ノ發生ナシニ濟ムノデスガ、是ハ私一々本人ニ聽ク譯デアナイガ、二三ハ聽イタノデスガ、教育ノ餘リナイ婦人達デアルト矢張り子ヲ生シデ見タイ、自分ノ子ヲ持チタイ、ソレカラ生シデモ其ノ子ヲ離シタクナイト云フノガアルニハアル、ケレドモ自分達ノ直キ／＼聽イタ、又多少教育ノアル、モノノ分ツタ所デハ、ドウカ斯ウ云フ腹カラ生レタト云フコトヲ、自分デ自覺スルヤウナ子供ヲ作ツタラ、其ノ子ハ不仕合セデアラカラ生ミタクナイ、ソレカラ今度ハ生シデモウツツテハ大變ダ、自分ハ手離シタクナイ、殊ニア、云フ病氣デ、ア、云フ所ニ離レテ居ルノダカラ、少シデモ傍ニ置イテ見タイガ、其ノ子ニハ斯ウ云フ病氣ハウツシタクナイカラ早ク離シタイ、直グ離シテ呉レ、是ガ恐ラクハ多イト思フ、處デ更ニ問題ニナルノハ、マア長島アタリデモドコデモサウデスガ、未感兒童ハ同ジ療養所ノ内マダ無邪氣デスガ、今度段々本人ガ物心ツイテ來ルト、自分ノ母親ナリ、父親ナリガ癩ノ患者デアルト云フコトヲ自覺シテ行ク、是ガ本人ニ非常ナ苦痛ニナツテ來ル、今度ハ其ノ療養所ト離レテ全然別個ノ場所ヘ收容シテ、又教育モシテ行ケバ宜イヤウナモノ

デアルガ、ソレデハ其ノ療養所カラ數十里
離レタ處カ、或ハ他府縣ニ運シテ、其處へ
或部ヲ造ツトシテモ、其處ノ部落ノ者ハ、
アレハ皆療養所カラ連レテ來タコト云フコト
ヲ廣告スルコトニナル、一番良イノハ、生レ
タ子ガ直グ又親許デモアッテ其處へ引取ル
トカ、餘リサウ云フコトヲ目立タズニヤレ
ルト宜イガ、自分達ノ子供ナリヲ長島ナラ
長島ニ送ツヤルト云フト、親父ハ縁ノ切レ
タコトニナッテ居ラナクテハ、今日ナラバ傳
染病ト云フコトデ多少ノ理解ヲ持ッテ居ッ
テモ、矢張り向フノ家ハ筋ダト云フコトデ、
又其ノ子ガ生レタノヲ引取ッテ來タノダト
云フコトニナルト、矢張りソコノ家デモ入
レタガラナイ、其ノ生レタ子ガ段々物心付
イテ來デ、自分ガ不幸ナ身デアルト云フコ
トヲ自覺シ、又多少知レルコトガ非常ニ世
間ヲ狭クシ、更ニ本人ノ將來ガ可ナリ暗イ
モノニナルト云フテ、今御話ノアルヤウニ
偶、生ヲ享ケテ其ノ病氣ニ罹ラス、唯サウ云
フ母體カラ出タト云フダケデアルナラバ、
サウ云フ因縁ガソコニ付イテ居ルト云フダ
ケデ、其ノ生ヲ失フト云フノモ如何ニモ是
モ勿體ナイ話デアル、一體此ノ未感兒童ト
云フモノノ將來ハ、今ノヤウナ點カラモ之
ヲ何レニシタラ宜イカト云フコトニナルト、
色々ナ立場カラ非常ニ議論ガ煩雜ニナッテ、
ドノ觀點ニ重キヲ置イテ居ルカト云フト、
マア四分六ニナルカ七三ニナルカ、隨分我
々ガ行ッテ宿屋ニ戻ッテ議論ヲシテ見デモ、
ドウモ矢張り兎ニ角未感兒童デモ、サウシ
テ矢張り同ジ場所デ教育シ、學校ヘ入レ、
中ニハ中學校……大學迄ハナイカモ知レ
ナイガ、中學校ナドヘ行ッテ居ル連中モ
アル、中ニハサウ云フコトヲ自覺シテ本人

ガ憂鬱ニナルト云ヒマスカ、不幸ニナリカ
ケル懸念ノアル者ガアル、今言ウタ無邪氣
デ遊ンデ居ル子供達ハ問題ハナイノダガ、
相當物心ガ付イテ來ルト、是ハ相當問題ニ
ナル、患者ノ方ハ、方々ノ療養所デ其處ノ
醫者トカ色々ナ人カラ聞クト、少數ハ矢張
リ産ンデモ見タイト云フノモアル、ソレカ
ラ又極ク少數ガ矢張り傍ニ置イテオキタ
イト云フノガアル、併シ是ハマア産ンダ以
上ハ、ウツシテハイカスカラ、隔離スルノ
ガ無論宜イノダラウ、併シ私ノ直カニ聞
イタ三四ノ例ハ、自分達ハ子供ヲ産ミタク
ナイ、或ハ産ンデモ兎ニ角隔離シタイ、多
少教育ガアレバ、其ノ方ノ説ノ方ガ多イノ
デヤナイカシラ、是ハ唯私共モ可ナリ混雜
シタ問題デアルカラ、自分ノ實見ダケノコ
トヲ御參考ニ申シテ置キマス

○男爵小池正晃君 此ノ問題ハ何レ衆議院
ノ方カラ癩癰豫法案ノ改正ガ廻ッテ來タ時
ニ、改メテ又御尋スルコトヲ致シマシテ、
只今ノ話ハ是デ打切りマス、私ノ質問ハ終
リマシタ

○委員長(子爵野村益三君) 如何デゴザイ
マスカ、大體論ニ付テ御質疑ハゴザイマセ
ヌカ……御質疑ガナイヤウデアリマス、ソ
レデハ御異議ガナケレバ、一ツ逐條ニ移リ
マセウ、先ヅ目的デアリマス、即チ第一條、
政府委員ニ伺ヒマスガ、尙簡單ニ御説明ニ
ナリマスカ

○政府委員(高野六郎君) 大體御讀ミ願ヘ
バ御了解出來ルコトト存ジマスガ、御質問
ガゴザイマシタ時ニ、其ノ都度申上ゲタ方
ガ宜シイト思ヒマスガ、如何デゴザイマス
カ

○委員長(子爵野村益三君) ソレデ宜シウ

ゴザイマスカ、ソレデハ第一條目的ニ付テ
御質疑ヲ願ヒマス宜シウゴザイマスカ

○子爵水野勝邦君 第一條「健全ナル素
質ヲ有スル者ノ増加ヲ圖リ」ト云フノハ、
是ハ此ノ法案ノ内容カラ見ルト、非常ニ弱
イモノノヤウニ思ハレマスガ、如何ナモノ
デセウカ

○政府委員(高野六郎君) 此ノ法律ニ二ツ
ノ目的ヲ持セテアリマスガ、條文カラ申シ
マスルト、只今ノ御言葉ノ通りニ、第二段
ノ方ハ稍、力ガ薄イカトモ存ゼラレマス、ケ
レドモ、將來ノ世ノ中ニ向ヒマシテハ、是
モ相當ニ人口問題ニ役ニ立ツノデハナカラ
ウカト存ジテ居リマスノデ、此ノ増加ヲ圖
ルト申シマシテモ、是ハ正確ニ申シマスル
ト、生レベキモノガ、人工的産兒制限ニ依ッ
テ生レナイト云フコトヲ差止メヨウト云フ
コトガ主ニナリマスカラ、詰リ消極的ノ方
面カラノ效果デアラウト存ジマス、健全ナ
ル素質ヲ有スル者ノ増加ヲ又他ノ意味カラ
解シマシテ、國民全體ノ遺傳素質ノ程度ヲ
低メル、マア百分率ハ段々惡イ方ノ率ヲ下
ゲテ行クト云フヤウナ意味、是モ消極的デ
ゴザイマスガ、結果ニ於テ國民全體ガ良ク
ナリ、又數モ増サウニ作用スルデアラウ
ト云フコトヲ期待シテ居ル次第デアリマス

○委員長(子爵野村益三君) 宜シウゴザイ
マスカ……御質疑ガナケレバ次ニ移リ
マス、第二條、優生手術、當局ノ御説明ハ
アリマセヌカ

○政府委員(高野六郎君) 是ハ技術ニ屬ス
ル分ガ多ウゴザイマスカラ、特ニ申上ゲテ
置カウト思ヒマスガ、優生手術、是ハ別ノ
言葉デ申シマスルト、從來使ッテ居リマシタ
斷種ニ當リマスノデアリマス、但シ去勢デ

ハナイ、生殖細胞ハ取除ケルコトナシニ、
唯其ノ性細胞ノ通路ヲ塞ギ、受胎ヲ止メル
ト云フ意味ノ手術デゴザイマシテ、是ハ勅
令ニ於キマシテ、此ノ手術様式ヲ明確ニ示
ス積リデゴザイマス、男子ニ於キマシテハ、
所謂精絲ノ結紮、離脱ト云フコトニ相成リ
マスルシ、女子ニ於キマシテハ、喇叭管ノ
結紮、離脱、或ハ必ズシモ離脱致シマセヌ
デモ壓碎シマシテ、兎ニ角通過ヲ止メル手
段デゴザイマス、此ノ手術ハ極メテ簡單デ
ゴザイマシテ、馴レタル外科醫ノ手ニ依リ
マシテ行フコトデアリマスルシ、危險ガナ
ク、效果ハ確實デアリマシテ、而モ全身ニ
對スル障害、性生活ニ及ス故障等モ先ヅナ
イモノト考ヘラレ、他ノ諸外國ニ於キマシ
テモ、此ノ手術ヲ此ノ目的ニ全部採用シテ
居ル次第デゴザイマス

○委員長(子爵野村益三君) 宜シウゴザイ
マスカ……御質疑ガナケレバ次ニ移リマス、
手術ヲ受ケ得ル者、第三條デアリマス

○次田大三郎君 午前ノ委員會ノ時ニ、小
池男爵ノ御質問ノ御答デ、一度病氣ニ罹ッ
テモ、病氣ガ治ツタ者ニハ手術シナイノダト云
フ御答ガアッタヤウデアリマスガ、私ノ了解
シテ居ル通りデアリマセウカ

○政府委員(高野六郎君) 只今ノ精神病學
ノ立場ノ實績カラ申シマシテ、遺傳性ノ病
氣ハ殆ド治療ガ困難デアリマス、從ッテ逆ニ
申シマスルト治療ニ依ッテ輕快スルノハ、大
體是ハ遺傳性ノ病氣デハナイト考ヘラレル
ノデアリマス、固ヨリ正確ニ其ノ前後ヲ觀
察判斷致シマシテ、一々ノ事例ニ付キマシ
テ誤リナキヲ期スル次第デゴザイマス

○子爵水野勝邦君 此ノ「特ニ優秀ナル素
質」ト云フコトノ説明ヲシテ戴キタイト思

ヒマス

○政府委員(高野六郎君) 是ハ丁度昨日小池男爵ノ折角ノ御質問ノ時ニ私が少シク見當違ヒヲ申上ゲマシタガ、本人ガ病人デアリマスガ、茲ニ該當スルソレノ病人デアリマス、即チ遺傳性素質ヲ有ッテ居テ、而モ發病シタ場合デアリマス、此ノ發病シタモノガ種々ノ手續ヲ經テ優生手術ヲ受ケルコトヲ許サレルノデゴザイマスガ、此ノ場合ニ病人デアリマシテソレガ遺傳ノ關係ガ明カデゴザリマシテモ、尙且ツ其ノ本人ガ優秀ナル知能極メテ卓絶シテ居リマスルトカ、特別ノ技能ヲ持ッテ居リマスルトカ、繪ノ天才デアリマスルトカ、音樂ノ特ニ天才デアリマスルトカ、何カ世ノ中ニ向ッテ非常ニ惜シイト云フヤウナ才能ヲ持ッテ居リマスレバ、是ハ遺傳ノ關係ニ自然ナル譯デアリマス、其ノ優秀ナル素質、劣悪ナル素質ガ、同じ體ノ上ニ同居シテ居リマスル場合ヲ左様ニ考ヘル譯デアリマス、序ニ私昨日申シ損ジマシタコトヲ直シテ置キマスガ、小池男爵ノ仰セラレタヤウニ優秀ナル素質ヲ有ツノデナク、本人ガ病氣デアアルガ、配合者ガ特別ノ天分ヲ有ッテ居ル場合ハ、此處トハ關係ガゴザイマセヌノデ、昨日甚ダ失禮ナコトヲ申シテ置キマシタガ、茲ニ修正ラシテ置キマス

○伯爵柳澤保承君 今ノ優秀ナル素質ヲ有スト認メルノハ誰ガ認メルノデスカ

○政府委員(高野六郎君) 是ハ結局最後ニ於テハ優生審査委員會決定サル、ノデゴザイマスガ、此ノ申請ヲ致シマスル者ハ、最初本人ガ其ノ家族デアリマスルカラ自分素質ノ中ニ良キモノガアレバ、是ハ申請シナイ方ガ宜イト云フコトニモナリマセウシ、

又折角申請セラレマシテモ、最後ノ判斷ニ於テソレニ該當シナイノハ許サナイコトニナリマス、色々ノ場合ニ認メラル、コトガアラウカト思ヒマス

○委員長(子爵野村益三君) チョット同ヒマスガ、天才ノ如キハ劣性遺傳デアアルノデスカ、此處ニ書イテアル優秀ナル素質中ニ優生遺傳ノモノモアル譯デスカ

○政府委員(高野六郎君) 其ノ點私モ確言スルコトガ出來マセヌノデスカ、優生デアリ劣性デアリ、何レニ致シマシテモ其ノ遺傳ノ關係ガ判明致シマスレバ、素質ヲ有スルモノト認メマシテ處分出來ルコト考ヘテ居リマス

○次田大三郎君 此ノ第一項ノ但書ハ第二項第三項ニハ掛ラナイノデスカ、今ノ天才ハ……

○政府委員(高野六郎君) 全部ニ掛リマス

○次田大三郎君 分リマシタ

○子爵水野勝邦君 今ノ第三條ノ一號二號デスカ、遺傳性精神病、遺傳性精神薄弱ト云フ此ノ名前ガ舉ッテ居リマス、之ヲ條文ヲ十分理解シテ判斷スレバ少シモ疑惑ハ起リマセヌケレドモ、非常ニ茲ニ一般ノ人ガ早吞込ミヲシテ、優生法案ト云フモノニ對シテ其ノ適用スル範圍ガ廣クナルト云フヤウナ問題ヲ起シ易イト考ヘラレマスガ、何カ方法ハナイモノデゴザイマセウカ

○政府委員(高野六郎君) 此ノ病名ヲ大キク病名ト申シマスカ、病類名ニ致シマシタコト、是ハ却テ制限ヲ嚴重ニシタイト云フ意味モ含ンデ居リマスノデスカ、法律ノ文面ダケデハマダハキリセヌ感ガゴザイマス、是ハ省令等ニ依リマシテ此ノ解釋ヲハッキリスル積リデ關係規則ノ案ノ凡ソヲ御目

ニ掛ケテ居ル次第デモゴザイマスルガ、例ヘバ第一ノ遺傳性精神病ト申シマスレバ、是ハ精神分裂症、躁鬱病、眞性癲癇ト云フヤウナ風ニナルノデゴザイマシテ、尙且ツレニ遺傳ノ關係ヲ明確ナルモノト云フヤウニ明記致シタイト斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵水野勝邦君 今ノコトヲ是非御注意シテヤッテ戴キタイト思ヒマスガ……宜シウゴザイマス

○委員長(子爵野村益三君) 外ニゴザイマセヌカ、宜シウゴザイマスガ、ソレデハ次ニ優生手術ノ申請デアリマスガ、是ハ矢張り順ニシマスカ、第四條

○政府委員(高野六郎君) 是ハ如何デゴザイマセウカ、多少御説明ヲ申上ゲタ方ガ……

○委員長(子爵野村益三君) ドウゾ貴方ノ方デサウ御認ニナルナラバ

○政府委員(高野六郎君) 此ノ方面私ヨリモ他ノ政府委員ノ方ガ説明ガ適當カト存ジマス

○政府委員(床次徳二君) 第四條ハ原則トシテ一般ノ場合ノ申請ノ手續ノ場合ヲ規定致シタノデアリマス、第一項ニアリマスルノハ申請ヲ爲シ得ル者ハ本人ヲ原則ト致シタノデアリマス、尙本人ガ配偶者ヲ持ッテ居リマス時ハ、假令正式ノ婚姻ニ依ル夫婦關係デアリマセヌデモ、即チ内縁ノ關係デアリマシテモ、配偶者ノ同意ヲ得テ申請スルコトニ致シテ居ルノデアリマス、尙本人ガ二十五歳ニ達セザル時、或ハ心神耗弱デアリマシタ時ニハ、其ノ家ニ在ル父母ノ同意ヲ得サセルコトニ致シテ居リマス、尙婚姻ニ依リマシテ其ノ配偶者ノ家ニ入りマシタ者ハ其ノ配偶者ノ父母トスルト云フコトニ

致シマシテ、以テ本人ガ配偶者、或ハ親ト云フモノノ同意ヲ得ズシテ勝手ニ斯カル手術ヲ受クルコトナキヤウ、或ハ親ノ意思、或ハ配偶者或ハ戸主ノ意思ヲ尊重スルヤウニ規定致シタノデアリマス、尙此處ニ二十五歳ト區切りマシタノハ今日民法ニ於キマシテ協議離婚ヲ致シマス場合二十五歳ニ達セザル者ハ父母ノ同意ヲ得ルコトヲ規定致シテ居リマス、又婚姻ニ當リマシテ男子三十歳、女子二十三歳ニ達セザル時ハ、矢張り父母ノ同意ヲ要スルコトニナッテ居リマスガ、ソレトノ關係ヲ考ヘマシテ是ハ二十五歳ト規定致シタ、併シナガラ此ノ二十五歳ト云フコトニ對シマシテハ衆議院ニ於キマシテ修正ガアリマシテ、只今申上ゲマシタ民法ノ婚姻ノ場合ノ規定ノ男子ノ場合、即チ三十歳ノ例ニ依リマシテ行フ方ガ適當デハナイカト云フノデ衆議院ニ於キマシテハ之ヲ三十歳ニ達セザル時、ト云フヤウニ修正セラレタノデアリマス、尙此ノ第二項ハ手術ヲ受ケマスル者ガ心神喪失者デアッタ時ニ、如何様ニスルカト云フ場合ノ規定デアリマスガ、此ノ場合ノ申請ハ其ノ家ニ在ル父母ガ之ヲ爲スコトニ致シテ居ルノデアリマス、先ヅ本人ガ申請能力ガアリマセヌノデ其ノ申請ヲ本人ニ代ッテ父母ガ致スコトニシテ居ルノデアリマス、尙本人ガ配偶者ヲ持ッテ居リマスル場合ハ其ノ配偶者ト其ノ家ニ在ル父母ガ申請スルコトニ規定ヲ致シタノデアリマス、其ノ次ノ項ハ、只今申上ゲマシタ一項二項ノ場合ニ於キマシテ、配偶者ガ知レナカッタトキ、或ハ配偶者ガ意思ヲ表示スルコトノ出來ナカッタ場合ニ、配偶者ノ意思ヲドウスルカト云フ規定デアリマスガ、此ノ場合ニ於キマシテハ、配偶者ノ同意ハ父母ノ同意ヲ

以テ代ヘル、又配偶者ガ第二項ノ心神喪失者ノ場合ニ於キマシテ、配偶者ガ意思表示ガ出来ナイ時ハ、其ノ家ニアル父母ノミノ申請ヲ以テ足リルト云フコトヲ規定致シタルノデゴザイマス、次ノ項ハ、前項ニ色々父母ノ同意ト云フ字ガ出テ居リマスガ、同意スベキ父母ガナカッタ場合、或ハ意思ヲ表示スルコトガ出来ナカッタ場合ニドウスルカト云フ場合ノ規定デアリマシテ、父母ノ一方ガ知レナイトキ、或ハ死亡シタルトキ、或ハ家ヲ去リタルトキ、或ハ意思ヲ表示スルコトノ能ハザル時ハ、父母ノ他ノ一方ヲ以テ申請ニ當ラシメル、是ハ今日民法ニ色々規定シテアルモノニ準ジタノデアリマス、尙此ノ場合ニ於キマシテ、兩方トモ父母ガナイ場合、知レザルトキ、死亡シタルトキ、家ヲ去リタルトキ、或ハ意思ヲ表示ノ出来マセストキハ後見人ガ之ニ代リマス、又後見人ガ爲シ難イ時ハ主ガ爲ス、戸主ガナカッタトキハ親族會ヲ以テ順次代テ申請或ハ同意セシムルト云フコトニ規定致シタルノデゴザイマス、併シナガラ後見人及親族會ナルモノハ、本人トノ關係ニ於キマシテ、戸主父母ノ如キ非常ニ一身上ノ關係ニ付テハ稍、縁ガ遠イノデアリマシテ、今日後見人ノ職務或ハ親族會ノ職務等ニ於キマシテハ、民法ニ於テ多少ノ區別ヲ致シテ居リマスル關係上、斯カル優生手術ヲ受ケルガ如キ重要ナル場合、而モ是ハ一身上ノ問題ニ關係ガ非常ニ深イノデアリマスガ、斯カルコトニ對シマシテハ後見人、親族會ハ進ンデ申請ヲ爲シ得ナイ、同意ハ爲シマスルガ、申請ハ後見人、親族會ノ如キ第三者的ノ立場ノモノハ出来ナイト云フコトヲ最後ノ但書ニ於テ規定致シタルノデゴザイマス

○委員長(子爵野村益三君) チョット速記ヲ止メテ……
(速記中止)

○委員長(子爵野村益三君) 御質疑ヲ願ヒマス

○子爵水野勝邦君 只今ノ衆議院デ修正サレタ三十歳ト云フコトニ付テハ政府ノ方ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレマスカ

○政府委員(一松定吉君) 其ノ點ニ關シマシテハ、只今他ノ政府委員カラ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、實ハ離婚若シクハ結婚ノ年齢ト云フモノニ對シテ、戸主若シクハ父母ノ同意ヲ得ヌデ宜シイト云フコトヲ前提トシテ案ハ作成致シタルノデゴザイマシタガ、衆議院デハ結婚ヲスル時ニ父母ノ同意ヲ得ヌデ宜シイト云フノ男子三十歳ト云フコトニシテアルカラ、特ニ二十五歳ノ女子ノ方ヲ標準ニシテスルヨリモ、斯ウ云フ重大ナコトハ幾分デモ年齢ヲ多ク取ッテ居ル人ノ方ガ色々熟慮斷行スルト云フ場合ニ於テ、年ノ若い人ヨリモ年ノ多い人ノ方ニ重キヲ置クト云フ精神カラデモ、三十歳ト云フコトニシタ方ガ宜イデハナイカト云フヤウナ意味ノ修正ノ趣旨デゴザイマシタノデ、政府ハサウ云フ意味デアラナラバ強ヒテ反對ハシナイデ、能ク其ノ御修正ノ點ニ付テハ尊重致シマス、斯様ナ意思表示ヲ致シテ居リマス

○委員長(子爵野村益三君) 宜シウゴザイマス……ソレデハ次ニ移リマス、第五條、同意申請、是モ御説明ガ要リマセウ

○政府委員(床次徳二君) 第五條ハ先程申上ゲマシタ本人、或ハ本人ノ親族等ノ申請ニ對シマシテ補充的ナモノデアリマスルガ、矢張り本人或ハ親族ノ意思ヲ十分尊重シタ

意思ヲ含ンダ申請デゴザイマス、即チ此ノ第一項ニアリマスルノハ、本人ニ對シマシテ精神病院ニ於キマシテ精神病者看護法ノ關係ニ於キマシテ、常ニ看護ノ地位ニ在リマスル者、或ハ保健所ノ長ト致シマシテ本人ニ保健上ノ指導ヲ致シテ居リマスル場合、或ハ平素自分ノ病院ニ診察ヲ受ケニ來ル、或ハ診療ヲ受ケニ來ルト云フ患者ニ對シテ、精神病院法ニ依リマスル所ノ精神病院長……或ハ代用精神病院ト云フノガ認メラレテ居リマスルガ、其ノ代用精神病院長、或ハ保健所長、或ハ又此處ニ命令ヲ以テ定ムル師トアリマスルガ、是ハ官公立ノ病院長、或ハ私立病院長等、十分信頼ノ出来マスル所ノ者ヲ限定致シマシテ、特ニ地方長官ガ適當ト認メマス者ヲ任命致ス積リデアリマス、或ハ刑務所等連絡ニ於キマシテハ刑務所ノ保健醫等適當ナル者ヲ任命致ス積リデアリマス、サウ云フ限定セラレマシタ醫師ト云フモノハ本人ノ同意ヲ得テ申請ヲ爲スコトヲ認メタルノデアリマス、本人等ノ立場ニ於キマシテ申請致シマスルコトガ原則デアリマスルガ、申請手續等ガ或ハ相當面倒ダト云フ爲ニ行ハレナイト云フコトガアツテハ不適當ト存ジマスルノデ、十分本人ノ諒解ヲ得テ手續等ハ、斯ウ云フ醫師ガ本人一身上能ク知ッテ居リマスル關係上代ッテ手續ヲシテヤル、但シソレニ對シテ、或ハ本人、或ハ前ノ規定ニ於キマシテ本人ノ申請ニ對シテ同意ヲ要スル者、即チ本人ニ配偶者ガアリマスルトキニハ配偶者ノ同意ヲ得ル、或ハ本人ガ二十五歳ニ達セザルトキ、或ハ心神耗弱者トキニハ其ノ家ニ在ル父母ノ同意ヲ要スルト云フ規定ガ前ニアリマシタガ、矢張り同様ニ斯カル同意ヲ要スル

者ノ同意ヲ得テ申請ヲ致スト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、第二項ノ場合ニ於キマシテハ、前項ノ時ト同様ニ本人ガ心神喪失者デアリマスルトキハ、本人ノ同意ガ出来マセス爲ニ、其ノ家ニ在ル父母ノ同意ヲ以テ本人ノ同意ニ代ヘルト云フコトニ致シタルノデアリマス、第三項ニ於キマシテハ、矢張り同意スベキ配偶者、父母等ガ同意ガ出来ナカッタ場合、即チ死亡シタルトキ、或ハ意思表示ヲ爲シ得ザルトキ等ノ場合、順次之ヲ父母ノ一方、或ハ後見人、戸主、親族會等ノ順位ニ依ッテ同意ノ順位ガ變ルコトヲ規定シタルノデアリマス

○委員長(子爵野村益三君) 宜シウゴザイマス……御質問ガナケレバ次ニ移リマス、第六條強制申請

○政府委員(床次徳二君) 原則ト致シマシテ優生手術ノ申請ハ先程申シマシタ本人側ノ申請、或ハ本人ノ同意ヲ得マシテ本人ノ診察治療等ニ當リマシタ醫師ガ、本人ノ同意ヲ得テ申請致スノデアリマスガ、斯ウ云フ風ニ本人ノ意思ノミヲ建前ト致シマシテ優生手術ヲ行ヒマスルトキハ、場合ニ依リマシテハ優生目的ヲ達成シ難イコトガアルノデアリマス、即チ著シク病氣ガ惡質デアルニ拘ラズ、本人ガ同意シナカッタト云フ場合ヲ生ズルノデアリマシテ、斯カル場合ニ於キマシテハ、眞ニ公益上優生手術ヲ必要トスルニ拘ラズ、手術ヲ行フコトガ出来ナイ、之ガ爲ニ一層惡質ノ遺傳ガ社會ニ殘ル即チ矢張り狹義ノ逆淘汰ト云フモノガ此ノ中ニ於テ行ハレレバアルト云フコトガ考ヘラレルノデアリマシテ、ドウシテモ公益ノ立場ヨリ斯カル疾患ヲ防遏スルト云フコトガ優生目的達成ノ上ニ必要ナノデアリ

マス、ソレガ爲ニ第六條ニ於キマシテ、原則ト致シマシテ、本人ノ同意ヲ得ルニ十分努メマスルガ、併シナガラ同意ヲ得ルニ努メマシテモ同意ヲ得ルコトガ出來ナカッタ場合、此處ニ掲ゲラレマシタ本人ノ疾患ガ著シク惡質ナル時、第三條ニソレハ、疾患ガ列舉シテアリマスルガ、此ノ疾患ニ罹ッテ居リマシテ、而モソレガ著シク惡質デアアル、反社會性ガ強イ、或ハ反適應性ガ強イト云フヤウナ場合、「又ハ其ノ配偶者本人ト同一ノ疾患ニ罹レルモノナルトキ」トアリマスガ、先程御説明ノアリマシタヤウニ、配偶者ト當人ガ同一ノ疾患ニ罹ッテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、子孫ノ發病率ト云フモノガ殆ド一〇〇「パーセント」デアリマシテ、優生上斯カル子孫ノ防遏ヲ致シマスコトガ極メテ必要ト認メラレルノデ、斯ウ云フ場合ニ限リマシテ、本人ノ同意ガ得ラレナイ場合ニアリマシテモ尙申請ガ出來ルト云フコトヲ規定致シタノデアリマス、此ノ申請ニ對シマシテハ、後ニ述ベマスヤウナ手續ニ於テソレハ、審査決定ヲ致サレマシタ場合ニハ、優生手術ノ強制ヲナシ得ルコトヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、之ニ依リマシテ任意ノ申請ノミニ於テ達成シ難イ所ノ優生目的ヲ完全ナラシメルヤウニ圖ツタノデゴザイマス

○委員長(子爵野村益三君) 御質疑ガゴザイマセヌカ、御質疑ガナケレバ次ニ移リマス、第七條、申請ノ手續デアリマス

○政府委員(床次徳二君) 第七條ノ一項ハ、申請ノ手續デゴザイマスルガ、優生手術ノ申請ハ、命令ノ定ムル所ノ申請書ノ形ニ依リマシテ、地方長官ニ之ヲ申請セシメルコトニ致シテ居ルノデアリマス、書類等

ハ簡單ナモノヲ作リマシテ、之ニ記入シテ申請スルヤウナ手續ニ致シタイト思フノデアリマシテ、尙此ノ申請ニハ、本人ノ健康診斷書及遺傳ニ關スル調査書、是ハ遺傳性疾患デアルト云フコトガ建前デアリマスル關係上、或程度迄本人モ遺傳デアルト云フコトヲ知ラナケレバナリマセヌ、遺傳ノ病氣ニ罹ッテ居ルト申請者ガ信ジマシタダケノ材料ヲ以チマシテ、茲ニ遺傳調査書ト申シマスカ、遺傳調査書ト云フモノヲ作リマシテ、學問的ノモノデハナクテ宜シイノデアリマスガ、少クトモ遺傳的ノ病氣ダト信ズル所ノ調査書ヲ添ヘ、竝ニ本人ガ優生手術ヲ受ケマスレバ、其ノ結果生殖ヲ不能ナラシムルモノデアアル、優生手術ト云フモノハ、子供ノ出來ナクナル手術デアルト云フコトヲ知ッテ居ル所ノ旨ヲ醫師ニ證明セシメルコトヲ致シタノデアリマス、尙此ノ場合ニ本人ガ心神喪失者デアリマスレバ、斯カル優生手術ニ對スル認識ガ出來ナイ關係上、其ノ家ニ在ル父母ガ之ニ代ルコトニ致シテ居ルノデアリマス、配偶者ヲ持ッテ居リマスル時ハ、配偶者ト其ノ家ニ在ル父母ガ、手術ノ結果ニ付テ知ッテ居ルト云フ旨ノ醫師ノ證明書ヲ添附セシメルコトニ致シタノデアリマス、此ノ本人ノ健康診斷書、遺傳ニ關スル調査書竝ニ本人ガ優生手術ガ生殖ヲ不能ナラシムルモノト云フコトヲ知ッテ居ル旨ノ醫師ノ證明書ト云フモノハ、特ニ申請ノ必要書類ト致シマシテ之ヲ提出セシメルコトニ致シタノデアリマシテ、申請ニ當リマシテ、十分ニ本人ガ優生ニ關スル知識ヲ持ツト云フコトヲ重要視シタ關係ナノデアリマス、尙本人ノ健康診斷書等ガアリマスル關係上、後ニナリマシテ、本人

ガ能ク其ノ當時心神ノ狀態ガ不確實ダッタ、同意シ或ハ申請致シタコトガ本人ノ眞意ニ出ナカッタト云フヤウナ問題ハ、此ノ健康診斷書ニ依ッテ避ケ得ルモノト存ズルノデアリマス、第三項ニアリマスル準用規定ハ、「第四條第三項及第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス」トアリマスガ、是ハ矢張り配偶者或ハ其ノ家ニ在ル父母ガ意思表示ガ出來ナカッタ場合ニ對シテ、順次父母ノ一方或ハ後見人、戸主、親族會ト云フ順序ニ依ッテ之ヲ爲スコトヲ規定シテ居ルノデアリマス

○委員長(子爵野村益三君) 御質疑ハゴザイマセヌカ、御質疑ガナケレバ次ニ移リマス、第八條

○政府委員(床次徳二君) 第八條ハ申請ヲ受理致シマシタ時ニ、如何ニ之ヲ取扱フカト云フコトヲ規定シテ居ルノデアリマシテ、第一項ニ於キマシテ、地方長官ガ斯カル申請ヲ受理致シマシタ時ハ、地方長官ハ國家機關トシテ此ノ優生手術ノ申請ニ對シテ、手術ヲ行フベキモノト認ムルカ否カラ決定致スノデアリマス、是ハ即チ第三條ニ掲ゲテアリマスル所ノ疾患ニ該當シテ居ルドウカ、疾患ニ該當スルガ故ニ手術ヲ行フベキモノト認ムルカ認メヌカラ判定致スノデアリマス、併シナガラ此ノ判定ヲ地方長官ノ單獨デハナイノデアリマシテ、第二項ニアリマスル如ク、豫メ地方優生審査會ノ意見ヲ徵スルコトニナッテ居ルノデアリマス、地方優生審査會ナルモノハ、如何様ナルモノデアアルカト云フコトニ付キマシテハ、先ノ第十二條ニ於キマシテ、審査會ニ關スル規定ハ、勅令ヲ以テ之ヲ定ムルト云フコトニナッテ居リマシテ、勅令ニ於テ其ノ詳細ハ規定致シタイト思ッテ居リマスガ、此ノ審査會ノ構成ハ何レモ専門家ヲ以テ組織スル、醫學者、遺傳學者、判事、檢事、衛生官吏、關係各廳高等官等専門的ナ知識ヲ持ッテ居リマス者ヲ以テ組織致シマシテ、専門的立場ニ於テ、此ノ病氣ヲ審査致シマシテ、優生手術ヲ爲スガ適當デアアルカドウカト云フコトヲ、知事ノ意見ニ對シマシテ答ヘルノデアリマス、尙此ノ審査會ト云フモノハ、此ノ審査ヲ十分行ヒ得ルヤウニ、色々審査ニ關スル規定ガアルノデアリマス、是ハハ十一條規定ガアルノデアリマス、色々事實ノ調査或ハ意見ヲ聽キ、或ハ本人ノ健康診斷等モ十分爲シ得ルガ如キ途ヲ開イテアルノデアリマス、尙此ノ第三項ニ於キマシテハ地方長官ガ優生手術ヲ行フベキモノト認ム、或ハ認メズト云フ決定ヲ爲シタ場合ニ對シマシテハ、第四條又ハ第五條ノ規定ニ依リ、優生手術ノ申請ヲ爲スコトヲ得ル者及ビ優生手術ノ申請ニ付同意ヲ得ルコトヲ要ストセラル者ハ本人トカ、或ハ本人ノ配偶者或ハ父母ト云フヤウナ者ニ對シマシテ、其ノ決定ヲ通知スルコトヲ規定致シテ居ルノデアリマス、而シテ此ノ決定等ニ異議等ガアリマスレバ、異議ヲ申立テルコトノ途ヲ開イタノデゴザイマス

○伯爵柳澤保承君 地方優生審査會ト云フノハ常置シテアリマスカ

○政府委員(床次徳二君) 是ハ各府縣ニ設置致ス積リデアリマシテ、常置機關デアリマス、常ニ開イテ居ルノデアリマセヌデ、是ハ必要ノ都度會合ヲ求メルト云フ官制上ノ委員會デアリマス

○侯爵小村捷治君 第八條ノ二項ノ地方優生審査會デアリマスガ、此ノ地方ト云フノ

ハドノ位ノ範圍デアリマスカ

○政府委員(床次徳二君) 今日ノ豫定ニ於キマシテ各府縣ニ一箇所宛置ク積リデアリマス、此ノ審査員ニ對シマシテハ、ナカノ地方ダケデ濟ムト云フモノデハナイト思ヒマス、相當専門ノ知識ヲ要シマス關係上、各大學教授達ヲ囑託ニ致シマシテ、一人ガ數府縣ヲ持ツト云フコトニナラウカト思フノデアリマス

○委員長(子爵野村益三君) 御異議ガナケレバ連關シテ居ルノデ、第九條ヨリ第十二條迄ノ御説明ヲ煩シマス

○政府委員(床次徳二君) 第九條ハ先程申上ゲマシタ地方長官ニ對シテ申請致シマシテ、之ニ對シマシテ地方長官ガ決定致シマシタ時ニ、其ノ決定ヲ關係者ニ通知致スノデアリマスルガ、此ノ決定ノ通知ニ對シマシテ不服ガアリマシタル時ハ、厚生大臣ニ不服ノ申立ヲ致ス途ヲ開イテアルノデアリマス、之ニ依リマシテ手續ノ慎重ヲ期シタ譯デアリマス、此ノ申立ハ決定ノ通知ヲ受ケマシタ後、通知ヲ受ケナカッタ者ニ對シマシテハ決定ガアリマシタ後、三十日以内ニ爲スコトニ致シテ居ルノデアリマス、三十日ヲ過ギマシタ時ハ、是ハ爲スコトヲ得ナイコトヲ規定シタノデアリマス、次ノ項ニ於キマシテハ、併シナガラ厚生大臣、宥恕スベキ事由アリト認ムル時ハ、假令期間ガ經過致シマシタ後ニ於キマシテモ、其ノ不服ノ申立ヲ受理スルコトヲ得ルコトヲ規定致シタノデアリマス、ソレカラ第十條ハ、此ノ不服ノ申立ヲ厚生大臣ガ受ケマシタ時ニハ、之ヲドウスルカト云フノデアリマスガ、申立ヲ理由ナシト認メル時ハ、之ヲ却下シ、理由アリト致シマスル時ハ、改メテ

審査ヲ致シマシテ、地方長官ノ決定ヲ取消、且優生手術ヲ行フベキモノト認ムルカ否ヤヲ決定致スノデアリマス、併シナガラ此ノ決定ヲ致シマス際ニ於キマシテ、前ノ地方長官ノ場合ト同様ニ、厚生大臣ノ諮問機關デアリマス所ノ中央優生審査會ト云フモノノ意見ヲ徵シテ決定致スコトニ致シテ居ルノデアリマス、中央優生審査會ノ規定ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、第十二條ニ共ニ規定セラレテ居ルノデアリマス、此ノ審査會ノ構成ハ地方優生審査會ヨリモ少シ大キク取リマシテ、人數ハ約二十人ト云フ風ニ見テ居リマシテ、手續ノ慎重ヲ期シテ居リマス、此ノ厚生大臣ガ不服申立ニ對シマシテ決定致シマシタ時ハ、最後ノ決定ト云フコトニ取扱フデ居ルノデアリマス、尙厚生大臣ガ却下致シマシタ場合、或ハ取消ト決定致シマシタ場合ニ對シテ、ソレゾレ關係者ニ通知致シマスコトヲ最後ノ項ニ於キマシテ規定致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ第十一條ノ關係ハ、斯カル手續ニ於キマシテ優生手術ヲ受ケムトスル者、或ハソレニ對スル利害關係者ト申シマスカ、本人ノ配偶者、或ハ父母ト云フモノハ、其ノ審査中ニ於キマシテ、審査ニ對シマシテ十分慎重ヲ要求スル意味ニ於キマシテ書面或ハ口頭ヲ以チマシテ事實ヲ申出、或ハ意見ヲ述べル途ヲ開イテアルノデアリマシテ、此ノ形式ニ付キマシテハ、決シテ裁判所等ニ規定セラレ、ガ如キ面倒ナ手續ヲセズニ、何時デモ意見ヲ述べ得ルヤウニ致シテアルノデゴザイマス、之ニ依リマシテ審査ノ徹底ヲ期シタイト存ズルノデアリマス、第二項ニ於キマシテハ、併シナガラ尙特ニ審査ノ爲ニ必要アリト認メラレ場合ニ於キマシテハ、

厚生大臣又ハ地方長官ハ命令ノ規定ニ依リマシテ、優生手術ヲ受ケルコト云フ所ノ本人ヲ審査會ニ出席セシメテ、色々ノ事實ヲ説明サセル、或ハ必要ノアリマス場合ハ、醫師ノ健康診斷ヲ受ケサセルト云フコトヲ規定致シテ居ルノデアリマシテ、之ニ依リマシテ、優生審査會ノ必要ヲ判斷ノ資料ヲ確實ニ致サセルト云フ途ヲ開イテ居ルノデアリマス、第十二條ハ中央優生審査會及地方優生審査會ノ規定デアリマスガ、此ノ規定ハ勅令ヲ以テ規定致スノデ、御手許ニ勅令案關係、命令草案等モ參ッテ居ルカトモ思フノデアリマスガ、簡單ニ申上ゲマス、此ノ審査會ナルモノハ、厚生大臣或ハ地方長官ノ監督ニ屬シマシテ、優生法ノ規定ニ依ル其ノ權限ニ屬セシメタル所ノ事項ヲ調査審議スルコトヲ目的ニ致シテ居ルノデアリマシテ、名稱ハ中央ニ在リマスモノハ中央優生審査會、地方ニ在リマスモノハ地方優生審査會デアリマシテ、地方ノ何レモ道府縣ノ名前ヲ其ノ上ニ附ケル積リデゴザイマス、尙此ノ審査會ノ會長ニ對シマシテハ、單ニ厚生大臣、地方長官ガナルト云フ意味デナシニ、専門家ヲ以テ當ラシメルト云フ意味ニ於テ委員中ヨリ之ヲ當テル積リデアリマス、委員ノ數ハ中央優生審査會ハ二十名以内、地方優生審査會ハ十名以内ト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、尙必要アリマスル場合ハ臨時委員ヲ置キマシテ、臨時委員ガ隨時鑑定ナリ其ノ他専門ノ知識ヲ以チマシテ意見ヲ述べ、審査ヲ爲シ得ルヤウナ途ヲ開イテ居ルノデアリマス、中央優生審査會ノ委員ニ對シマシテハ、厚生大臣ノ奏請ニ依リ内閣之ヲ命ジ、地方優生審査會ニ付キマシテハ厚生大臣ガ之ヲ命ズルコ

トニ致シテ居ルノデアリマシテ、委員タルベキ人ハ先程申上ゲマシタ判事、檢事、衛生官吏、其ノ他ノ各廳高等官、醫學者、遺傳學者、其ノ他經驗アル者ヲ以テ任命スル積リデゴザイマス、尙審査會ハ幹事、書記等ヲ置キマシテ、審査ノ必要ナル各種ノ準備調査ヲ致スノデアリマシテ、最モ大キナ準備調査ト致シマシテハ遺傳調査、先程御目ニ掛ケマシタヤウナ家系圖等豫メ確實ニ調査致シマシテ、之ヲ以チマシテ審査會ノ判斷ノ資料ニ致スノデアリマス、尙審査委員ニ於テ必要ト認メマスレバ、ソレト本人等ヲ健康診斷致シ、或ハ本人カラ直接意見ヲ聽キ得ル途ヲ開イテアリマスコトハ先程申上ゲマシタ如クデゴザイマス

○委員長(子爵野村益三君) 御質疑ハゴザイマセスカ

○伯爵柳澤保承君 臨時委員ノ數ハ別ニ制限ハナイノデスカ

○政府委員(床次徳二君) 臨時委員ニ付キマシテハ別ニ數ノ制限ハゴザイマセズデスガ、是ハ病氣ノ種類ト云フモノハ、非常ニ色々ナ種類ノモノガアリ得ルト思フノデアリマス、眼科トカ皮膚科トカ、特殊ナモノガアリマス場合ニ、特殊ノ専門ノ知識ヲ要スルト思ヒマスノデ、サウ云フ人ヲ臨時委員ニ願ヒマシテ審査ヲ圖リタイト存ズルノデアリマス

○男爵村田保定君 今ノ審査會ノ委員ノ中ニ精神運動トカ、精神修養トカ云フ方面ノ權威ノアル方モ委員ニ御加ヘニナル御考ハナイノデアリマセウカ

○政府委員(床次徳二君) 此ノ委員ハ専門的立場ニ立ッテ、申請ヲ致シマシタ者ガ果シテ三條ノ疾患ニ該當スルカドウカ、尙別ノ

言葉ヲ以テ申シマスレバ、遺傳ヲ防遏スル爲ノ必要ガアルカドウカト云フコトヲ判斷致シマスノデ、サウ云フ立場ノ専門ノ知識ヲ持ツテ居リマス者ヲ選リ積リデアリマス、行政ノ立場、其ノ他ノ意味ニ於テハ考慮ヲ致シテ居ラナイノデアリマス

○委員長(子爵野村益三君) 御質疑ゴザイマセスカ……御質疑ガナケレバ次ニ移リマス、今度ハ手術ノ實施デアリマスガ、關聯シテ居リマスノデ、第十三條、第十四條、第十五條ヲ併セテ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(床次徳二君) 第十三條ハ、如何ニシテ手術ヲスルカト云フコトヲ規定致シタノデアリマシテ、「優生手術ヲ行フベキモノト認ムル決定確定」致シマシタ時ハ、優生手術ヲ受ケ得ル者ハ、是ハ命令ニ依ツテ優生手術ヲ受ケル所ノ義務ヲ規定致シタノデアリマス、強制セラレル者ハ強制セラレベキ義務ガアルノデアリマス、此ノ決定確定ト申シマシタノハ、地方長官ノ決定ニ對シマシテ、不服申立期間ガ申立テナクシテ經過致シマシタ場合、或ハ不服申立テ致シマス、厚生大臣ガ決定、却下致シマシタ場合ヲ即チ確定ト申シテ居ルノデアリマス、第二項ハ、此ノ手術ヲ行ヒマス場合ハ厚生大臣又ハ地方長官ノ指揮ヲ受ケマシテ命令ヲ以テ定ムル醫師、命令ヲ以テ定ムル場所ニ於テ之ヲ行フコトヲ規定致シテ居ルノデアリマス、手術ヲ確實ニ行フコトヲ意味ニ於キマシテ、手術ヲ行ヒマス醫師ヲ限定致シタノデアリマシテ、斯カル技術ニ對シマシテ、十分習熟致シタ者ヲ豫メ決定致シテ置キタイト存ズルノデアリマス、又場所ニ於キマシテモ、手術其ノモノハ至ッテ簡單ナモノデアリマスガ、十分遺憾ノナ

イヤウニ完全ナ設備ノアリマス場所ニ於テ之ヲ行ハシメル豫定デアリマシテ、公立病院或ハ私立病院等ニ於キマシテ確實ナルモノヲ何レモ命令ヲ以テ定メマシタ範圍ニ於テ、一府縣ニ數箇所ゾ、指定致シテ置キタイト思フノデアリマス、尙必要アリマスル場合ハ、ドコソコノ場所ニ於テ、ドノ醫師ノ手術ヲ受ケロト云フコトヲ具體的ナ場合ニハ決定シ得ル途ヲ開イテ置キタイト存ズルノデアリマス、第三項ハ、斯カル手續ニ依リマシテ、優生手術ヲ行ヒマシタ醫師ハ命令ノ定ムル所ニ依リ、其ノ經過ヲ地方長官ニ報告致スコトニ致シテ居ルノデアリマス、是ハ手術ヲ行ヒマシテ、既ニ傷ノ癒タト云フ時ニ、ドウ云フ術式ニ依リ、且如何様ナ經過ヲ取ツテ是ガ治癒シタト云フコトニ對シマシテ報告致スコトニナツテ居ルノデアリマシテ、之ニ依リマシテ手術ニ遺憾ナキヲ期スルト共ニ、尙手術ヲ受ケマシタ後、本人ニ對シマシテ十分ナル指導ヲ行ヒ得ル途ヲ開イテ居ルノデアリマス、手術ヲ受ケマシタ者ハ、固ヨリ是ハ地方廳ニソレゾレ臺帳ヲ殘シテ置キマシテ、本人ノ將來ニ付テ十分監督指導ノ出來ルヤウニ致シテ置キタイト存ズルノデアリマス、第十四條ハ優生手術ヲ行フベキモノト認ムル決定確定シタ場合ニ、本人妊娠中ノ場合ハ其ノ胎兒ヲドウスルカト云フ場合デアリマス、優生手術ヲ行フベキモノト認ムル決定確定シマシタ者ハ當然惡質ヲ遺傳スルト云フ虞ノ大ナルモノデアリマス關係上、其ノ腹ニ宿テ居リマス胎兒ハ矢張り惡質ノ素質ヲ持ツ虞ガ大ナルデアリマシテ、此ノ胎兒ヲ其ノ儘社會ニ出スト云フコトハ優生ノ意味カラ言ヒマシテ矢張りソレダケ惡質ノ者ヲ増加セ

シメルコトニナルノデアリマシテ、斯カル場合ニ於キマシテハ本人ノ申請ニ依リマシテ妊娠中絶ノ手術ヲ受ケル途ヲ拓イタノデアリマス、併シナガラ妊娠中絶ノ手術ヲ行フト云フコトハ容易ナラヌコトデアリマシテ、此ノ範圍ヲ餘リ廣ク認メルコトハ不當ト認メマシテ、此ノ妊娠中絶ハ妊娠三月ヲ超エル場合ハ之ヲ行フコトヲ得ナイコトニ規定致シタノデアリマス、此ノ妊娠中絶ハ本人カラ厚生大臣又ハ地方長官ニ對シ申請致シマスガ、此ノ申請ニ對シテ地方長官又ハ厚生大臣ガ許可ヲ與ヘ、其ノ決定ニ依ツテ本人ハ其ノ命令ニ依ツテ行フノデアリマシテ、自由ニ此ノ手術ヲ受ケルコトハ出來ナイノデアリマス、一定ノ範圍ニ於テ即チ實際ニ於テハ是ハ優生手術ヲ受ケマス同時ニ受ケマスノガ便利デアリマシテ、同時ニ行フコトガ身體ノ上ニ對シマシテモ、手術ノ上カラモ便利デアリマシテ、同時ニ併行シテ行フコトヲ豫定シテ居リマス、從ツテ手術ヲ行フ醫師、場所等ハ優生手術ト同様ニ取扱フ豫定デゴザイマス、第十五條ハ此ノ優生手術又ハ妊娠中絶ニ關スル費用ノ點デゴザイマスガ、原則ト致シマシテ是ハ國ノ費用デアルベキモノト存ズルノデアリマス、即チ優生ト云フコトガ其ノ主タル目的デアルノデアリマス、併シナガラ他面カラ考ヘマシテ、斯カル手術又ハ中絶ヲ致シマスコトハ本人及其ノ本人ノ家族ニ對シテモ利益デアリマス關係上、本人ノ申請ニ依ル場合ニ本人ニ負擔能力アリト認ムル場合ハ本人ノ負擔トスルノデアリマス、其ノ以外ノ場合ハ國ノ負擔ト致シマス、強制申請ノ場合ハ固ヨリ全國國デ負擔スルノデアリマス、斯カル規定ハ勅令ニ於テ之ヲ規定致シタイト存シテ居リマス、

尙只今御説明致シマシタ第十四條ニ於キマシテハ衆議院ニ於キマシテ修正ノ決定ガアツタノデアリマス、衆議院ニ於キマシテ之ヲ修正セラレマシタ趣旨ハ、元來妊娠中絶ト云フコトハ非常ニ今日嚴重ニ取締リテ居ル事柄デアアル、即チ刑法ニ於テモ墮胎罪ノ規定ガアリマシテ嚴ニ濫用ヲ戒メテ居リマシテ、斯カル妊娠中絶ハ優生ノ目的ト雖モ成文ヲ置イテ表カラ認メルト云フコトハ穩當デナイデハナイカト云フノガ此ノ理由デアリマス、尙第十四條ノ三項ニアリマス如ク三月ヲ以テ認メル場合ト認メヌ場合ノ界限ニ致シタノデアリマスガ、此ノ三月ト云フコトニ對シデモ強イ根據ガナイノデアリマシテ、第十四條ハ全部削除ト云フコトニ修正セラレタノデアリマス、從ツテ第十五條ニ於キマシテモ「優生手術又ハ前條ノ妊娠中絶」トアリマス「又ハ前條ノ妊娠中絶」ト云フ字句ヲ削リマシテ、優生手術ノミニ之ヲ修正セラレタノデアリマス

○次田大三郎君 是ハ政府ノ御考ハドウデアリマスカ

○國務大臣(吉田茂君) 政府ト致シマシテ此ノ原案ニアル程度、妊娠三箇月ヲ超ユルモノデアッデ優生手術ヲ受ケルコトヲ決定シテ居ル者ニ對シテ妊娠中絶ヲ致シテモ差支ナカラウト云フ意味ヲ以チマシテ斯様ナ原案ニナツテ居リマス、若シ本院ニ於キマシテ衆議院ノ修正ト同様ノ御決定ガアリマスナレバ、兩院ノ御決定ヲ尊重スルコトニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○委員長(子爵野村益三君) ソレデハ第十六條、第十七條ヲ合セテ説明ヲ願ヒマス

○政府委員(床次徳二君) 第十六條ハ故ナ

ク生殖不能ヲシムル手術又ハ放射線照
射ハ之ヲ行フコトヲ得ザルコトヲ明カニ致
シタノデアリマス、是ハ健全ナル素質ヲ有
スル國民ガ正當ノ事由ナクシテ斯カル手術
ヲ受ケマシテ、産兒制限ノ目的ニ濫用セラ
レノヲ防ガムトスルモノデアリマス、此
處ニ照射又ハ放射線トアリマスノハ、生殖
ヲ不能ナラシムル所ノ根本的ノ方法デアリ
マス關係上此ノ程度ニ限定致シタノデアリ
マス、放射線又ハ照射ト申シマスノハ「レン
トゲン」或ハ「ラヂウム」線等ノ照射ニ依ル
手術ト申シマスノハ、外科手術ニ依ルコト
ヲ言フノデアリマス、別ノ言葉ヲ以テ申
シマスレバ去勢ト斷種、兩方ヲ禁止致サ
ムトスルモノデアリマス、現在刑法ニ於テ是
ガ如何様ニ取扱ハレテ居ルカト云フコトニ
付キマシテチヨット申上ゲタイト思ヒマス
ガ、墮胎ニ付キマシテハ刑法ニ於キマシテ
明瞭ニ可ナリ嚴重ナ制裁ヲ以テ規定シテ居
ルノデアリマス、墮胎即チ妊娠中絶ノ場合
デアリマス、併シナガラ生殖不能ナラシ
ムル手術或ハ放射線照射線、即チ斷種トカ、
去勢ト云フコトガ果シテ禁ゼラレテ居ルカ
ドウカト云フコトハ刑法上ノ明文カラ全然
出テ參リマセヌノデ、是ハ矢張り刑法ノ傷
害罪ヲ以テ之ヲ行ヒマス場合ノ違法性ノ問
題ニナルノデアリマスガ、現在往々ニシテ
斯カル生殖不能ナラシムル手術等ハ刑法
ノ正面カラ禁止ノ規定ガナイカラ行ッテモ
差支ナイノデハナイカト云フヤウナ誤解
サヘモ社會ニアルノデアリマス、現在往々
ニシテ斯カル手術ヲ行ヒマスルコトハ正當
ナ事由ナクシテ行ヒ得ナイコトヲ明瞭ニ
規定致シタイト思フノデアリマス、「故ナク」
ト此處ニ掲ゲマシタノハ、醫者ガ醫療ノ目

的ヲ以テ行ヒマス場合或ハ緊急避難ノ爲ニ
醫者ガ行ヒマス場合ハ是ハ固ヨリ正當ナ事
由アルモノトシテ豫想セラレノデアリマ
ス、又本法ニ依リマシテ優生手術ヲ行ヒマ
ス場合等ハ固ヨリ是ハ正當ナ事由アルモノ
デアリマシテ、斯カル正當ノ事由アルモノ
ト云フモノ「故ナク」ト云フ意味ニ於テ禁
止セラレト云フコトニナルノデアリマス、之
ニ依リマシテ從來明文ヲ以テ規定シテ居リ
マスル所ノ避妊手術ト云フコトニ對スル禁
止並ニ罰則ト云フコトガ明瞭ニナツタノデ
アリマシテ、將來國民優生上ノ禍根ヲ絶ツ
コトガ出來ルモノト信ズルノデアリマス、
第十七條ハ是ハ本法ニ規定致シマス所ノ優
生手術或ハ優生手術ヲ受クベキモノガ行ヒ
マス妊娠中絶ト云フ場合ヲ除クノ外、醫者
ガ醫療行為トシテ行ヒマス場合ニ對スル
規定デアリマスガ、醫者ガ生殖不能ナラ
シムル手術或ハ放射線照射又ハ妊娠中絶ヲ
行ヒマスコトハ、固ヨリ是ハ醫師ノ正當業
務デアアルノデアリマス、併シナガラ今回第
十六條ノ如キ規定ガ出來マシテ、又國民優生
法案ニ於キマシテハ斯カル手術ヲ行ヒマス
ニ付キマシテハ嚴重ナ規定ヲ致シテ居ルノ
デアリマス、之ト對照致シマスト醫師ガ現
在何等ノ規定ナクシテ斯カル手術ヲ行ッテ
居リマスコトハ可ナリ權衡ガ採レナイモノト
思フノデアリマシテ、斯カル手術ニ付キマ
シテハモット慎重ナ手續ヲ規定致シタイト
思フノデアリマス、又一方醫師側カラ申シ
マスト十六條ノ如キ規定ヲ設ケラレマシテ、
今後故ナク斯カルコトガ行ヒ得ナクナル關
係上必要アリト認メマスル場合ニ於キマシ
テモ、醫師ハ確信ガナケレバ容易ニ手術ヲ
行ハナイト云フコトニナリマシテ、必要ナ

手術モ躊躇スルト云フコトガアツテハ困ル
ノデアリマシテ、十分ナル醫師トシテ行ヒ
得ルダケノ餘地ヲ明カニスル必要ガアルト
思ヒマシテ、特ニ規定致シタ次第デアリマ
ス、即チ醫師ガ斯カル手術ヲ行ヒマスル時
ハ、豫メ其ノ手術が必要デアルカドウカト
云フコトニ對シマシテ、他ノ醫師ノ意見ヲ
聽ク、且命令ノ定ムル所ニ依リ豫メ行政官
廳ニ届出セシムルコトニ致シタイト存ズル
ノデアリマス、併シナガラ往々ニシテ手術
ガ急施ヲ要シマシテ、他ノ醫師ノ意見ヲ聽
キ或ハ届出ルト云フコトガ出來ナイ場合モ
有リ得ルノデ、其ノ場合ハ特ニ但書ヲ以テ
除外致シタノデアリマス、尙此ノ醫師ノ届
出ニ對シマシテ、特ニ行政官廳ガ必要アリ
ト認メマスル時ニハ、其ノ指定シタ醫師ノ
意見ヲ更ニ聽取セシムルコトヲ得ル旨ヲ規
定致シタノデアリマス、是ハ往々ニシテ
醫師ガ斯カル手術ヲ濫用セラル、場合ガア
ルノデアリマシテ、今日ニ於キマシテ、心
アル醫師ニ於キマシテハ非常ニ此ノ點ヲ痛
感シテ居ルノデアリマスルガ、斯カル醫療
行為ガ産兒制限等ノ目的ニ濫用セラル、コ
トヲ防グ意味ニ於テ、濫用ノ虞アリト認ム
ル場合ニ限リマシテ、之ヲ監督スル意味ニ
於キマシテ、特別ニ指定致シマシタ醫師
ノ意見ヲモウ一回聽取セシメテ、果シテ
手術ヲスル必要ガアルカドウカト云フコ
トニ付キマシテ、慎重ヲ期セシメタノデア
リマス、第三項ニ於キマシテハ、急施ノ場
合ニアツテ届出ガ出來ナイト云フ場合ニ於
キマシテハ、事後ニ於テ行政官廳ニ届出セ
シムルコトヲ規定致シテ居ルノデアリマ
ス、此ノ第一項ニアリマスル所ノ、他ノ醫
師ノ意見ヲ聽クト云フコトニ付キマシテ、

ハ、今日現在既ニ醫師ガ慣習トシテ行ッテ
居ルノデアリマシテ、責任アル醫師ニ於キ
マシテ、當然之ヲ行ッテ居ッタノデアリマス
ガ、之ヲ法文上必要ナル事項トシテ明カニ
規定致シタノデアリマス、之ニ依リマシテ
今後斯カル手術ト云フモノノ慎重ガ期シ得
ラレルコトト存ズルノデアリマス
○光行次郎君 他ノ醫師ノ意見ヲ聽クト云
フコトニ付キマシテ、モウ少シ強ク規定ス
ル必要ハナイノデセウカ、私嘗テ墮胎罪ヲ
取扱ッタ際ニ、墮胎罪ヲ常習トシテヤル醫
者ガアツテ、其ノ人ハ外科醫デアリマスガ、必
ズ内科醫ノ意見ヲ聽取シテ居ル、其ノ内科
醫ト通謀スルト云フカ、ソレヲ一ノ機會ニ
シテ澤山ノ墮胎罪ヲ行ッタ例ガアルノデア
リマスガ、サウ云フ風ニシテ他ノ醫師ト通謀
スルト云フヤウナコトニナリマス、餘程
之ヲ強メテ置カスト工合ガ惡イヤウニ思ヒ
マスガ、此ノ意味ニ於テ之ヲ強メル、即チ
二人トカ、或ハ病院ノ醫者トカ、何處ノ醫
者トカ云フヤウニ之ヲ強メル御意思ハナイ
ノデセウカ
○政府委員(床次徳二君) 只今御尋ガアリ
マシタヤウニ、單ニ他ノ醫師ト規定シテア
リマスノデハ、通謀致シマシテ、本當ニ此
處ニ規定致シマシタ效果ヲ生ジナイ虞モア
ルカト思フノデアリマスガ、此處ニ規定シ
テアル他ノ醫師ト云ヒマスノハ、同一ノ病
院ニ居リマシテモ、他ノ醫師デアリマスレ
バ、固ヨリ法文上ハ差支ナイコトニナルノ
デアリマス、併シナガラ實際ニ於キマシテ
ハ、出來得ル限リ是ハ醫師ノ責任ヲ以チマ
シテ、十分信頼ノ出來ル醫師ノ意見ヲ聽イ
テ貰フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、併
シナガラ法文上ニ於キマシテ之ヲ限定致シ

マスルト、實ハ實施上ニ於キマシテ著シイ制限ニナリマシテ、之ガ爲ニ聽クベキ事モ事實上ニ於テ行ヒニクナルト云フヤウナコトガアリマシテハ、醫療上甚ダ差支ガアルト存ズルノデアリマス、從テ御話ノヤウニ之ガ通謀ニ依テ濫用セラレルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、特ニ此ノ第二項ノ場合ニ依リマシテ、斯カル行爲ヲ防止致シタイト存ズルノデアリマス

○委員長(子爵野村益三君) 御質疑ガナケレバ、衆議院デ修正挿入シタ事項ニ付テ御説明ヲ煩ハシマス

○政府委員(床次徳二君) 衆議院デ以テ修正セラレマシタノハ、先程申上デマシタ點ニ付キマシテ二箇所、尙之ニ關聯シマシタ條文ノ整理ガアルノデアリマスガ、モウ一點新シク十七條ト云フ規定ガ入ツタノデアリマス、是ハ優生手術ヲ受ケタ者ガ婚姻セムトスル時ハ、相手方ノ要求ニ依リマシテ、手術ヲ受ケタル旨ヲ通知スベシト云フ趣旨ノ規定デゴザイマスルガ、元來政府ニ於キマシテハ、此ノ優生手術ヲ受ケタ者ガ結婚致シマスルコトニ對シマシテ、十分ナ指導ヲ致シマシテ、手術ヲ受ケタコトヲ相手方ニ點秘致シマシテ結婚致シマスルコトハ、甚ダ不當ナ結果ニナルノデアリマシテ、斯カルコトノナイヤウニ十分本人等ニ對シマシテ其ノ指導ヲ加ヘ、以テ斯カルコトヲ防止シタイト存ジタノデアリマス、併シナガラ衆議院ニ於キマシテ之ヲ明文ヲ以チマシテ相手方ヲ保護スルヲ適當セラレタノデアリマシテ、即チ婚姻ニ當リマシテ相手方ガ要求致シマシタ場合ハ、手術ヲ受ケテ居ル、即チ自分ハ不妊デアルト云フコトヲ相手方ニ通知シロト云フコトヲ規定致シマシ

テ、斯カル相手方保護ノ趣旨ヲ明瞭ニ致シタノデアリマス

○委員長(子爵野村益三君) 宜シウゴザイマスカ、今度ハ罰則デアリマスカラ、第十八條、第十九條、第二十條、併セテ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(床次徳二君) 第十九條ハ、中央優生審査會及地方優生審査會ノ委員若ハ委員タリシ者又ハ優生手術若ハ第十四條ノ妊娠中絶ニ關スル審査若ハ公務員タリシ者ニ關スル職務上ノ取扱ラシタコトニ付キマシテ、其ノ知り得タ所ノ人ノ秘密ヲ嚴守セシメル爲ニ、斯カル秘密漏洩ヲ致シマシタ時ノ罰則ヲ規定致シタノデアリマス、元來此ノ優生手術ヲ受ケタル者ニ對シマシテハ、即チ惡質ノ遺傳性疾患ヲ持ッテ居ルト云フ事柄ガ建前ニナッテ居リマス關係上、斯カル手術ニ對シマシテ、色々審査ヲ致スノデアリマス、其ノ審査ヲ受ケタコトヲ云フコトガ世上ニ漏レマスルコトハ、單ニ手術ヲ受ケタ者ニ不利益バカリデナシニ、其ノ手術ヲ受ケマス者ノ屬スル一家全體ノ不利益ニナルノデアリマシテ、斯カルコトハ嚴重ニ點秘致シタイト存ズルノデアリマス、從テ審査ニ關係致シマシタ委員或ハ公務員ニ對シマシテ、此ノ十九條ヲ設ケマシテ、其ノ秘密ヲ嚴守ラシムルコトニ致シタイト存ズルノデアリマス、尙此ノ罪ニ對シマシテハ、他ノ職務上ノ秘密嚴守ト同様ニ、之ヲ告訴ヲ以テ論ズルコトニ致シタイトデアリマス、第二十條ハ、先程申上デマシタ第十七條ニ醫者ガ生殖ヲ不能ナラシムル手術或ハ放射線照射又ハ妊娠中絶等ヲ行ヒマスル時ニ、行政官廳ニ届出ル規定ヲ設ケタノデアリマスル

ガ、此ノ規定ニ違反シマシテ、届出ヲ致サナカッタ場合、或ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタル場合ニ對スル罰則デアリマシテ、何レモ百圓以下ノ罰金ニ處スルコトニ致シタノデゴザイマス、ソレカラ十八條ヲ抜カシマシタノデ申上デマス、十八條ハ、十六條ノ規定ニ違反シ生殖ヲ不能ナラシムル手術又ハ放射線照射ヲ行ヒタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處スト云フコトヲ規定致シタノデアリマス、即チ十六條ノ「故ナク生殖ヲ不能ナラシムル手術又ハ放射線照射ハ之ヲ行フコトヲ得ズ」ト云フ規定ニ對應スルモノデアリマシテ、「之ヲ行フ」トアリマスノハ、他人ニ對シテ手術ヲヤルト云フ意味デアリマス、他人ニ對シテ斯カル手術ヲ行ツタ者ハ、一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處スト云フコトヲ規定サレタノデアリマス、此ノ刑ニ付キマシテハ、是ハ墮胎罪或ハ傷害罪等トノ權衡ヲ保チマシテ、一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ト云フコトニ規定致シタノデアリマス、尙斯カル手術ヲ行ヒマシテ、人ヲ死ニ至ラシメマシタ時ニハ、三年以下ノ懲役ニ加重セラレルコトニナッテ居ルノデアリマスガ、是亦刑法各條ノ致死ノ場合ノ罰則ト權衡ヲ得サセマシテ、斯カル規定ヲ致シタノデアリマス

○次田大三郎君 此ノ醫者ガ十七條ノ一項若ハ三項ノ規定ニ違反シテ虚偽ノ届出ヲ爲シタル場合ト云フノハ、例ヘバドウ云フ場合デスカ

○政府委員(床次徳二君) 他ノ醫師ノ意見ヲ聽イテ行ク場合、手術ヲ行フベキコトヲ十六條ニ於テ規定シテ居リマスガ、他ノ醫師ハ斯カル手術ヲ必要トセズト云フコトヲ申シタノニ對シテ、之ヲ矢張り自分ト同意

見ダト云フヤウナコトヲ届出マシタ場合、或ハ他ノ醫師ノ意見ヲ聽カザルニ拘ラズ、之ヲ聽イタカノ如ク偽リマシテ届出ヲ爲シタルモノ等ヲ含ムノデゴザイマス

○次田大三郎君 其ノ場合ダケ、モウ他ニアリマセスカ

○政府委員(床次徳二君) 届出ノ内容ニ付キマシテ、色々命令ヲ以チマシテ書式等ヲ規定致ス積リデアリマスガ、斯カル内容ニ對シマシテ虚偽ノ記載ヲ致シマシタ時ナドハ、勿論其ノ中ニ加ヘタイト存ジマス

○次田大三郎君 其ノ内容ト云フノハ醫療上ノ必要ガナイノニ拘ラズ、醫療上ノ必要アリト云フ場合ナンデセウカ、内容ト云フ場合ハドウ云フノデスカ

○政府委員(床次徳二君) 病狀ニ對スル事實ノ記載ト云フコトニ對シマシテ、之ヲ偽ッテ記載シテ來タト云フヤウナ場合ガ之ニ當ルノデアリマス、ソレデ必要カドウカト云フコトニ對スル認定ヲ誤ッテ居ルト云フコトニ對シマシテハ、是ハ醫師トシテノ判斷ノ問題デアリマスノデ、届出ノ虚偽ト云フ譯デハナク、判斷ヲ誤ッタト云フ點デ、是ハ別個ノ取扱ニナルモノト存ズルノデアリマス

○次田大三郎君 此ノ判斷ガ誤ツタ場合ハ、其ノ醫師ノ能力ガ足ラナイノデ仕方ナイカ知レマセスカ、態ト間違ッテ判斷ラシテ、サウシテソレヲ胡麻化シ、届出ラシタト云フ場合ハドウナルノデゴザイマスカ

○政府委員(床次徳二君) 醫師ガ必要デナイニ拘ハラズ、必要ナリト致シマシテ手術ヲ致シマシタ時ハ、是ハ第十六條ニアリマスル所ノ「故ナク生殖ヲ不能ナラシムル手術ヲ行ツタト云フ、本則ノ方ノ罰則ニ於テ行ハル、ノデアリマス、或ハ墮胎罪ノ本文

第四部第二六類 國民優生法案特別委員會議事速記録第三號 昭和十五年三月二十四日

貴族院

二二

ノ適用ニ依リマシテ、是ハ墮胎罪ニ該當スル、其ノ方ノ規定ニ依ル罰則ヲ受ケルノデアリマス、後ハ醫師トシテノ取締關係ノ方デ行ハレルノデアリマス

○次田大三郎君 諄イヤウデスケレドモ、ドウモサウスルト他ノ醫者ノ意見ヲ聽イタカ聽カヌカト云フコトノ外ニ、ドウモ虚偽ノ届出ヲシタ場合ト云フヤウナコトガナイヤウニ思フノデスガ、アルノデスカ

○政府委員(床次徳二君) 只今ノヤウナ場合ニ於キマシテ、届出ニ虚偽ノ届出ノアリマスル場合ハ、同時ニ第十六條ノ規定、或ハ墮胎罪ノ規定、兩方ニ二重ニナル場合ガアルト存ジマス

○次田大三郎君 サウ云フ場合ニハ十六條デアルノデ、此ノ十六條デアル場合以外ニ、十七條ノ規定ニ違反シタト云フ、届出シナイノハ無論ナンデスガ、アト虚偽ノ届出ト云フ場合ハ、醫者ノ意見モ聽カナイノニ聽イタト云フヤウニ嘘ノコトヲ言ッタ場合ダケデ、外ニ何モナイノデヤナイト思フノデスガ、ドウデセウカ

○政府委員(床次徳二君) 患者ノ症狀其ノ他ヲ偽ッテ書クト云フコトモ、矢張り虚偽ノ届出ノ中ニ入り得ルモノト存ジマス

○次田大三郎君 患者ノ症狀ヲ偽ッテ書イテモ、ソレガ此ノ手術、若シクハ放射線照射ヲスルニ必要デアルト云フコト、ソレヲ覆スモノデナケレバ罰スル必要ガナイデハナイデセウカ

○政府委員(床次徳二君) 此ノ届出ヲ規定致シマシタノハ、届出ヲセシムルコトニ依リマシテ、斯カル手術ガ慎重ニ行ハレルコトヲ期シタノデアリマシテ、届出ノ機會ニ監督ヲ爲シ得ルト云フコトガ中心デアリマシテ、届出ヲ確實ニ勵行セシムルト云フコトガ主眼點デアリマス、從ッテ判斷其ノ他ニ關スル監督ト云フモノガ、直接ハ此ノ目的ニナッテ居ナイノデアリマシテ、疑ガアル場合ハ十七條ノ二項ノ立會等ノ場合ニ依リマシテ監督スル、或ハソレニ違反シタ時ハ墮胎罪ナリ、十六條ノ罰則ヲ以テスルト云フコトニナッテ居リマス、此ノ直接ノ目的トシテハ斯カル届出ヲ厲行セシムルト云フ所ニアルト存ジマス

○次田大三郎君 宜シウゴザイマス

○光行次郎君 此ノ十八條ノ場合ハ、醫師モ或ハ其ノ手術ヲ求メタ女モ共ニ罰セラレルヤウニ思ヒマスガ、一體避妊ヲ絶對的ニ絶滅シヨウト云フ目的ノ下デアルナラバ、醫師ノ方ヲ重ク罰シテ行カケレバナラヌデアラウト私ハ思フノデスガ、之ヲ二ツニ分ケテ、一方ハ墮胎罪位ナ極ク輕イヤウニシ、一方ハ之ヲ重ク處分スルト云フヤウナ御考ハナイノデスカ

○政府委員(床次徳二君) 十八條ニ於キマシテハ、私ハ御説明ガ或ハ誤ッテ居ッタカト思ヒマスガ、十八條ノ「放射線照射ヲ行ヒタル者」ト云フノハ、他人ニ行ッテヤッタ場合デアリマス、デ手術ヲ受ケマシタ者ニ對シテハ罰則ノ規定ガナイノデアリマス、是ハ現在ノ傷害罪等ノ關係カラ致シマシテ、傷害ヲ自分デヤリマシタ者ニ付キマシテハ罰則ガ規定アリマセヌノデ、ソレトノ權衡上、自分ガ受ケマシタ場合ニ於キマシテハ、ソレヲ除外致シマシタ

○光行次郎君 ソレデハ刑ハ是ハ輕ウゴザイマスガ、「一年以下ノ懲役又ハ千圓」ト云フノハ……

○政府委員(床次徳二君) 此ノ傷害罪トノ權衡ニ依リマシテ、最高ガ限定サレテ居リマスノデ、墮胎罪ト比較致シマスレバ、著シク輕イモノノ感じガ致シマスガ、併シナガラ罰ト致シマシテハ相當ナ罰デハナイカ、是ハ司法當局ノ方トモ能ク打合セ致シマシテ決定致シタ次第ゴザイマス

○光行次郎君 是ハ共犯ノ關係ニナリハシマセヌカ、此ノ行ッタ女ト行ヒタル醫者ト、是ハ全ク一方ノ女ノ方ヲ見ナイト云フコトニ解釋出來マスガ……

○政府委員(床次徳二君) 斯カル手術ヲ受ケマシタ者ニ對シテハ、矢張り刑法ノ偽證ト同ジ取扱ニナッテ居リマスノデ、墮胎罪ニ付キマシテハ之ガ特別ナ規定ガアリマシテ、或ハ兵役法ニ於キマス徵兵忌避ノ如キ、傷害ト云フヤウナ特別ノ規定ニ依リマシテ、自分ニ行ッタ場合ノ規定ガアルノデアリマスガ、此ノ場合ニ於キマシテハ、自分ガ受ケマシタ場合ニ於キマシテハ罰スルト云フノハドウデアラウト云フノデ、罰則ヲ除外致シタヤウナ次第デアリマス

○光行次郎君 是ハ除外ノモノヲ書カヌデ宜イデセウカ、ドウモ私ハ是ハ兩方トモ含マレルヤウニ思ハレテナラヌガ……

○政府委員(床次徳二君) 本法ノ中ニ行フト云フ字ヲ使ッテ居リマスガ、是ハ特ニ他人ニ對シテ行フト云フ意味デ此ノ字ヲ使ッテ居ルノデアリマス

○光行次郎君 行ヒタル醫師ハト云フ譯ニ行キマセヌカ、「十六條ノ規定ニ違反シ生殖ヲ不能ナラシムル手術又ハ放射線照射ヲ行ヒタル醫師」ハト云フコトニナリマセヌカ

○政府委員(床次徳二君) 十八條ニ於キマシテ制限スル場合ニ於キマシテ、斯カル行爲ヲ普通ニ爲シマスノハ大體醫師ニ限ッテ居ルノデアリマスルガ併シナガラ醫師以外ノ者ガ手術ヲ行ヒマスル場合モ少クナイノデアリマス、即チ手術ノ場合ハハ醫師ガ行フノデアリマスガ、放射線照射ニ付キマシテハ近頃色々電氣醫療器械等ガアリマスノデ必ズシモ醫師デナイ者ガ斯ル手術ヲ濫用スルト云フコトモアリ得ルノデ醫師バカリニ限ラナカッタノデアリマス

○光行次郎君 ドウモ私、共犯關係ガ分リマセヌガ、是ハ是位ニシテ置キマセウ

○委員長(子爵野村金三君) 附則ノ本法施行ノ時期ニ付テ大臣カラ御話ヲ伺ヒマス

○國務大臣(吉田茂君) 前會ノ委員會ニモ申上ゲマシタ通りニ本法ニ依ル手術ノ施行ト云フ意味ニ於ケル本法ノ實施ハ昭和十五年度ニハ之ヲ行ヒマセヌ、昭和十五年度ニハ本法ノ趣意、優生ト云フコトニ付キマシテノ啓發宣傳ニ力ヲ入レ、又ハ之ノ實施ニカリマスル準備ヲ十分ニ致シタイ、斯様ナ考デゴザイマスルノデ、昭和十六年度カラ此ノ法律ノ適用セラレマスル豫定デ居ル次第デアリマス、尙只今見込シテ居リマスル所デハ、公益上ノ見地ニ立チマシテ強制シテ手術ヲ行フト云フコトニ付キマシテハ差當リハ之ヲ執行致シマセヌデ、實施ノ經驗ヲ重ネマシタ上デ、其ノ條文ノ執行ヲ致シタイ、斯様ナ二段ノ構ヲ豫想シテ居リマスノデ、本法ノ施行ノ期日ハ各規定ニ於キマシテ勅令ヲ以テ定メルト云フコトニ附則ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○委員長(子爵野村金三君) 外ニ御質疑ゴザイマセヌカ……ソレデハ一應御質疑ハ終ツタモノト認メマス、明日ハ追加豫算ガ分科會ニ移サレルノデ速記等ノ手筈ガ午前中ハ出來ナイサウデアリマス、御異議ガナケ

レバ午後四時カラ開會致シマス、ソレカラ
尙御希望ニ依リマシテハ御懇談ヲ申上ゲル
方ガ宜イカトモ思ヒマス、何レニ致シマシ
テモ明日ハ午後四時カラ開會致シマスト云
フ風ニ御了承ヲ願ヒマス、ソレデハ今日ハ
是デ散會致シマス

午後四時十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵野村 益三君
副委員長 男爵高木 喜寛君
委員

公爵島津 忠承君
侯爵小村 捷治君
伯爵柳澤 保承君
子爵實吉 純郎君
子爵水野 勝邦君
光行 次郎君
男爵小池 正晁君
下村 宏君
男爵村田 保定君
次田大三郎君
金杉英五郎君
岩田 三史君
野田六左衛門君

委員外議員

男爵安場 保健君

國務大臣

厚生大臣 吉田 茂君

政府委員

厚生政務次官 一松 定吉君
厚生省豫防局長 高野 六郎君
厚生省勞働局長 藤原 孝夫君
厚生書記官 床次 徳二君

説明員

厚生技師 青木 延春君

昭和十五年三月二十六日印刷

昭和十五年三月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局